トヨタ

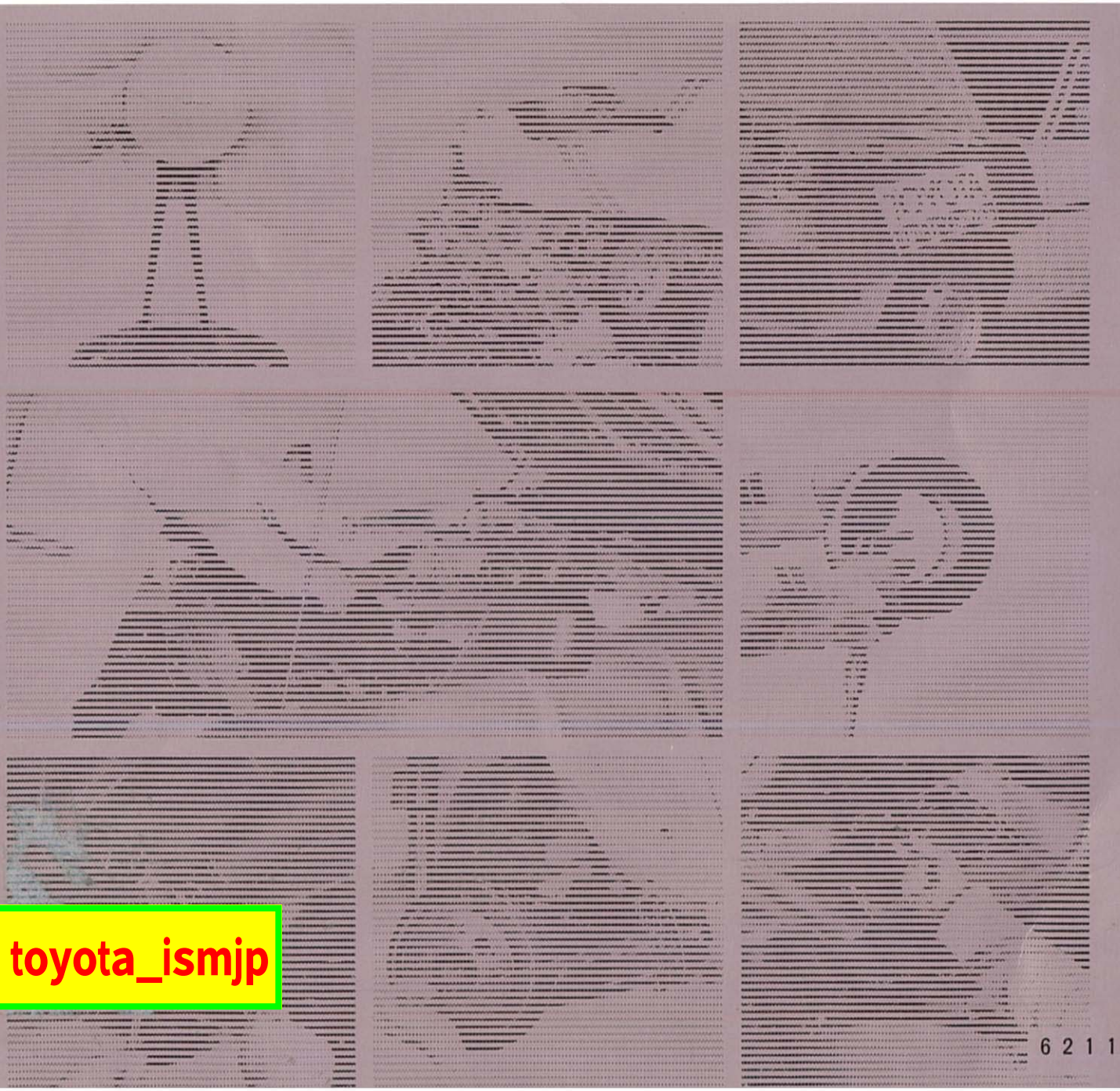
ソアラ

エアロキャビン

修理書/追補版

E-MZ20

1989年3月



by toyota_ismjp

62110

総　説 0

ボデー 1

エレクトリカル 2

無断複製禁止

序

本書，トヨタ　ソアラ　エアロキャビンの整備要領を説明したものです。この車両の正確，迅速な整備を実施するための資料としてご活用ください。

本書のほか，この車両の整備関係資料として，下記資料を発行しておりますので，あわせてご使用ください。

本書は1989年３月現在の生産車両を対象に説明してあります。その後の生産車両については，仕様の変更などにより本書の内容と異なることがありますので，あらかじめご承知おきください。

整備関係資料

資　　料　　名	品　　番	発　行　年　月
トヨタ　ソアラ修理書（上巻）	６２０９３	1986年１月
トヨタ　ソアラ修理書（下巻）	６２０９４	1986年１月
トヨタ　ソアラ修理書/追補版	６２０９６	1987年１月
トヨタ　ソアラ修理書/追補版	６２１０９	1989年１月
7M-GTEU　エンジン修理書	６３００７	1986年２月
A340E　オートマチツク　トランスミツシヨン修理書	６３２０１	1985年１月
トヨタ　ソアラ配線図集/追補版	６７２７２	1988年１月
トヨタ　ソアラ配線図集/追補版	６７３０１	1989年１月
トヨタ　ソアラ新型車解説書	６１１１０	1988年１月

1989年３月

トヨタ自動車株式会社
サービス部

無断複製禁止

0 総 説

本書の見方 …… 0－2
修理作業の説明範囲 …… 0－2
説明内容の見方 …… 0－2
用語の定義 …… 0－3
略語説明 …… 0－4
車種構成一覧表 …… 0－4
一般規格ボルト・ナット
締め付けトルク …… 0－4
締め付けトルクの把握方法 …… 0－4
ボルト強度区分の識別方法 …… 0－4
締め付けトルク表 …… 0－5

無断複製禁止

本書の見方

修理作業の説明範囲

修理作業は大別すると「診断」,「脱着，交換，分解・組み付けおよび点検・調整作業」および「完成検査」の３工程に区分することができます。本書は第２工程の「脱着，交換，分解・組み付けおよび点検・調整作業」について説明したものであり，第１工程の「診断」（本文中　電装品関係のトラブル　シユーテイングは掲載してあります。）および第３工程の「完成検査」については説明が省略してあります。

説明内容の見方

1　注意事項

(1)　該当するセクシヨン独自の注意事項について記載しました。

2　準備品

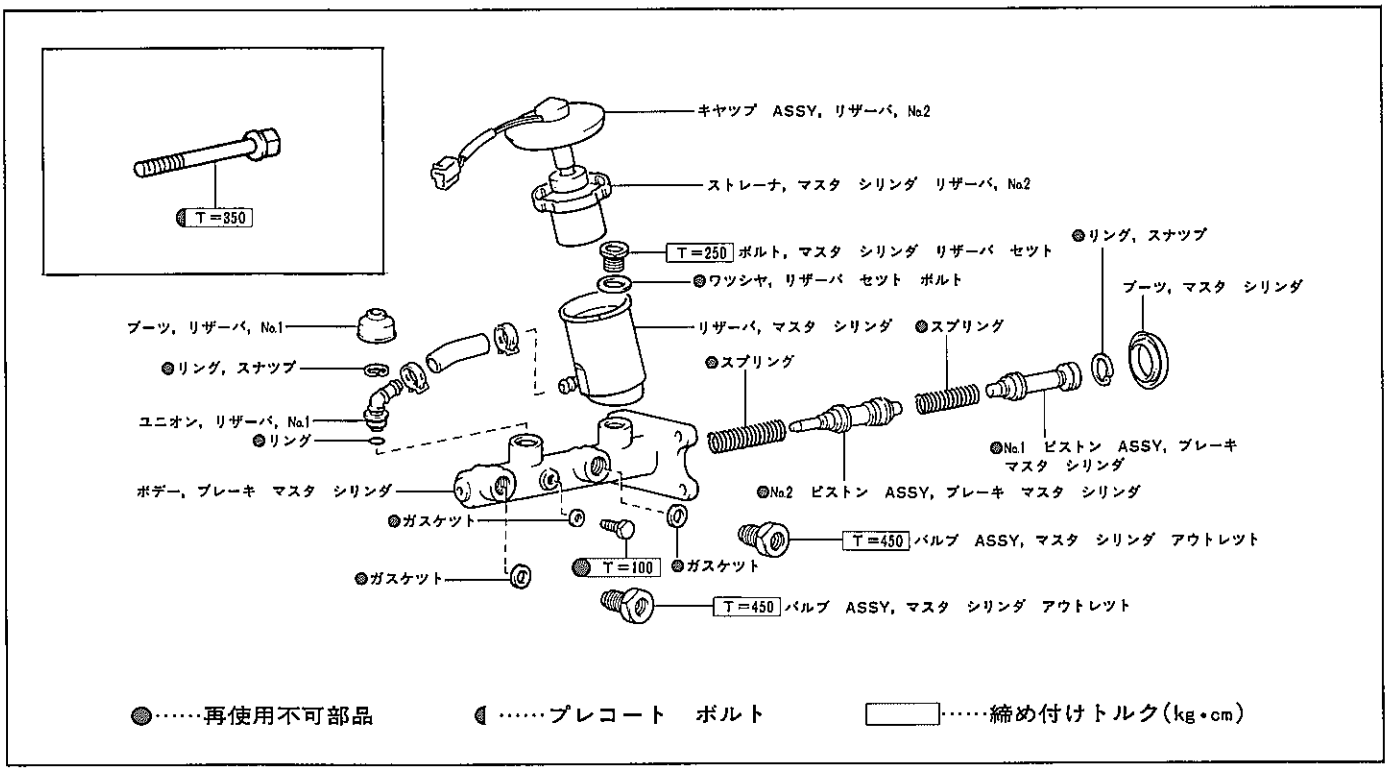
(1)　作業前に準備すべきSST，工具，計器および油脂などについて掲載し，あわせて各々の使用目的について説明してあります。ただし，準備品のうち，トヨタ　メカニツク　スタンド，ジヤツキ，スタンドなど一般整備工場に常備されていると思われる準備品については掲載を省略してあります。

3　作業手順

(1)　各セクシヨンのはじめに構成図，断面図を掲載し，構成部品の取り付け状態が把握できるようにしました。

(2)　構成図の中に再使用不可部品，プレコート　ボルト，締め付けトルクを明記しました。

記　載　例

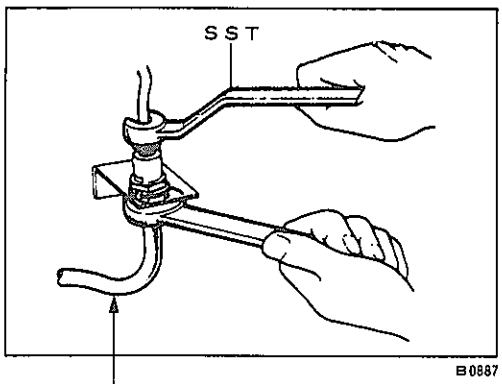


C1637　C3123

無断複製禁止

(3) イラストにて，作業部位および作業内容を掲載しました。

(4) 説明文では，細部にわたる作業方法，情報，規格および注意などを掲載しました。



イラスト：作業部位および作業内容

ホースとチユーブの脱着 ← 小タイトル

1　ホースとチユーブ接続 ← 作業項目

(1) ホースとチユーブを手で仮付けする。

(2) ホース側をスパナで，チユーブ側をSSTでそれぞれ固定してホースとチユーブを締め付ける。

SST　09751-36011 ← 情報

T＝155kg・cm ← 規格

説明文：細部にわたる作業方法

4　トラブル　シユーテイング

(1) 電装品関係の不具合原因を容易に検索するため，トラブル　シユーテイングの表を掲載しました。

5　本書に省略されている内容

(1) 本書には次の要素作業の記載が省略してありますが実作業においては実施してください。

① ジヤツキ作業およびリフト作業

② 必要に応じて行う取りはずし部品の清掃，洗浄

③ 目視による点検

用語の定義

基準値……点検，調整時の許容範囲を表す値をいいます。

限　度……点検，調整時に超えてはならない最高値または最低値を表す値をいいます。

参考値……基準値を知るための測定方法がいちじるしく困難なため実際上不具合発生のおそれのない場合の簡略測定法における基準値を表します。

注意……禁止作業など，行つてはいけないことについて掲載してあります。また作業要領で特に注意すべき事項を掲載してあります。

〈参考〉……作業を容易にするための補足説明を説明文から分離させて掲載してあります。

無断複製禁止

略語説明

略　語	説　明	略　語	説　明
ASSY	アッセンブリ	P	端子
C.B	サーキット　ブレーカ	P−	ページ
E(V)	電圧	R (Ω)	抵抗
F.L	フユージブル　リンク	SST	特殊工具
I(A)	電流	T＝	締め付けトルク
IG	イグニッシヨン	W/H	ワイヤ　ハーネス
P.P	ポリプロピレン		

車種構成一覧表

エンジン型式	トランスミッシヨン型式	車　両　型　式
7M-GTEU	4A/T(A340E)	E-MZ20-HJPVZ

一般規格ボルト・ナット締め付けトルク

締め付けトルクの把握方法

1　ボルトの締め付けトルク把握方法

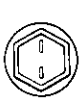
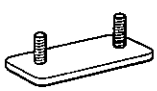
(1)　ボルトの締め付けトルクは，下表よりそのボルトの強度区分を把握し，後述の締め付けトルク表からその値を知る。

2　ナットの締め付けトルク把握方法

(2)　ナットの締め付けトルクは，相手となるボルトから前述の方法で把握する。

ボルト強度区分の識別方法

1　現品による識別方法

	形状と強度区分の見方		強度区分		形状と強度区分の見方		強度区分
六角ボルト［ヘキサゴンボルト］（標準座面）		頭部に数字の浮き出し，または刻印があるボルト	4＝4 T 5＝5 T 6＝6 T 7＝7 T	植込ボルト［スタッドボルト］		無　印	4 T
		無　印	4 T				
六角ボルト（つば付き座面）		無　印	4 T			一方もしくは両方の端面に約2㎜のくぼみがある	6 T
六角ボルト（標準座面）		頭部に浮き出し線が2本あるボルト	5 T				
六角ボルト（つば付き座面）		頭部に浮き出し線が2本あるボルト	6 T	溶接ボルト［ウエルドボルト］			4 T
六角ボルト（標準座面）		頭部に浮き出し線が3本あるボルト	7 T				

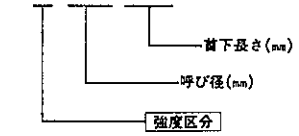
B4459

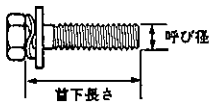
無断複製禁止

2　品番による識別方法

六角ボルト

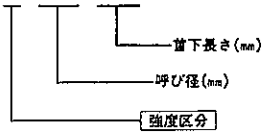
品番例　9 1 6 5 1 － 4 0 6 2 0

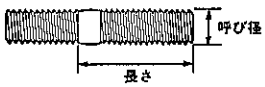




植込ボルト

品番例　9 2 1 1 2 － 4 0 6 2 0





Z4743

締め付けトルク表

強度区分	呼び径(mm)	ピッチ(mm)	標準締め付けトルク(kg・cm)	
			標準座面	つば付き座面
4　T	6	1.0	55	60
	8	1.25	120	145
	10	1.25	260	290
	12	1.25	480	540
	14	1.5	760	850
	16	1.5	1,150	——
5　T	6	1.0	65	——
	8	1.25	160	——
	10	1.25	330	——
	12	1.25	600	——
	14	1.5	930	——
	16	1.5	1,400	——
6　T	6	1.0	80	90
	8	1.25	195	210
	10	1.25	400	440
	12	1.25	730	810
	14	1.5	1,100	1,250
7　T	6	1.0	110	120
	8	1.25	260	290
	10	1.25	530	590
	12	1.25	970	1,050
	14	1.5	1,500	1,700
	16	1.5	2,300	——

A3426　A3427

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止

1 ボデー

変更概要 …… 1－3
ラツゲージ　ドア　ステー …… 1－4
準備品 …… 1－4
ラツゲージ　ドア　ステー …… 1－4
脱着構成図 …… 1－4
取りはずし …… 1－4
廃却方法 …… 1－4
取り付け …… 1－4
モールデイング …… 1－5
準備品 …… 1－5
バツク　ドア　オーナメント …… 1－5
脱着構成図 …… 1－5
取りはずし …… 1－6
取り付け …… 1－7
クオータ　ウインドウ　ガラス …… 1－10
準備品 …… 1－10
クオータ　ウインドウ　ガラス …… 1－11
脱着構成図 …… 1－11
取りはずし …… 1－12
取り付け …… 1－13
バツク　ドア　ガラス　&
モールデイング … 1－15
準備品 …… 1－15
バツク　ドア　ガラス　&
モールデイング … 1－16
脱着構成図 …… 1－16
バツク　ドア　ガラス
モールデイング取りはずし … 1－16
バツク　ドア　ガラス
モールデイング取り付け … 1－16
バツク　ドア　ガラス取りはずし …… 1－17
バツク　ドア　ガラス取り付け …… 1－18
リムーバブル　ルーフ …… 1－21
準備品 …… 1－21
部品配置図 …… 1－22
回路図 …… 1－23
機能点検 …… 1－25
ルーフ半開状態表示点検 …… 1－25
ブザー点検 …… 1－25
リムーバブル　ルーフ作動点検 …… 1－26
手動操作 …… 1－30
ルーフ　オープン作動 …… 1－30
ルーフ　クローズ作動 …… 1－30
トラブル　シユーテイング …… 1－31
フロー　チヤートの見方 …… 1－31
不具合チヤート …… 1－31
フロー　チヤート …… 1－32
ルーフ　コンシールド　カバー　ギヤ　&
ドライブ　ギヤ … 1－41
脱着分解構成図 …… 1－41
取りはずし …… 1－42
取り付け …… 1－43
スライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤ　&
ドライブ　ケーブル … 1－46
脱着分解構成図 …… 1－46
取りはずし …… 1－48
取り付け …… 1－52
建付け調整 …… 1－56
建付け調整 …… 1－56
リムーバブル　ルーフ …… 1－57
バツク　ドア …… 1－58
コンシールド　カバー …… 1－59
トノ　カバー …… 1－59
リミツト　スイツチ …… 1－61
単体点検 …… 1－62
スライデイング　ルーフ　スイツチ …… 1－62
ブザー　2（警告用） …… 1－62
ブザー　1（作動用） …… 1－62
パーキング　ブレーキ　スイツチ …… 1－62
ニユートラル　スタート　スイツチ …… 1－62
スピード　デイテクタ（スピード　センサ） …… 1－63
半ドア　ウオーニング　ランプ …… 1－63
バツク　ウインドウ　ロツク
リミツト　スイツチ … 1－63
ルーフ　コンシールド　カバー　ギヤ
リミツト　スイツチ … 1－63
スライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤ
リミツト　スイツチ … 1－64
ルーフ　コンシールド　カバー　ロツク
リミツト　スイツチ … 1－64
スライデイング　ルーフ　ドライブ
ケーブル　リミツト　スイツチ … 1－64
スライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤ …… 1－65
ルーフ　コンシールド　カバー　ドライブ　ギヤ … 1－65
ルーフ　コンシールド　カバー　ロツク …… 1－66

無断複製禁止

スライデイング　ルーフ　コントロール
コンピユータ… 1－66
ルーフ　ヘツドライニング…… 1－69
準備品 …… 1－69
フロント　ルーフ　ヘツドライニング …… 1－70
脱着構成図…… 1－70
取りはずし…… 1－71
取り付け …… 1－76
リヤ　ルーフ　ヘツドライニング …… 1－79
脱着構成図…… 1－79
取りはずし…… 1－79
取り付け …… 1－80
シート　ベルト …… 1－81
準備品 …… 1－81
シート　ベルト …… 1－81
脱着構成図…… 1－81
フロント　シート　ベルト取りはずし …… 1－82
リトラクタ点検…… 1－83
フロント　シート　ベルト取り付け…… 1－83
単体点検 …… 1－83
フロント　シート　インナ　ベルト
（電気式テンシヨン　リデユーサ付き）…· 1－83
フロント　シート　アウタ　ベルト
（電気式テンシヨン　リデユーサ付き）…· 1－83

無断複製禁止

変更概要

トヨタ　ソアラ修理書下巻（品番62094　昭和61年1月発行）の内容に以下の項目を追加しました。

1　ラツゲージ　ドア　ステーの整備要領
2　バツク　ドア　オーナメントの整備要領
3　クオータ　ウインドウ　ガラスの整備要領
4　バツク　ドア　ガラス　&　モールデイングの整備要領
5　リムーバブル　ルーフの整備要領
6　ルーフ　ヘツドライニングの整備要領
7　シート　ベルトの整備要領

無断複製禁止

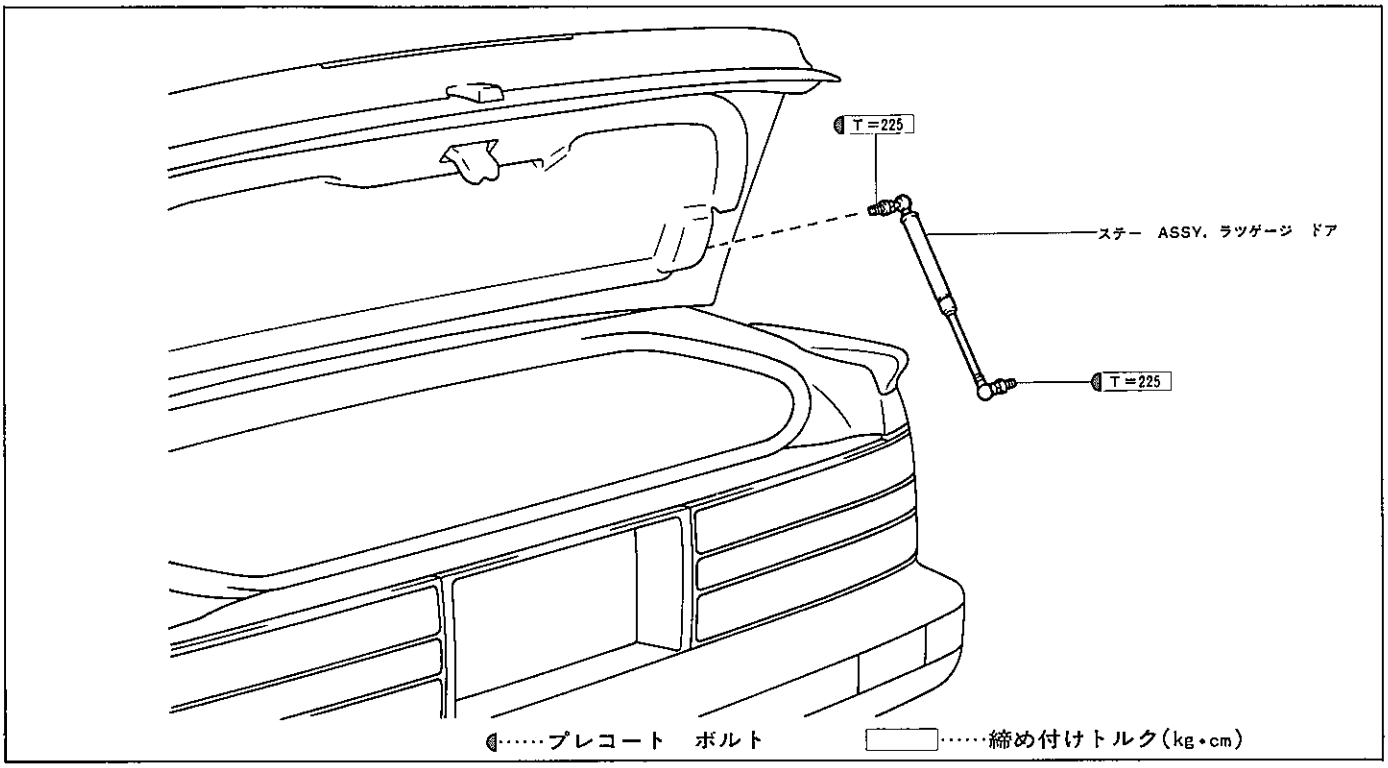
ラツゲージ ドア ステー

準 備 品

油 脂 その他	アドヘシブ 1324	ダンパ ステー取り付け用

ラツゲージ ドア ステー

脱着構成図



UB620

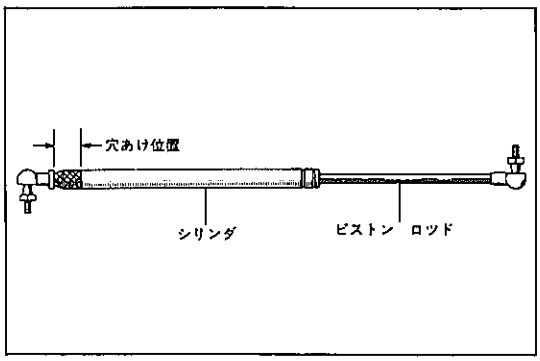
ラツゲージ ドア ステー取りはずし

1 ラツゲージ ドア ステー取りはずし

(1) ステー端部のボルトをゆるめて取りはずす。

注意 • ピストン ロツドに異物を付着させない。
• シリンダに対しピストン ロツドを回転させない。
• ボール ジヨイント部のかん合をはずさない。

ラツゲージ ドア ステー廃却方法



B1178

1 ラツゲージ ドア ステー廃却方法

(1) シリンダの図に示す位置に，2.0—3.0mmの穴を開け，封入されているガスを抜く。

注意 封入されているガスは，無色，無臭，無害であるが，ドリルの切り粉が飛ぶおそれがある。

ラツゲージ ドア ステー取り付け

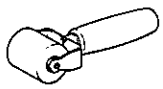
1 ラツゲージ ドア ステー取り付け

(1) ボルトにアドヘシブ 1324を塗布して取り付ける。

無断複製禁止

モールデイング

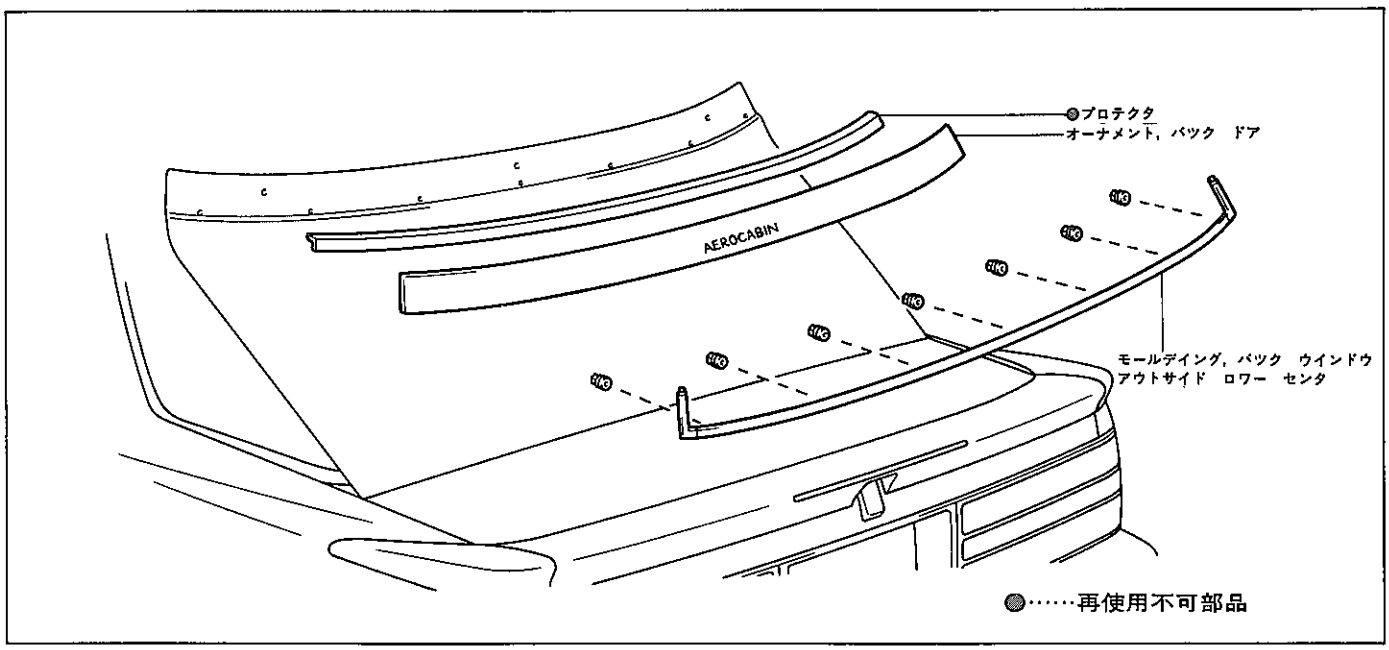
準　備　品

工　具	サイド　モール用 脱着工具セット ※㈱末岡商店扱い	マイテイ　プラー	バック　ドア　オーナメント脱着用
		S/K　スクレーパ	
		ポリ　ベラ（幅75mm）	
		ピアノ線（φ0.6mm×50cm），10本	
		プラステイツク　テープ（50ｍ巻）	
		P.P　カツプ	
		リムーバ　ボンド　7（0.5ℓ）	
	 ローラ		バック　ドア　オーナメント取り付け時の圧着用
油　脂 その他	赤外線ランプ		バック　ドア　オーナメント脱着用
	アクリル　フオーム　テープ(10mm×0.8mm×33ｍ)※㈱末岡商店扱い		バック　ドア　オーナメント取り付け用(再使用時)
	アクリル　フオーム　テープ(12mm×1.2mm×10ｍ)※㈱末岡商店扱い		バック　ウインドウ　ロワー　センタ　モールデイング取り付け用(再使用時)
	白ガソリン		各部清掃用

※……株式会社 末岡商店　自動車補修製品課　名古屋市昭和区御器所二丁目５番１号　TEL（052）882―9266㈹

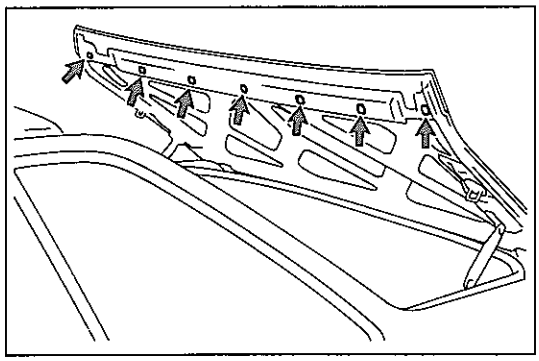
バツク　ドア　オーナメント

脱着構成図



U8621

無断複製禁止



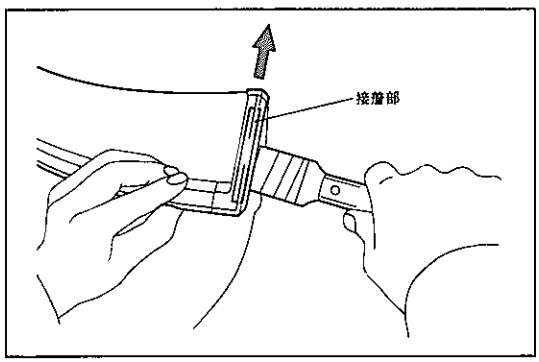
U8622

バツク　ドア　オーナメント取りはずし

1　バツク　ウインドウ　アウトサイド　ロワー　センタ　モールデイング取りはずし

(1) ルーフ　コンシールド　カバーを開く。

(2) ナット７個を取りはずす。



U8623

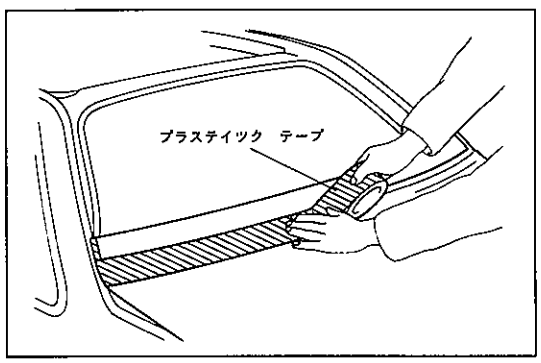
(3) ボルト７本を，ルーフ　コンシールド　カバーの穴より押し出す。

(4) ロワー　センタ　モールデイング両端のアクリル　フオームテープによる接着を，保護テープを貼つたスクレーパで取りはずす。

(5) ロワー　センタ　モールデイングを矢印の方向へ取りはずす。

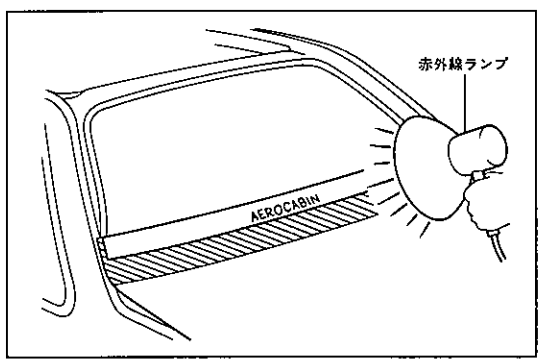
2　バツク　ドア　オーナメント取りはずし

(1) オーナメント外周に保護テープ（プラステイツク　テープ）を貼る。



U8624

(2) 赤外線ランプなどでオーナメントを加温する。

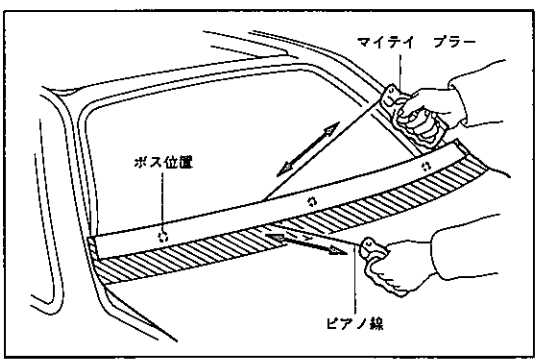


U8625

(3) マイテイ　プラーにピアノ線をセットする。

(4) ピアノ線で接着部を切断し，オーナメントを取りはずす。

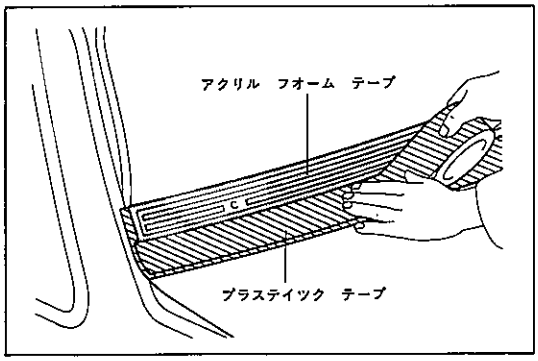
注意
- オーナメントを再使用する場合には，マイテイ　プラーを極力ボデーに沿わせ，オーナメント端部を傷付けないようにする。
- オーナメントを再使用する場合には，位置決め用ボス付近は保護テープを貼つたスクレーパで切断し，オーナメントを曲げないようにする。



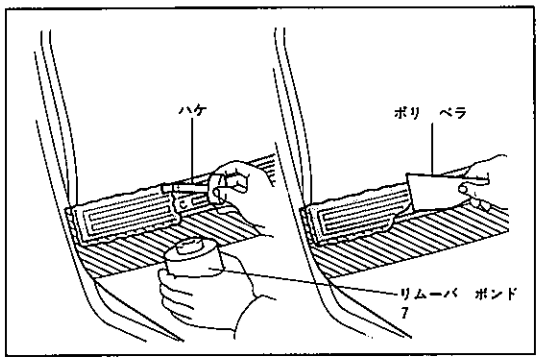
U8626

3　プロテクタ取りはずし

無断複製禁止



U8627



U8628

バツク　ドア　オーナメント取り付け

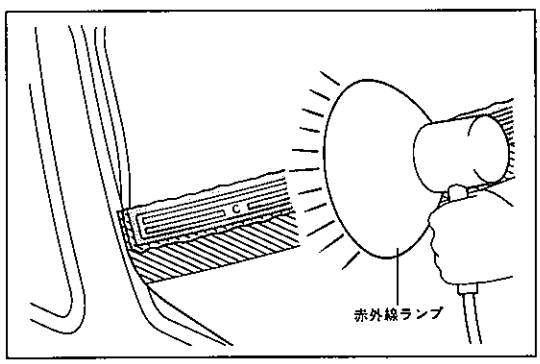
1　車両側取り付け面清掃

(1) ボデーに残つたアクリル　フオーム　テープの際いつぱいに保護テープ（プラステイツク　テープ）を貼る。

〈参考〉　ボデー保護のため，プラステイツク　テープの周囲にもマスキング　ペーパなどを貼るとよい。

(2) リムーバ　ボンド　7を必要量P.P　カツプに入れ，ポリ　ベラまたはハケを使用して，ボデーに残つたアクリル　フオーム　テープにできるだけ厚く塗布する。

注意
- リムーバ　ボンド　7は，使用前に缶をよく振つてかく拌する。
- リムーバ　ボンド　7は，常乾塗膜には使用しない。
- リムーバ　ボンド　7が直接塗装面に付着すると，塗膜にふくれが生じるおそれがあるので，すみやかに拭き取る。
- 塗膜にふくれが生じた場合は，不具合部分を赤外線ランプなどで80℃に加温し，4～5分毎にシンナを含ませたウエスで押さえるようにして浸透させる作業を数回繰り返す。

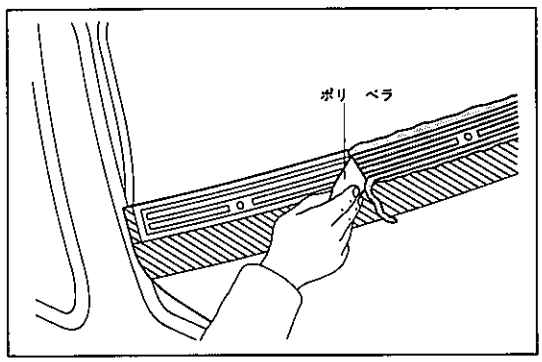


U8629

(3) 赤外線ランプなどでボデーに残つたアクリル　フオーム　テープを加温する。

注意　表面が白く乾燥するまで加温すると，次工程でアクリル　フオーム　テープがはがしにくくなるので，その前に加温を中止する。

〈参考〉　40～60℃で3～5分間。



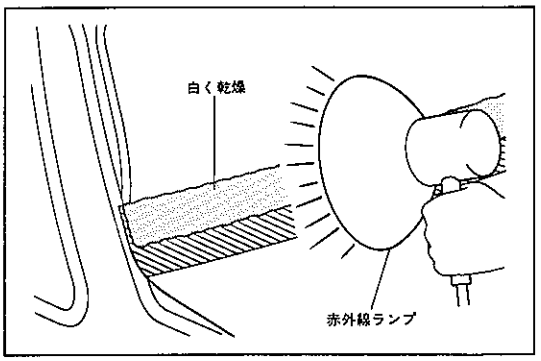
U8630

(4) ボデーに残つたアクリル　フオーム　テープを，ポリ　ベラを使用して削り取る。

注意　アクリル　フオーム　テープの肉厚を十分に薄くしてから次工程に移る。

(5) ボデーに残つたアクリル　フオーム　テープに，再度リムーバ　ボンド　7を塗布する。

無断複製禁止

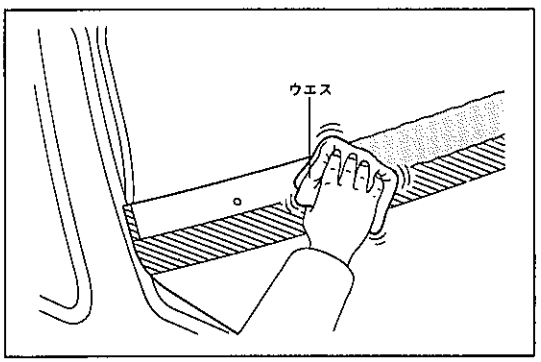


U8631

(6) 赤外線ランプなどでボデーに残つたアクリル　フオーム　テープを加温する。

注意　アクリル　フオーム　テープの内部まで乾燥させる。（表面は白く乾燥する。）

〈参考〉　40～60℃で10～15分間。

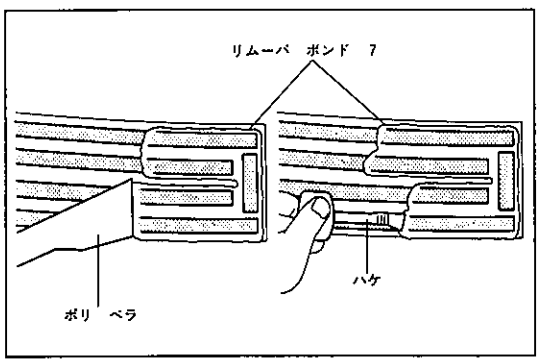


U8632

(7) ボデーに残つたアクリル　フオーム　テープをウエスなどでこすり取る。

(8) (7)の作業後にアクリル　フオーム　テープが残つた場合は，リムーバ　ボンド　7を塗布し，ポリ　ベラでこすり取る。

(9) プラステイツク　テープをはがし，ボデーを白ガソリンで清掃する。

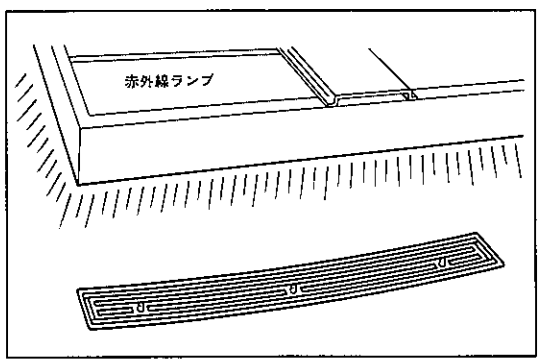


U8633

2. バツク　ドア　オーナメント清掃（オーナメント再使用時）

(1) リムーバ　ボンド　7を必要量P.P　カツプに入れ，ポリ　ベラまたはハケを使用して，オーナメントに残つたアクリル　フオーム　テープにできるだけ厚く塗布する。

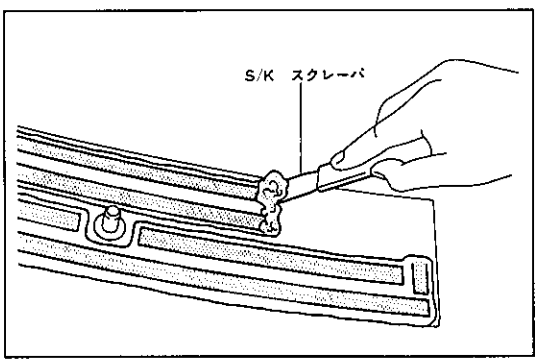
注意　リムーバ　ボンド　7は，使用前に缶をよく振つてかく拌する。



U8634

(2) オーナメントを赤外線ランプで加温する。

注意　表面が白く乾燥するまで加温すると，次工程でアクリル　フオーム　テープがはがしにくくなるので，その前に加温を中止する。

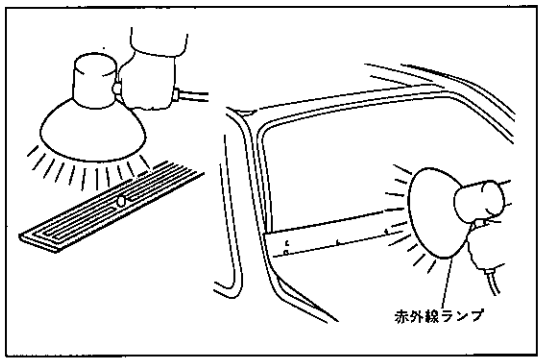


U8635

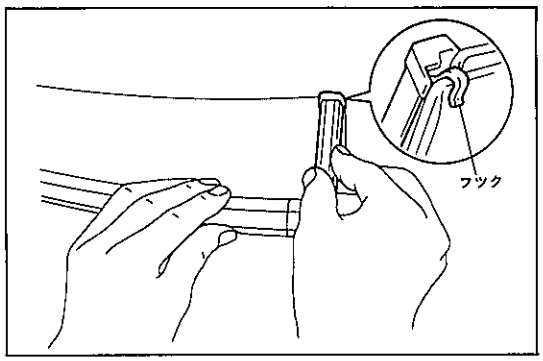
(3) オーナメントに残つたアクリル　フオーム　テープを，S/Kスクレーパで削り取る。

(4) オーナメントを白ガソリンで清掃する。

無断複製禁止



U8636



U8637

3　プロテクタ取り付け

4　バツク　ドア　オーナメント取り付け

(1)　オーナメント裏面にアクリル　フオーム　テープを取り付ける。（オーナメント再使用時）

(2)　オーナメントおよびボデーを加温する。

〈参考〉　ボデー　40～60℃
　　オーナメント　20～30℃

(3)　アクリル　フオーム　テープの離型紙を，接着面にふれないようにしてはがす。

(4)　オーナメントを車両にセツトして圧着する。

(5)　オーナメントをローラで十分圧着する。

5　バツク　ウインドウ　アウトサイド　ロワー　センタ　モールデイング取り付け

(1)　モールデイング両端クリツプのアクリル　フオーム　テープを交換する。（モールデイング再使用時）

(2)　モールデイング両端クリツプのフツクを，パネルの見切りに掛けるようにして，モールデイングを取り付ける。

(3)　ナツト７個を取り付ける。

無断複製禁止

クオータ　ウインドウ　ガラス

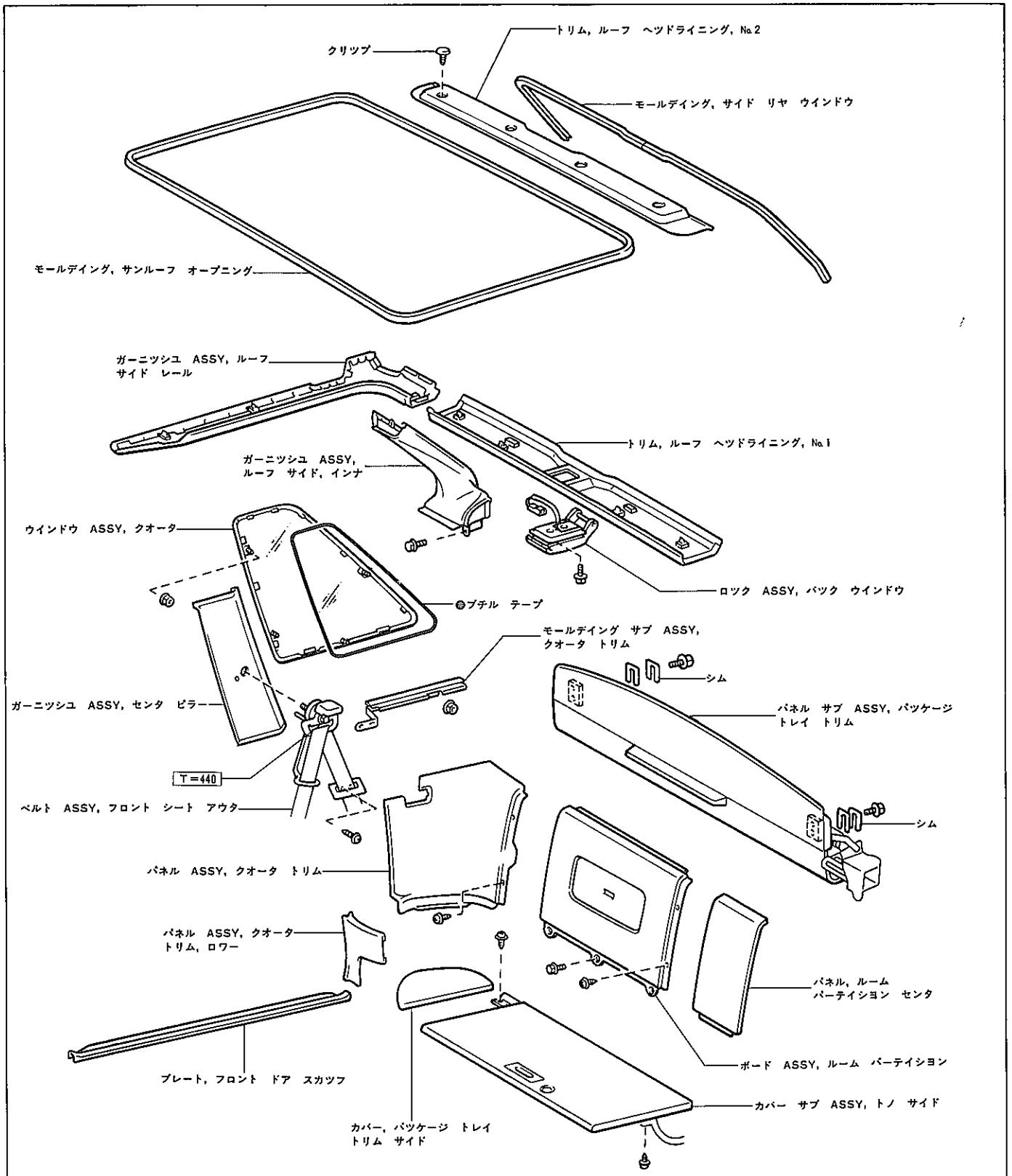
準　備　品

工　具	クリップ　リムーバ	クリップ取りはずし用
油　脂 その他	ブチル　テープ　セット	クオータ　ウインドウ　ガラス取り付け用
	両面テープ	各部接着用
	白ガソリン	各部清掃用

無断複製禁止

クオータ　ウインドウ　ガラス

脱着構成図



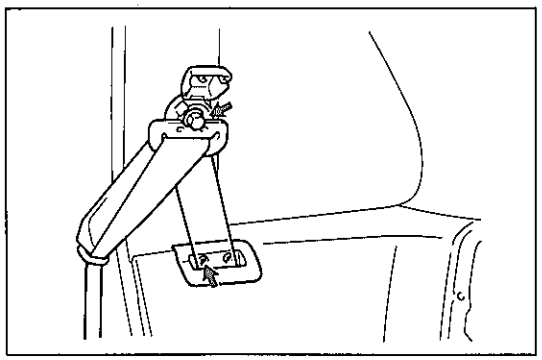
◉……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg・cm）

UB638

無断複製禁止

クオータ　ウインドウ　ガラス取りはずし

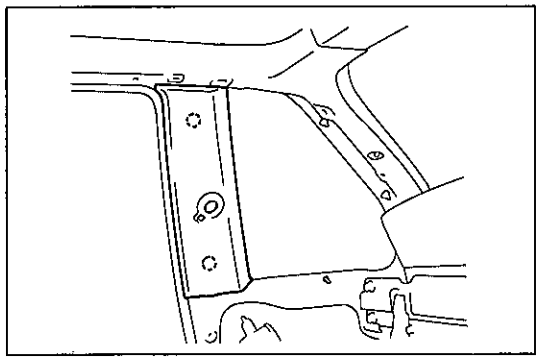
1　フロント　ドア　スカツフ　プレート取りはずし
（P 1 -71参照）
2　トノ　サイド　カバー開
3　パツケージ　トレイ　トリム　サイド　カバー取りはずし
（P 1 -71参照）
4　トノ　サイド　カバー取りはずし
（P 1 -71参照）
5　クオータ　トリム　ロワー　パネル取りはずし
（P 1 -71参照）
6　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネル取りはずし
（P 1 -71参照）
7　ルーム　パーテイシヨン　ボード取りはずし
（P 1 -72参照）


U8639

8　フロント　シート　アウタ　ベルト　ガイドおよびピラー部取り付けボルト取りはずし

9　クオータ　トリム　パネル取りはずし
（P 1 -72参照）
10　ルーフ全開
11　サン　ルーフ　オープニング　トリム　モールデイング取りはずし
（P 1 -72参照）
12　ルーフ　ヘツドライニング　No. 2　トリム取りはずし
（P 1 -72参照）
13　バツク　ウインドウ　ロツク取りはずし
（P 1 -73参照）
14　サイド　リヤ　ウインドウ　モールデイング取りはずし
（P 1 -73参照）
15　ルーフ　ヘツドライニング　No. 1　トリム取りはずし
（P 1 -73参照）
16　クオータ　トリム　モールデイング取りはずし
（P 1 -73参照）
17　パツケージ　トレイ　トリム　パネル切り離し
（P 1 -73参照）

無断複製禁止

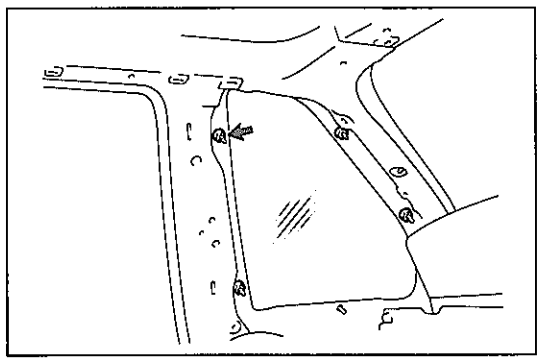

U8640

18　ルーフ　サイド　インナ　ガーニツシユ取りはずし
（P 1-74参照）

19　ルーフ　サイド　レール　ガーニツシユ取りはずし
（P 1-74参照）

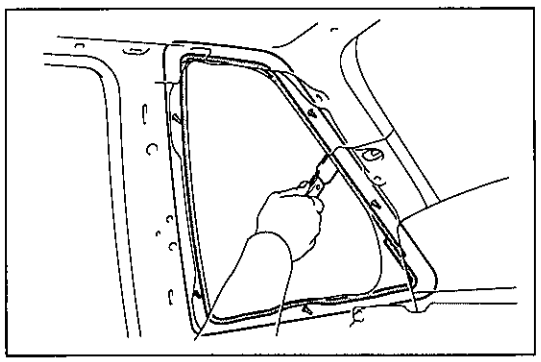
20　センタ　ピラー　ガーニツシユ取りはずし

(1)　クリツプのかん合をはずし，センタ　ピラー　ガーニツシユを取りはずす。


U8641

21　クオータ　ウインドウ　ガラス取りはずし

(1)　ナツト 4 個を取りはずす。


U8642

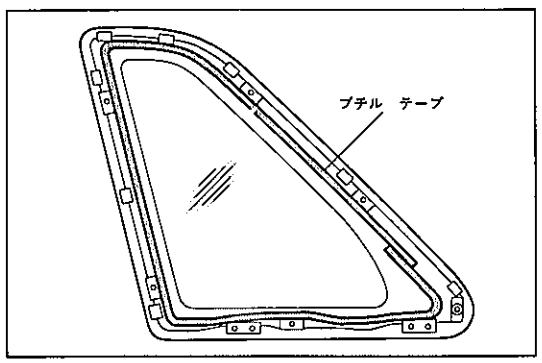
(2)　スクレーパを使用して，ガラスの接着部を切り離す。

クオータ　ウインドウ　ガラス取り付け

1　クオータ　ウインドウ　ガラス取り付け

(1)　ガラスおよびボデーに付着しているブチル　テープを，白ガソリンなどで取り除き，清掃する。

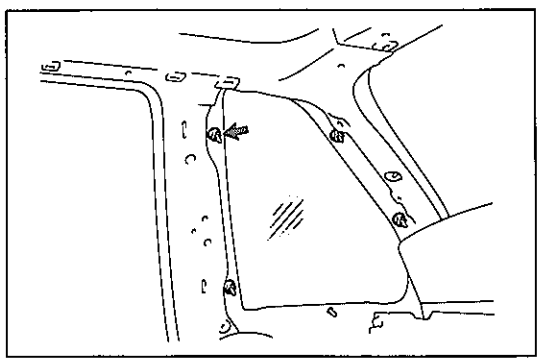
(2)　図に示す位置に新品のブチル　テープを接着する。



U8643

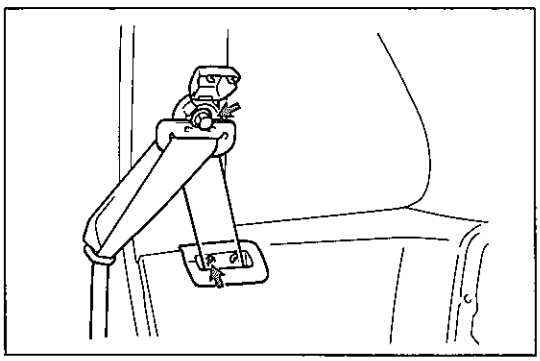
(3)　クオータ　ウインドウ　ガラスを車両外側から取り付け，十分に圧着させる。

(4)　ナツト 4 個を取り付ける。


U8641

無断複製禁止

2 センタ ピラー ガーニツシユ取り付け
3 ルーフ サイド レール ガーニツシユ取り付け
（P 1-76参照）
4 ルーフ サイド インナ ガーニツシユ取り付け
（P 1-77参照）
5 パツケージ トレイ トリム パネル取り付け
6 クオータ トリム モールデイング取り付け
7 ルーフ ヘツドライニング No.1 トリム取り付け
（P 1-77参照）
8 サイド リヤ ウインドウ モールデイング取り付け
9 バツク ウインドウ ロツク取り付け
10 ルーフ ヘツドライニング No.2 トリム取り付け
11 サン ルーフ オープニング トリム モールデイング取り付け
12 クオータ トリム パネル取り付け


U8639

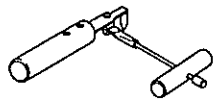
13 フロント シート アウタ ベルト ガイドおよびピラー部取り付けボルト取り付け
基準値 T＝440kg·cm（ピラー部）

14 ルーム パーテイシヨン ボード取り付け
（P 1-78参照）
15 ルーム パーテイシヨン センタ パネル取り付け
（P 1-78参照）
16 クオータ トリム ロワー パネル取り付け
17 トノ サイド カバー取り付け
18 パツケージ トレイ トリム サイド カバー取り付け
19 フロント ドア スカツフ プレート取り付け

無断複製禁止

バツク　ドア　ガラス　&　モールデイング

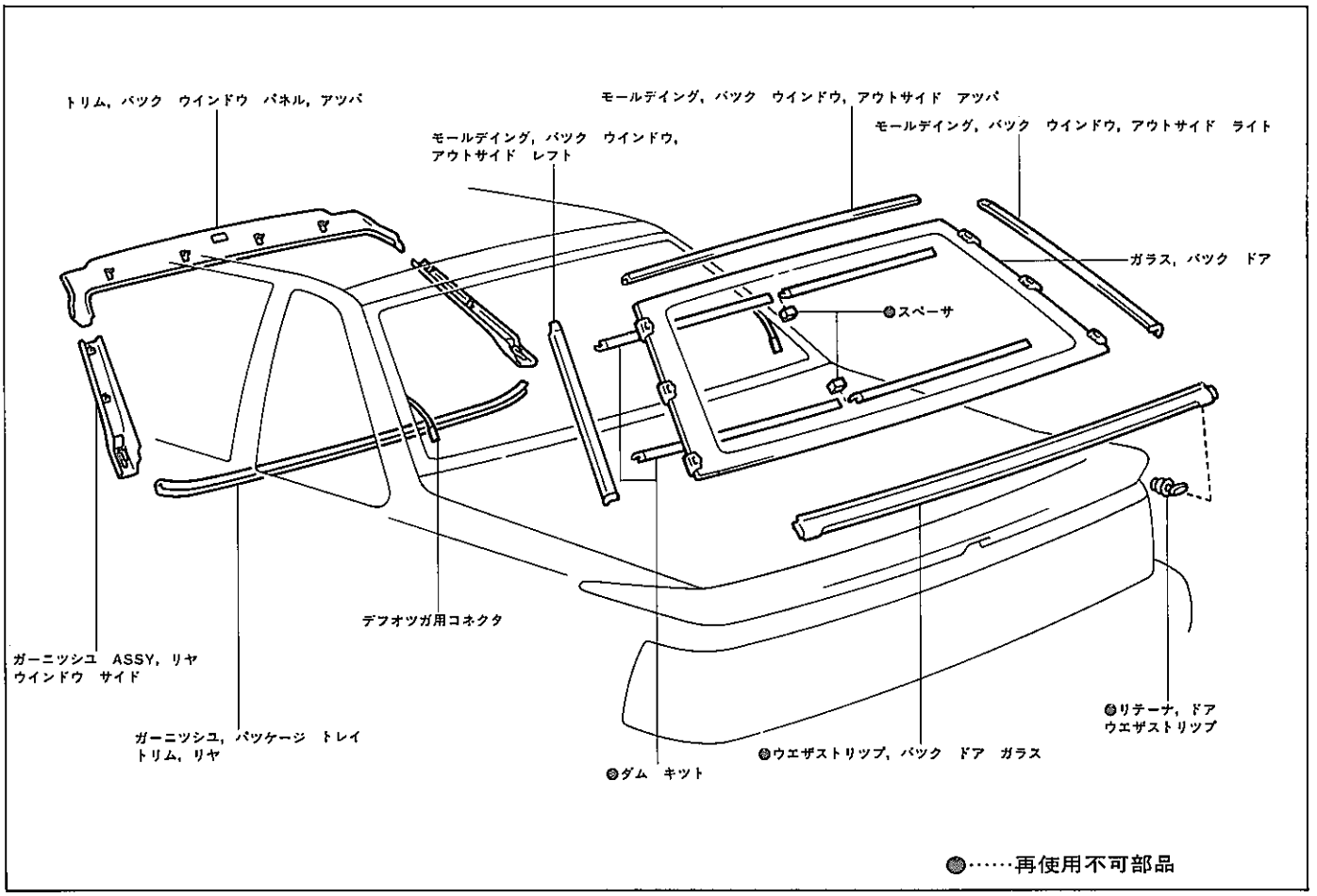
準　備　品

工　具		㈱バンザイ 扱い　ナイフ，ウインドシールド TB-603	ガラス取りはずし用
	クリツプ　リムーバ		バック　ドア　ガラス　ウエザストリツプ取りはずし用
	シーラント　ガン		ガラス取り付け用
油　脂 その他	スリー　セメント　ブラツク		水漏れ補修用 バック　ドア　ガラス　ウエザストリツプ取り付け用
	ウインドシールド　ガラス アドヘシブ	No.15（環境温度 0 ～15°C） No.35（環境温度15～35°C） No.45（環境温度35～45°C）	ガラス取り付け用
	吸引ゴム盤		
	プラステイツク板		
	ナイフ		
	ガラス板		
	パテ　ヘラ		
	白ガソリン		各部清掃用

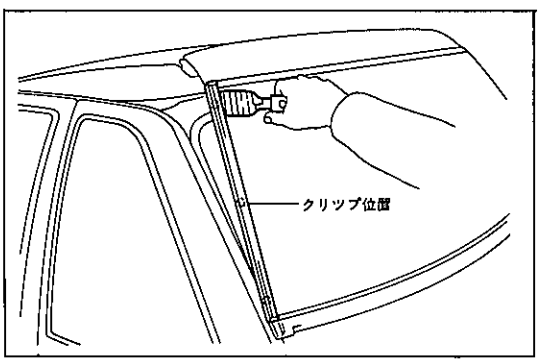
無断複製禁止

バツク ドア ガラス & モールデイング

脱着構成図



U8644



U8645

バツク ドア ガラス モールデイング取りはずし

注意 アツパ モールデイングの脱着は，ガラスの脱着と同時に行う。

1 バツク ウインドウ アウトサイド ライト & レフト モールデイング取りはずし

(1) ルーフ コンシールド カバーを全開にする。

(2) ルーフ & バツク ドアを半開にする。

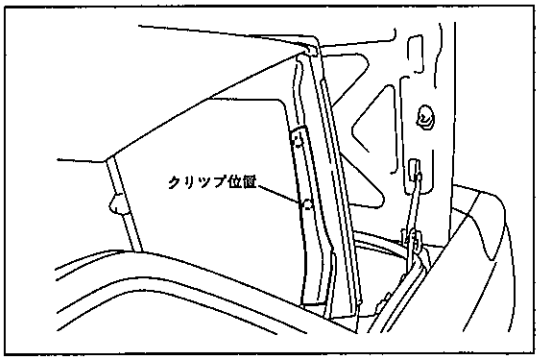
(3) モールデイングのクリツプの位置を，保護テープを貼つたスクレーパでこじて取りはずす。

注意 ガラスに接着されているクリツプを破損しないように注意する。

バツク ドア ガラス モールデイング取り付け

1 バツク ウインドウ アウトサイド ライト & レフト モールデイング取り付け

無断複製禁止



U8682

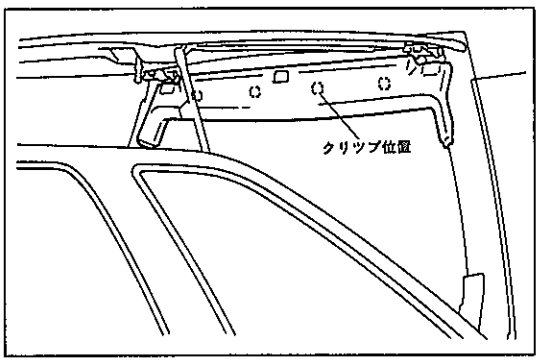
バツク　ドア　ガラス取りはずし

1　バツク　ウインドウ　アウトサイド　ライト　&　レフト　モールデイング取りはずし

2　リヤ　ウインドウ　サイド　ガーニツシユ取りはずし

(1)　ガーニツシユのクリツプ位置を，保護テープを貼つた⊖ドライバでこじる。

(2)　ガーニツシユを上方へ引き抜く。

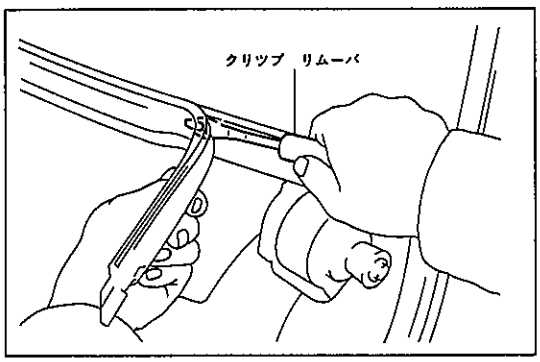


U8646

3　バツク　ウインドウ　パネル　アツパ　トリム取りはずし

(1)　トリムのクリツプ位置を，保護テープを貼つた⊖ドライバでこじて取りはずす。

4　パツケージ　トレイ　トリム　リヤ　ガーニツシユ取りはずし



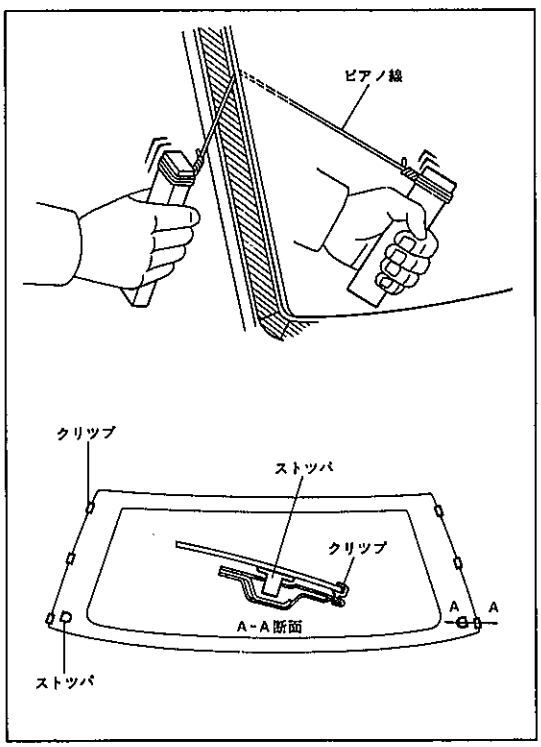
U8647

5　バツク　ドア　ガラス　ウエザストリツプ取りはずし

(1)　ウエザストリツプ両端のアドヘシブ接着を取りはずす。

(2)　ウエザストリツプのクリツプ位置を，クリツプ　リムーバでこじて取りはずす。

〈参考〉　クリツプ位置は，室内側より確認できる。



B1570　U8648

6　バツク　ドア　ガラス　&　アツパ　モールデイング取りはずし

(1)　デイフオツガ用コネクタ２個を切り離す。

ピアノ線を使用する場合

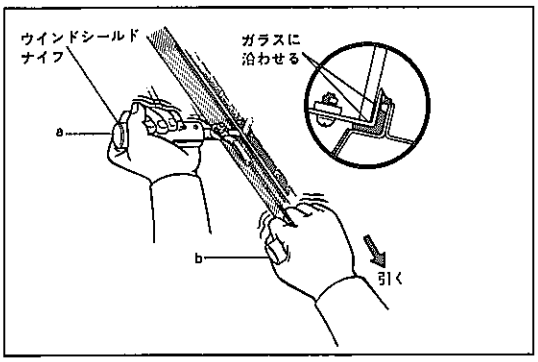
(2)　ガラス外周のボデー面に保護テープを貼る。

(3)　室内側よりピアノ線（アドヘシブ　セツト内）を通し，両端を木片などに結び付ける。

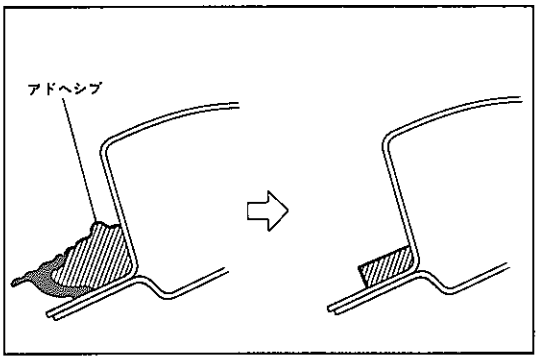
(4)　ピアノ線を交互に引き，接着部を切断する。

注意　• ガラス端部にピアノ線を強く接触させて作業しない。
• ガラス下側コーナ部の位置決め用ストツパおよびガラス左右端のモールデイング固定用クリツプを破損しないように注意する。

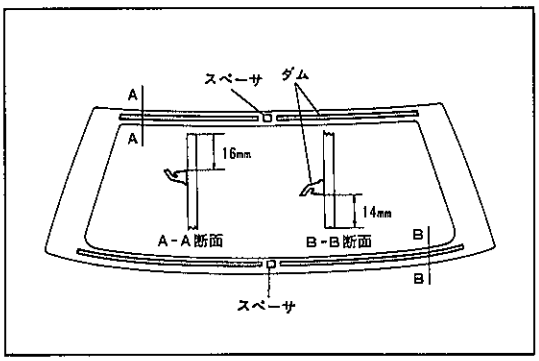
無断複製禁止



Z4500



U7170



U8649

ウインドシールド　ナイフを使用する場合

(2)　ガラス外周のボデー面に保護テープを貼る。

(3)　車外より接着部に石けん水を十分に塗布する。

(4)　接着部にナイフを差し込む。

注意　ガラスとボデーの間が広い箇所が適当。

(5)　a の部分で刃先とガラス端部を直角に保持しながら，ナイフの刃をガラス面および端部に沿わせるようにして，b の部分をガラス端部と平行に引いて切離する。

バツク　ドア　ガラス取り付け

1　車両側取り付け前準備

(1)　切断された車両側接着部が著しく凹凸のある場合，ナイフなどで平滑にする。

注意　やむをえない場合以外，アドヘシブをすべて削り取つてボデー面を露出させない。

(2)　白ガソリンで接着部付近を清掃する。

2　バツク　ドア　ガラス取り付け前準備

(1)　ガラスよりアツパ　モールデイング，アドヘシブおよびダムを取り除く。

(2)　白ガソリンで接着部付近を清掃する。

(3)　ガラスの図に示す箇所に両面テープ（ダム　キツト内）およびスペーサを貼り付ける。

(4)　両面テープの上へダムを貼り付ける。

(5)　バツク　ウインドウ　アウトサイド　ライト　&　レフト　モールデイングの内，どちらか一方をガラスに取り付ける。

(6)　バツク　ウインドウ　アウトサイド　アツパ　モールデイングをガラスに取り付ける。

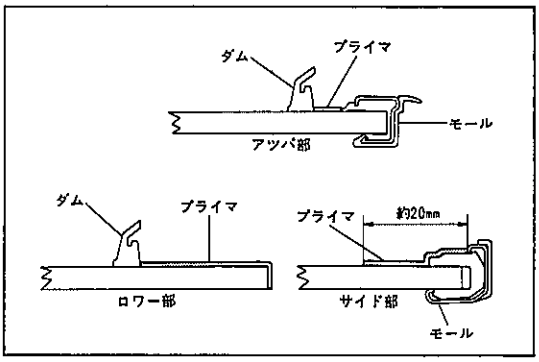
(7)　バツク　ウインドウ　アウトサイド　ライト　&　レフト　モールデイングの内，残りの一方をガラスに取り付ける。

3　バツク　ドア　ガラス　&　モールデイング取り付け

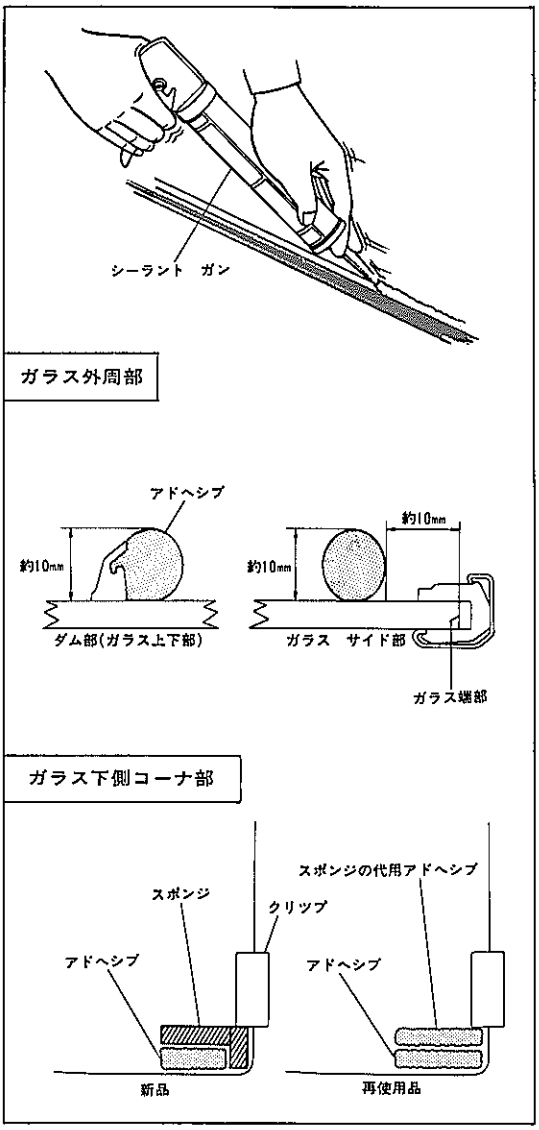
(1)　車両側接着部で，ボデー面が露出している箇所に塗板用プライマ　M（アドヘシブ　セツト内）を塗布する。

注意
- 厚塗りしない。
- アドヘシブには塗布しない。
- パネル継ぎ目およびスポツト溶接位置は，特に注意して塗布する。
- 塗布後10分以上60分以内にガラスを接着する。

無断複製禁止



U8650



B1575　U8651　U8652

(2) ガラス用プライマ　G（アドヘシブ　セツト内）を，ガラスの接着部に塗布する。

注意 • 厚塗りしない。
• 塗布後10分以上60分以内にガラスを接着する。

(3) 主剤と硬化剤（アドヘシブ　セツト内）を混合し，カートリツジ（アドヘシブ　セツト内）に充てんする。

注意 • アドヘシブの使用に関しては，使用説明書に従う。
• カートリツジに充てんする時，空気の混入を防ぐためノズルの先端を少し切り取つておく。

(4) カートリツジのアドヘシブ吐出口径が約10mmになるようにノズル先端を切り取る。

(5) シーラント　ガンにカートリツジをセツトする。

(6) ダムに沿つてシーラント　ガンでアドヘシブをビート状にダムより高く塗布する。

(7) ガラス左右端の図に示す箇所に，アドヘシブをビート状に塗布する。

(8) ガラス下側コーナ部の図に示す箇所に，アドヘシブをビート状に塗布する。

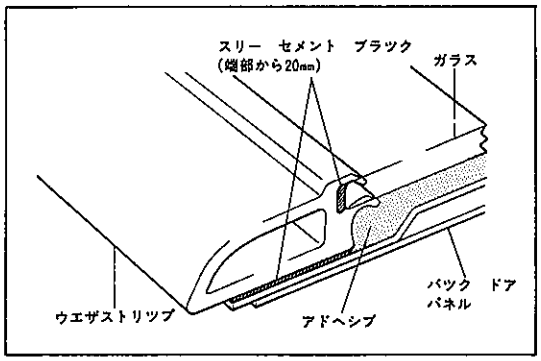
注意 アドヘシブ塗布後５分以内にガラスを取り付ける。

(9) 吸引ゴム盤などを使用して，ガラス下側コーナ部の位置決め用ストツパをボデーの穴に合わせて取り付ける。

(10) ガラス全面を軽く押し，完全に密着させる。

〈参考〉　押し付け力　10kg以上

無断複製禁止



U8653

(11) バツク ドア ガラス ウエザストリツプを取り付ける。

注意 ウエザストリツプの取り付けは，ガラス接着用アドヘシブが硬化する前に行う。

① 新品のリテーナ9個をウエザストリツプに取り付ける。

② ウエザストリツプ端部から20mmを，スリー セメント ブラツクにより図のように取り付ける。

③ ウエザストリツプ端部が接着するまで，ガム テープなどで固定する。

④ ウエザストリツプをガラス下側にかん合させる。

⑤ リテーナ9個をバツク ドア パネルに取り付ける。

(12) アドヘシブのはみ出しを清掃する。

(13) デイフオツガ用コネクタ2個を接続する。

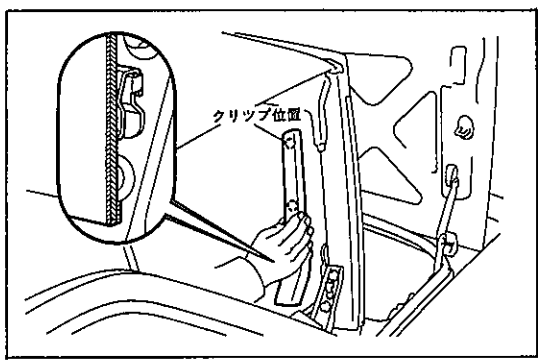
4 水漏れ点検および補修

(1) アドヘシブ硬化後，水漏れ点検を行う。

(2) 水漏れが生じた場合，乾燥させた後，スリー セメント ブラツクを充てんする。

5 パツケージ トレイ リヤ ガーニツシユ取り付け

6 バツク ウインドウ パネル アツパ トリム取り付け



U8701

7 リヤ ウインドウ サイド ガーニツシユ取り付け

(1) ガーニツシユ下部のクリツプをドライブ ギヤに引つ掛け，クリツプ位置をたたいてサイド ガーニツシユを取り付ける。

無断複製禁止

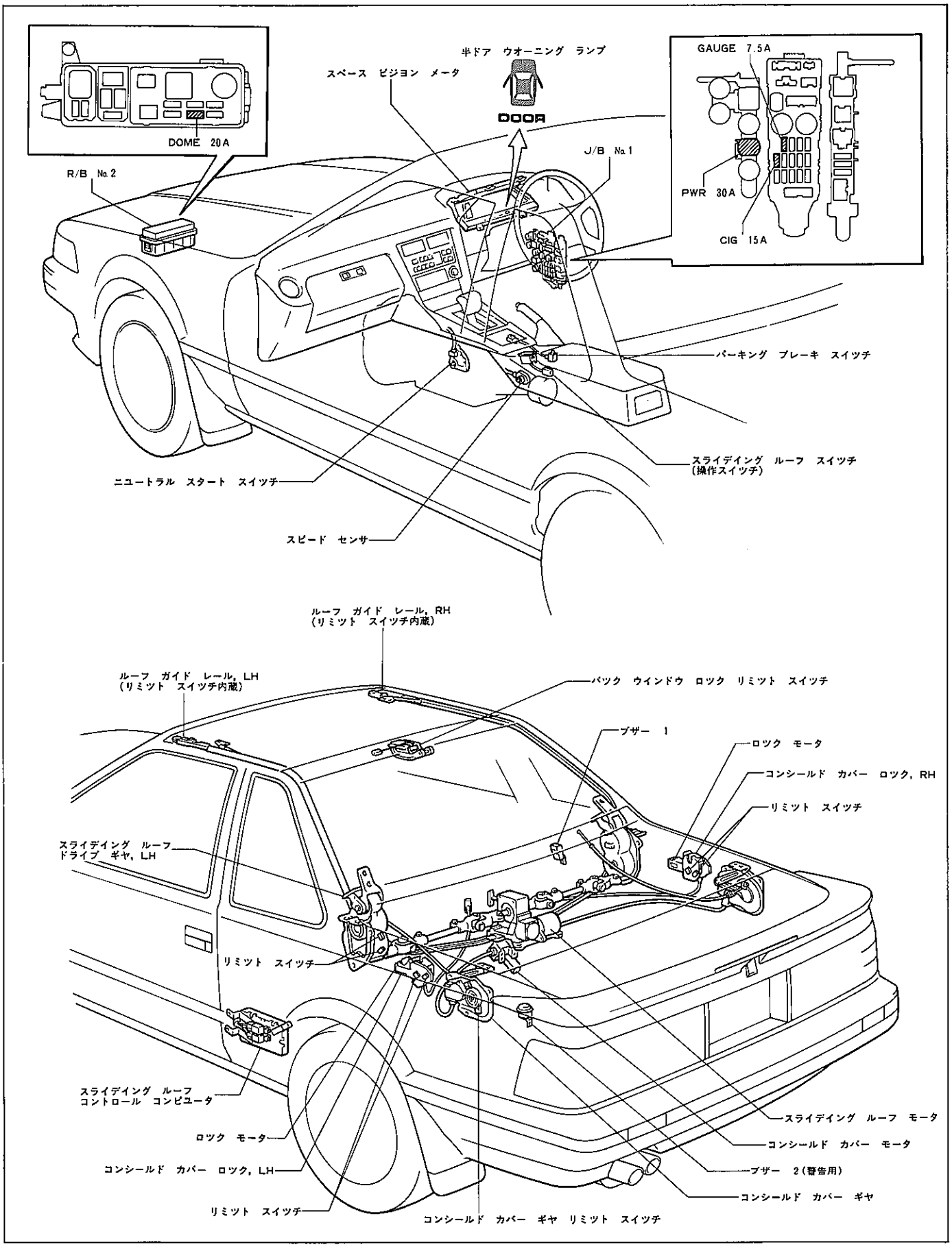
リムーバブル　ルーフ

準　備　品

工　具	クリップ　リムーバ	クリップ取りはずし用
	ヘキサゴン　レンチ　1.5mm	スライデイング　ルーフ　ロック　ハンドルのフック長さ調整用
	ヘキサゴン　レンチ　3mm	ルーフ　コンシールド　カバー　ドライブ　ギヤモータ脱着用
計　器	09082-00012 テスタ，トヨタ　エレクトリカル	各部点検用
油　脂 その他	アドヘシブ　1324	スクリユのネジ部への塗布用
	白ガソリン	各部清掃用
	両面テープ	各部接着用
	乾電池３本	ルーフ　コンシールド　カバー　ロック点検用

無断複製禁止

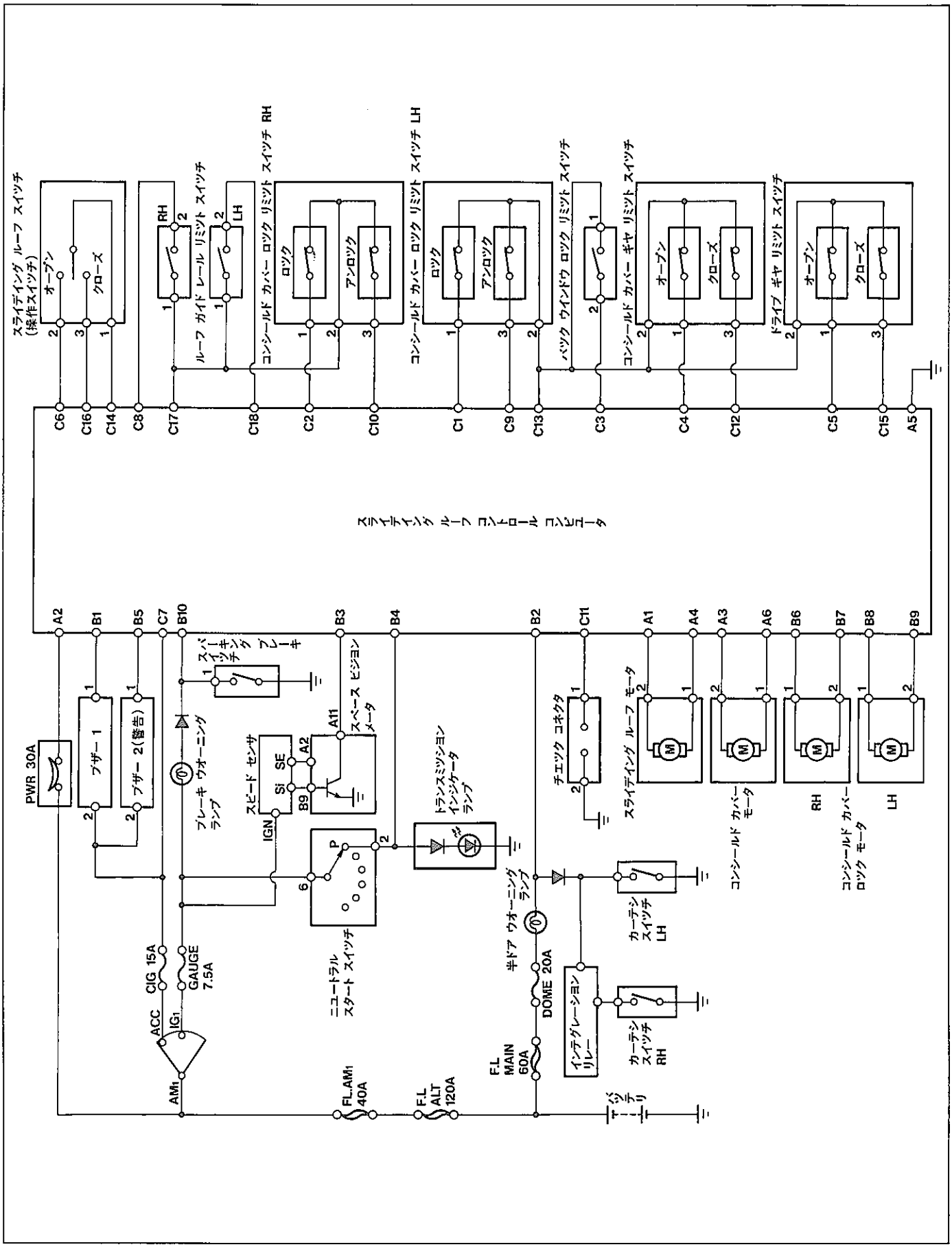
部品配置図



U8654 U8655

無断複製禁止

回　路　図

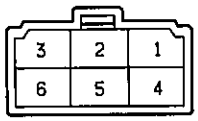


U8656

無断複製禁止

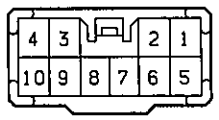
スライデイング ルーフ コントロール コンピュータ

コネクタ A



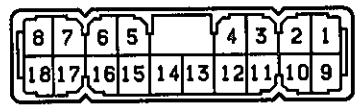
H-6-2

コネクタ B



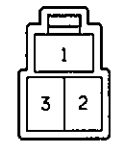
S-10-2

コネクタ C



S-18-2-A

スライデイング ルーフ スイッチ
(操作スイッチ)



H-3-2

ルーフ ガイド レール リミット スイッチ

RH

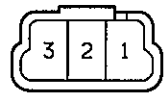
S-2-1-G

LH

S-2-1-G

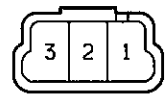
コンシールド カバー ロック
リミット スイッチ

RH



GA-3-2

LH

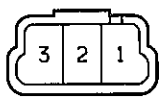


GA-3-2

バック ウインドウ ロック
リミット スイッチ

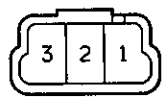
S-2-1-G

コンシールド カバー ギヤ
リミット スイッチ



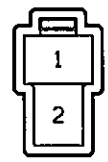
GA-3-2

ドライブ ギヤ
リミット スイッチ



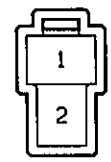
GA-3-2

スライデイング ルーフ モータ



H-2-2

コンシールド カバー モータ



H-2-2

コンシールド カバー
ロック モータ

RH

S-2-2-G

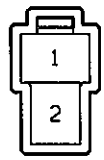
LH

S-2-2-G

チエツク コネクタ

S-2-1-G

ブザー 2

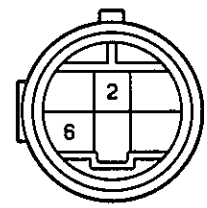


H-2-2

パーキング ブレーキ スイッチ

H-1-2

ニユートラル スタート スイッチ

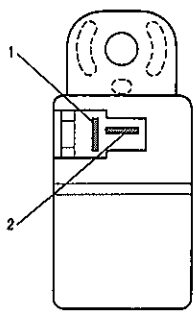


TH-6-2

スピード センサ

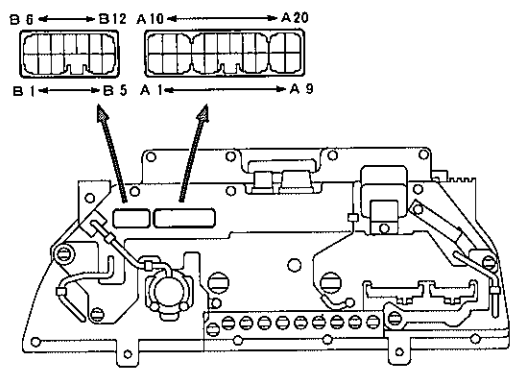
IS-3-2-A

ブザー 1



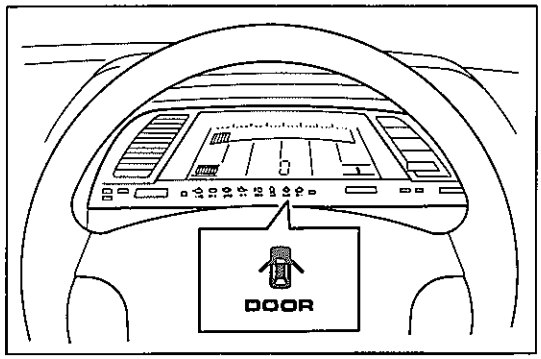
U8781

スペース ビジョン メータ



U8657

無断複製禁止



U8658

機能点検

ルーフ半開状態表示点検

1　半ドア　ウオーニング　ランプ点検

注意　フロント　ドアが開状態で，半ドア　ウオーニング　ランプが点灯することを確認し，全閉状態にして消灯させる。

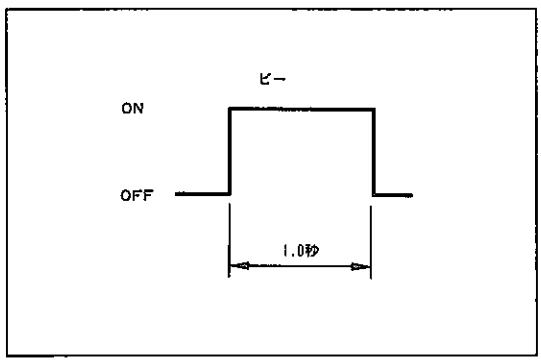
(1) ルーフ　ロツク　RH，LH またはバツク　ウインドウ　ロツクを解除する。

(2) イグニツシヨン　スイツチを ACC または ON にする。

(3) 半ドア　ウオーニング　ランプが点滅することを点検する。

注意　フロント　ドアが開状態のときは，ウオーニング　ランプは連続点灯する。

〈参考〉　ルーフが全閉および全開時は点滅しない。



U8659

ブザー点検

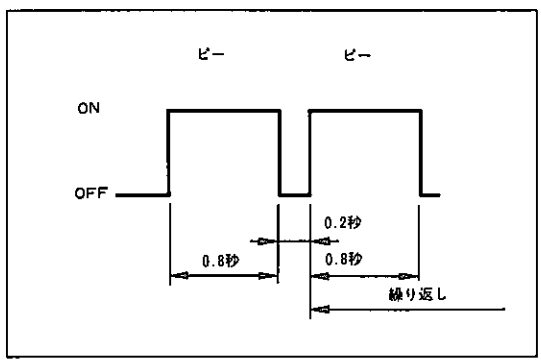
注意　ルーフが全閉状態で点検する。

1　作動前警告

(1) ルーフ　ロツク　RH，LH およびバツク　ウインドウ　ロツクを解除する。

(2) イグニツシヨン　スイツチを ON にする。

(3) 操作スイツチ（スライデイング　ルーフ　スイツチ）の「開」側を押したとき，ブザーが“ビー”と鳴ることを点検する。



U8660

2　作動中および途中停止

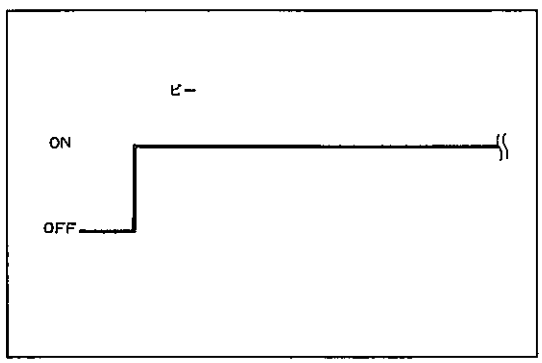
(1) ルーフ　ロツク　RH，LH およびバツク　ウインドウ　ロツクを解除する。

(2) イグニツシヨン　スイツチを ON にする。

(3) ブザーが“ピー，ピー”と断続的に鳴ることを点検する。

(4) 操作スイツチを押し続けて，作動前警告ブザーが鳴つた後，カバー，ルーフが作動している間，ブザーが“ピー，ピー”と断続的に鳴ることを点検する。

(5) また，(4)の作動中，操作スイツチを OFF したとき，ブザーが“ピー，ピー”と断続的に鳴ることを点検する。

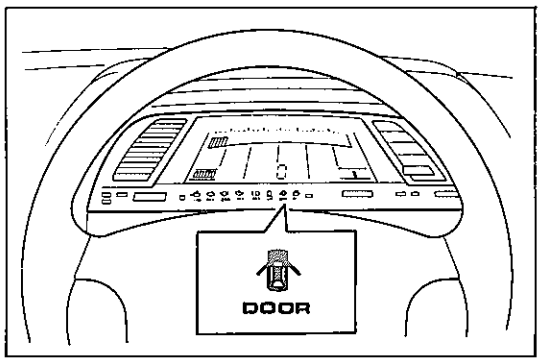


U8661

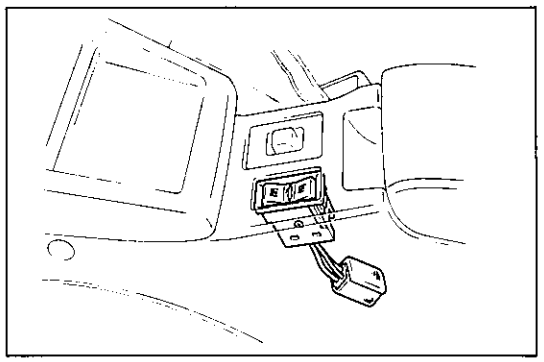
3　走行禁止

(1) 作動中および途中停止状態で，車速，パーキング　ブレーキ，P　レンジ，IG 信号のいずれか 1 つが不成立したとき，ブザーが“ピー”と連続的に鳴ることを点検する。

無断複製禁止



U8658



U8662

リムーバブル　ルーフ作動点検

注意　ルーフ全閉状態から点検する。

1　オープン作動点検

(1) エンジンを始動する。

(2) ルーフ　ロツク　RH，LH およびバツク　ウインドウ　ロツクを解除する。

(3) ブザーの断続音および半ドア　ウオーニング　ランプが点滅することを点検する。(P 1-25参照)

(4) 操作スイツチ（スライデング　ルーフ　スイツチ）の「開」側を押し続けたとき，作動前警告ブザーが鳴り，カバー　ロツクが解除されてコンシールド　カバーが開き始め，全開位置で停止することを点検する。

(5) 再度，操作スイツチの「開」側を押し続けたとき，作動前警告ブザーが鳴り，ルーフが開き始め，格納位置で停止することを点検する。

(6) 再度，操作スイツチの「開」側を押し続けたとき，作動前警告ブザーが鳴り，コンシールド　カバーが閉じ始め，全閉位置で停止してカバー　ロツクがロツクすることを点検する。

(7) 同時にブザーの断続音および半ドア　ウオーニング　ランプの点滅が止まることを点検する。

2　クローズ作動点検

注意　・ルーフ全開状態から点検する。
・バツク　ウインドウ　ロツク　ハンドルがセツトされている場合は，ロツク　ハンドルを解除する。

(1) エンジンを始動する。

(2) 操作スイツチの「閉」側を押し続けたとき，作動前警告ブザーが鳴り，カバー　ロツクが解除されてコンシールド　カバーが開き始め，全開位置で停止することを点検する。

(3) 再度，操作スイツチの「閉」側を押し続けたとき，作動前警告ブザーが鳴り，ルーフが閉じ始め，全閉位置で停止することを点検する。

(4) ルーフ　ロツク　RH，LH およびバツク　ウインドウ　ロツクをロツクする。

(5) 再度，操作スイツチの「閉」側を押し続けたとき，作動前警告ブザーが鳴り，カバーが閉じ始め，全閉位置で停止してコンシールド　カバーがロツクされることを点検する。

(6) 同時にブザーの断続音および半ドア　ウオーニング　ランプの点滅が止まることを点検する。

3　一時停止機能点検

(1) コンシールド　カバー，ルーフの開閉作動中，操作スイツチをOFF にしたとき，開閉作動が停止することを点検する。

注意　ブザーの断続音は止まらない。

(2) 停止させた状態で，操作スイツチを再度押し続けたとき，開閉作動が再開することを点検する。

注意　作動再開時，作動前警告ブザーは鳴らない。

無断複製禁止

4　走行禁止警告機能点検

(1) 全閉または全開状態以外で，ブザーの断続音が鳴つていることを点検し，その後下記の①～③のいずれかの操作をする。

① パーキング　ブレーキ　レバーを戻す。

② フロア　シフトをP　レンジ以外にする。

③ イグニツシヨン　スイツチをACCにする。

(2) 開閉作動中の場合，作動が停止してブザーの断続音が止まり，その後，操作スイツチをOFFにするとブザーが連続音を発することを点検する。

(3) 開閉作動停止状態の場合，ブザーの断続音が連続音に変化することを点検する。

(4) ブザーが連続音を発している状態で，操作スイツチをOFFにしたとき，音が止まり，作動が開始されないことを点検する。

(5) ブザーが連続音を発している状態で，上記(1)①～③のいずれかの操作を元に戻したとき，ブザーが断続音に変化することを点検する。

5　誤操作防止機能点検

(1) 全閉状態で，ルーフ　ロツク　RH，LHまたはバツク　ウインドウ　ロツクのいずれかを解除する。

(2) ブザーの断続音がすることを点検する。

(3) 操作スイツチの「開」側を押す。

(4) ブザーの断続音が止まり，オープン作動がしないことを点検する。

(5) クローズ作動中のルーフが閉じ終つた状態にする。

(6) ブザーの断続音がすることを点検する。

(7) 操作スイツチの「閉」側を押したとき，ブザーの断続音が止まることを点検する。

(8) コンシールド　カバーのクローズ作動が始まらないことを点検する。

(9) (5)の状態で，ルーフ　ロツク　RH，LHまたはバツク　ウインドウ　ロツクのいずれかをロツクする。

(10) 操作スイツチの「閉」側を押したとき，ブザーの断続音が止まることを点検する。

(11) コンシールド　カバーのクローズ作動が始まらないことを点検する。

6　エラー記憶機能点検

(1) オープン作動中のルーフが開き始めた時点で，操作スイツチをOFFにし，作動を一時停止させる。

(2) ブザーの断続音がすることを点検する。

(3) 作動の一時停止状態において，手動操作でコンシールド　カバーを閉じる。

〈参考〉　コンシールド　カバー　ギヤ　ハンドルを10回転操作する。

(4) ブザーの断続音が止まることを点検する。

(5) 半ドア　ウオーニング　ランプが点滅していることを点検する。

(6) (3)の状態で，操作スイツチの「開」側および「閉」を押したとき，作動しないことを点検する。

(7) (3)の状態から再度，手動操作でカバーを全開位置まで開いたとき，ブザーが鳴らないことを点検する。

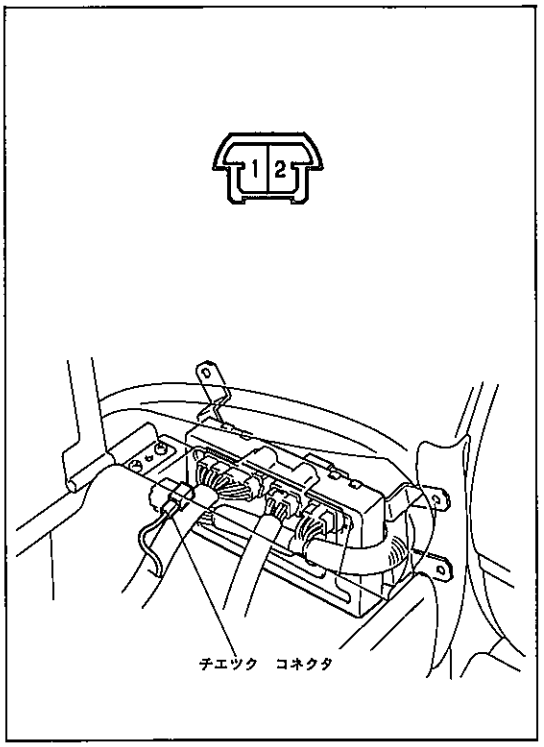
(8) 操作スイツチの「開」側および「閉」側を押したとき，作動しないことを点検する。

(9) 記憶解除操作をする。(P 1 -28参照)

(10) ブザーの断続音がすることを点検する。

(11) 操作スイツチを「開」側および「閉」側にしたとき，ルーフが作動することを点検する。

無断複製禁止



S-2-1-G　UB563

7　エラー記憶解除方法

(1) パツケージ　トレイ　トリム　サイド　カバー　LH を取りはずす。(P 1-71参照)
(2) チエツク　コネクタの端子間を短絡する。
(3) イグニツシヨン　スイツチを OFF から ON にする。
(4) チエツク　コネクタの端子間の短絡をはずす。
(5) パツケージ　トレイ　トリム　サイド　カバー　LH を取り付ける。

8　作動条件と停止条件

作　動　条　件 (①～⑤の条件がすべて成立後，開閉作動を成立させる)	停　止　条　件 (①～⑦の条件のいずれか１つ成立でよい)
① 車速が０km/h ② パーキング　ブレーキ　レバーを引く（パーキング　ブレーキ　スイツチ　ON） ③ フロア　シフト　P　レンジ ④ イグニツシヨン　スイツチ　ON ⑤ 操作スイツチ　ON 全開作動 ルーフ　ロツク　RH，LHおよびバツク　ウインドウ　ロツクのロツクを解除する。 全閉作動 ルーフ閉後，ルーフ　ロツク　RH，LHおよびバツク　ウインドウ　ロツクをロツクすると，コンシールド　カバーが閉じる。	① 車速が1.5km/h以上 ② パーキング　ブレーキ　レバーを戻す（パーキング　ブレーキ　スイツチ　OFF） ③ フロア　シフト　P　レンジ以外 ④ イグニツシヨン　スイツチ　OFFまたはACC ⑤ 操作スイツチ　OFF ⑥ コンピユータ　コネクタ　C７端子の電圧が８V以下 ⑦ モータ　ロツク検出 駆動電流 スライデイング　ルーフ　モータ…※1 30A以上 コンシールド　カバー　モータ……※1 15A以上 作動時間※2 スライデイング　ルーフ　モータ…45秒以上 コンシールド　カバー　モータ……12秒以上 カバー　ロツク　モータ……２秒以上

※１：検出時間は起動時0.5秒，作動中0.2秒とする。
※２：途中で作動を停止した場合は，その前後の時間を加算したものとする。ただし，途中で停止させて電源を切つた場合(イグニツシヨン　スイツチ　OFF)および逆方向に作動させた場合は，それまでの時間はキヤンセルする。

無断複製禁止

〈参考〉　ルーフ開閉作動状態と各リミット　スイッチの入力条件を示す。

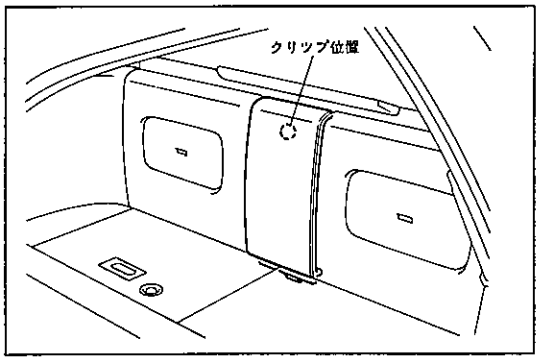
入　出　力		入　力													出　力			
状　態		コンシールドカバー　ロック				コンシールドカバー		ルーフ		バックウインドウロック	ルーフロック		操作スイッチ		コンシールドカバー　ロック		コンシールドカバー	ルーフ
		RH		LH		開	閉	開	閉		RH	LH	開	閉	RH	LH		
		UNLOCK	LOCK	UNLOCK	LOCK													
1	全　閉	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2	バツク　ウインドウ　ロツク ロック解除	○	×	○	×	○	×	○	×	○	—	—	×	×	×	×	×	×
3	ルーフ　ロツク　RH ロック解除	○	×	○	×	○	×	○	×	—	○	—	×	×	×	×	×	×
4	ルーフ　ロツク　LH ロック解除	○	×	○	×	○	×	○	×	—	—	○	×	×	×	×	×	×
5	コンシールド　カバー ロック　UNLOCK	○	—	○	—	○	×	○	×	○	○	○	○	×	UNLOCK	UNLOCK	×	×
6	コンシールド　カバー開	×	○	×	○	○	—	○	×	○	○	○	○	×	×	×	開	×
7	再押し前	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
8	再押し後，ルーフ開	×	○	×	○	×	○	○	—	○	○	○	○	×	×	×	×	開
9	再押し前	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
10	再押し後， コンシールド　カバー開	×	○	×	○	—	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	閉	×
11	コンシールド　カバー ロック　LOCK	—	○	—	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	LOCK	LOCK	×	×
12	全　閉	○	×	○	×	○	×	×	○	—	—	—	×	×	×	×	×	×
13	コンシールド　カバー ロック　UNLOCK	○	—	○	—	○	×	×	○	—	○	○	×	○	UNLOCK	UNLOCK	×	×
14	コンシールド　カバー開	×	○	×	○	○	—	×	○	—	○	○	×	○	×	×	開	×
15	再押し前	×	○	×	○	×	○	×	○	—	○	○	×	○	×	×	×	×
16	再押し後，ルーフ閉	×	○	×	○	×	○	—	○	—	○	○	×	○	×	×	×	閉
17	再押し前	×	○	×	○	×	○	○	×	—	○	○	×	○	×	×	×	×
18	再押し後， コンシールド　カバー閉	×	○	×	○	—	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	閉	×
19	コンシールド　カバー ロック　LOCK	—	○	—	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	LOCK	LOCK	×	×

※1 ○：ON　※2 ×：OFF　—：どちらでもよい

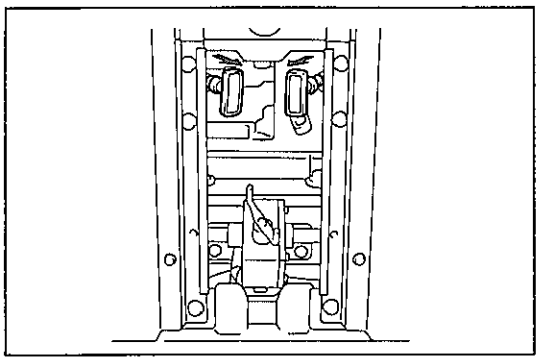
※1：イグニッション　スイッチ　ON時のコンピュータ　コネクタ端子電圧は1V以下。

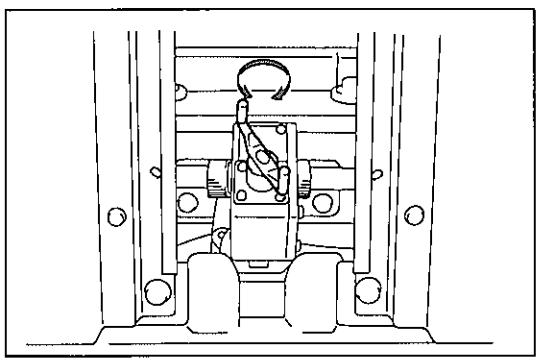
※2：イグニッション　スイッチ　ON時のコンピュータ　コネクタ端子電圧は10～14V。

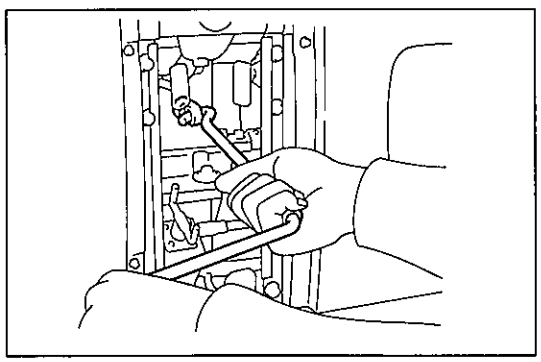
無断複製禁止



U8668


U8664


U8665


U8666

手動操作

注意 イグニッションスイッチ OFF で操作を行う。

ルーフ オープン作動

1 ルーム パーテイシヨン センタ パネル取りはずし

(1) クリップのかん合をはずし，ルーム パーテイシヨン センタ パネルを引き上げて取りはずす。

2 ルーフ ロック RH および LH ロック解除

3 バック ウインドウ ロック解除

4 ルーフ コンシールド カバー ロック解除

(1) ルーフ コンシールド ロック コントロール ケーブル RH および LH を引いてロックを解除する。

5 ルーフ コンシールド カバー オープン

(1) ルーフ コンシールド カバー ドライブ ギヤのハンドルを回してカバーを開ける。

注意 ハンドルを回し過ぎて，ドライブ ギヤ，モータおよびケーブルに負荷をかけない。

〈参考〉 • 反時計方向……コンシールド カバーが開く。
• 時計方向……コンシールド カバーが閉まる。

6 ルーフ オープン

(1) ジャッキ ハンドルを使用して，スライディング ルーフ ドライブ ギヤを回して開ける。

注意 ジャッキ ハンドルを回し過ぎて，ドライブ ギヤ，モータおよびケーブルに負荷をかけない。

〈参考〉 • 反時計方向……ルーフが開く。
• 時計方向……ルーフが閉まる。

ルーフ クローズ作動

1 ルーフ クローズ

2 ルーフ ロック RH および LH ロック

3 バック ウインドウ ロックのロック

4 ルーフ コンシールド カバー クローズ

5 ルーム パーテイシヨン センタ パネル取り付け

無断複製禁止

トラブル　シユーテイング

フロー　チヤートの見方

……作業する項目

……点検する項目

• コンビユータなどの端子番号は単体点検のコネクタによる。

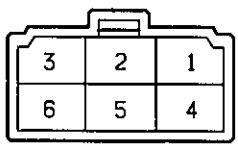
……不具合要因

不具合チヤート

不　具　合　現　象	フロー　チヤート　No
ロツクを解除してもブザーが鳴らない	1
ロツクを解除しても半ドア　ウオーニング　ランプが点滅しない（ブザーは鳴る）	2
操作スイツチを押してもオープン作動が始まらない	3
操作スイツチを押してもクローズ作動が始まらない	4
作動が途中で止まる	5
操作スイツチ　OFFで，コンシールド　カバーが閉まつてもブザーが鳴りやまない	6

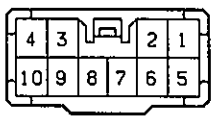
スライデイング　ルーフ　コントロール　コンビユータ

コネクタ　A



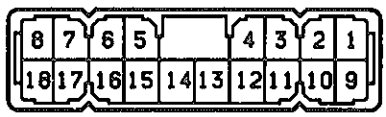
H-6-2

コネクタ　B



S-10-2

コネクタ　C



S-18-2-A

ルーフ　ガイド　レール
リミツト　スイツチ
ハーネス側

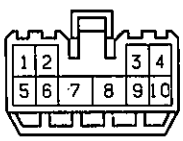
S-2-2-G

バツク　ウインドウ
ロツク　リミツト　スイツチ
ハーネス側

S-2-2-G

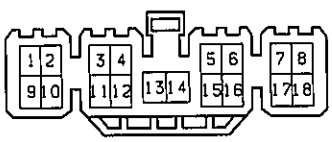
スライデイング　ルーフ　コントロール　コンビユータ　ハーネス側

コネクタ　B



S-10-1

コネクタ　C

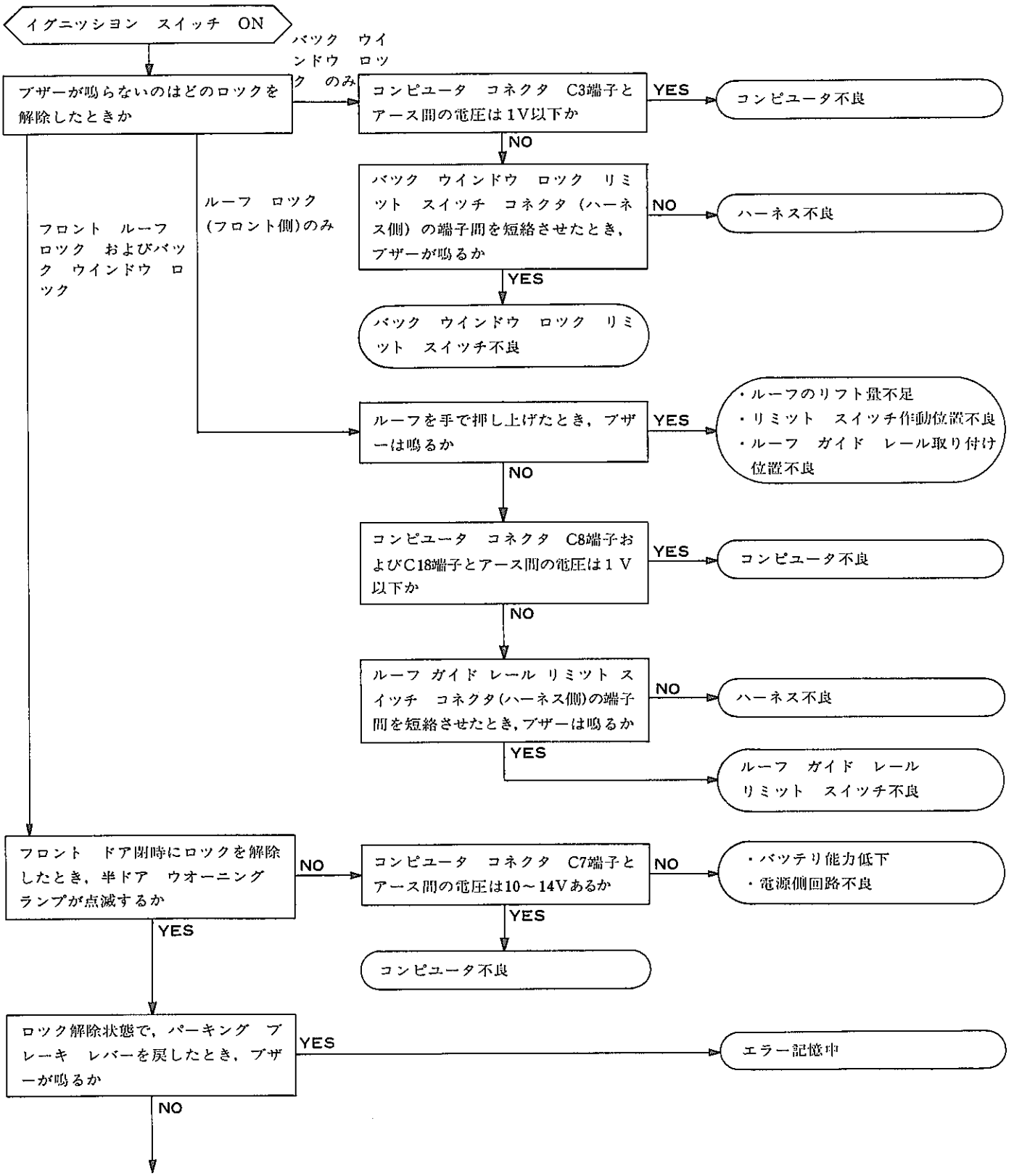


S-18-1

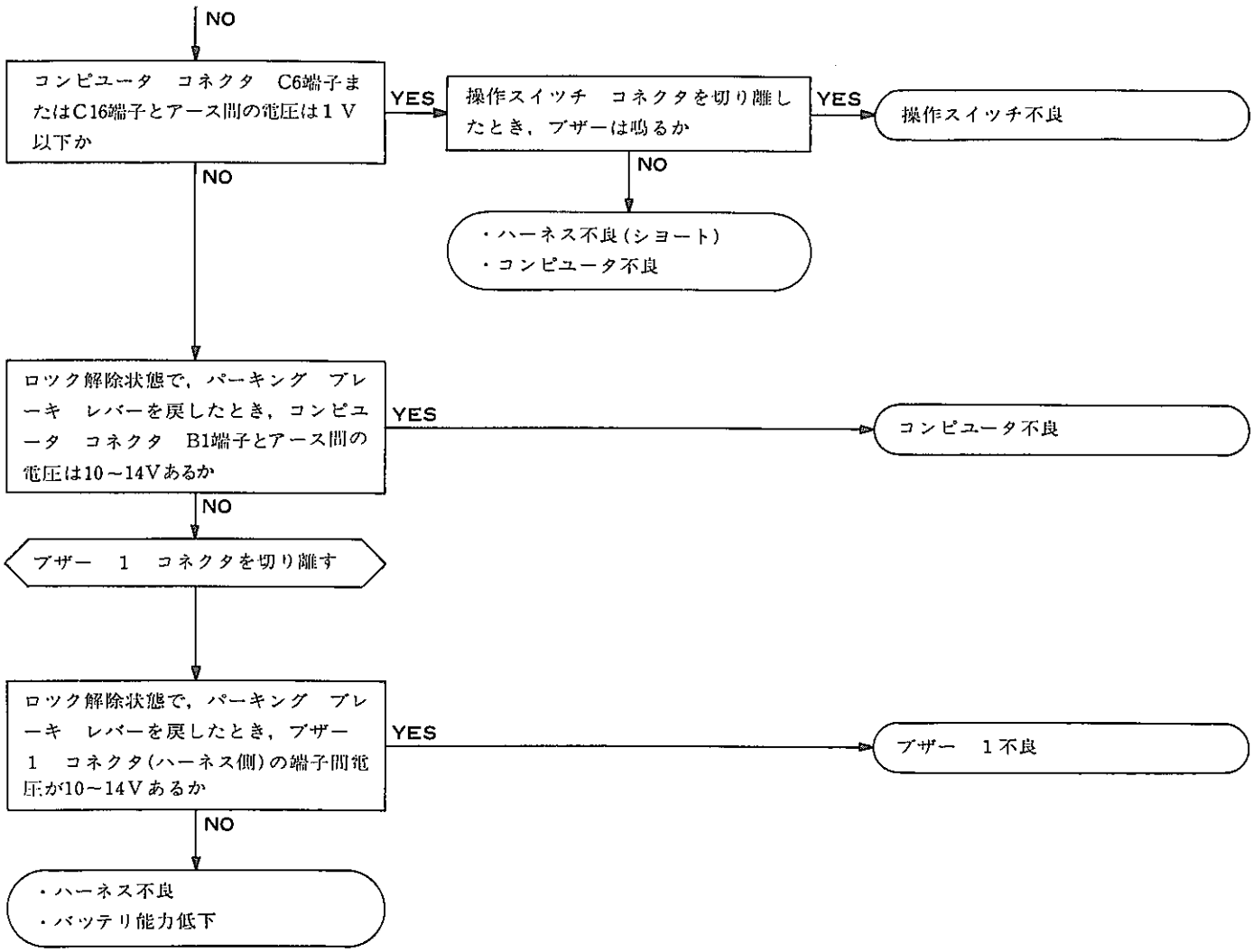
無断複製禁止

フロー チヤート

1 ロツクを解除してもブザーが鳴らない

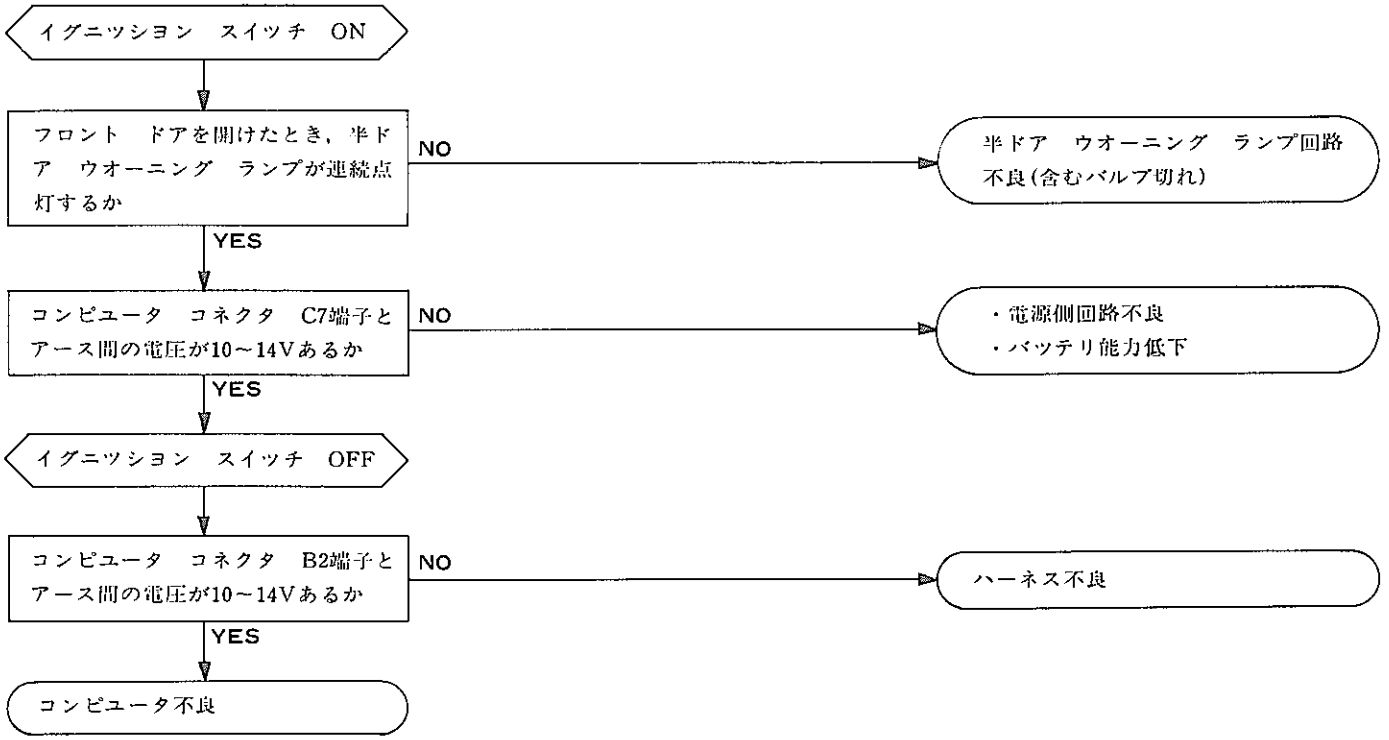


無断複製禁止


NO
コンピユータ　コネクタ　C6端子またはC16端子とアース間の電圧は1 V以下か
YES
操作スイツチ　コネクタを切り離したとき，ブザーは鳴るか
YES
操作スイツチ不良
NO
・ハーネス不良(ショート)
・コンピユータ不良
NO
ロツク解除状態で，パーキング　ブレーキ　レバーを戻したとき，コンピユータ　コネクタ　B1端子とアース間の電圧は10～14Vあるか
YES
コンピユータ不良
NO
ブザー　1　コネクタを切り離す
ロツク解除状態で，パーキング　ブレーキ　レバーを戻したとき，ブザー　1　コネクタ(ハーネス側)の端子間電圧が10～14Vあるか
YES
ブザー　1不良
NO
・ハーネス不良
・バッテリ能力低下

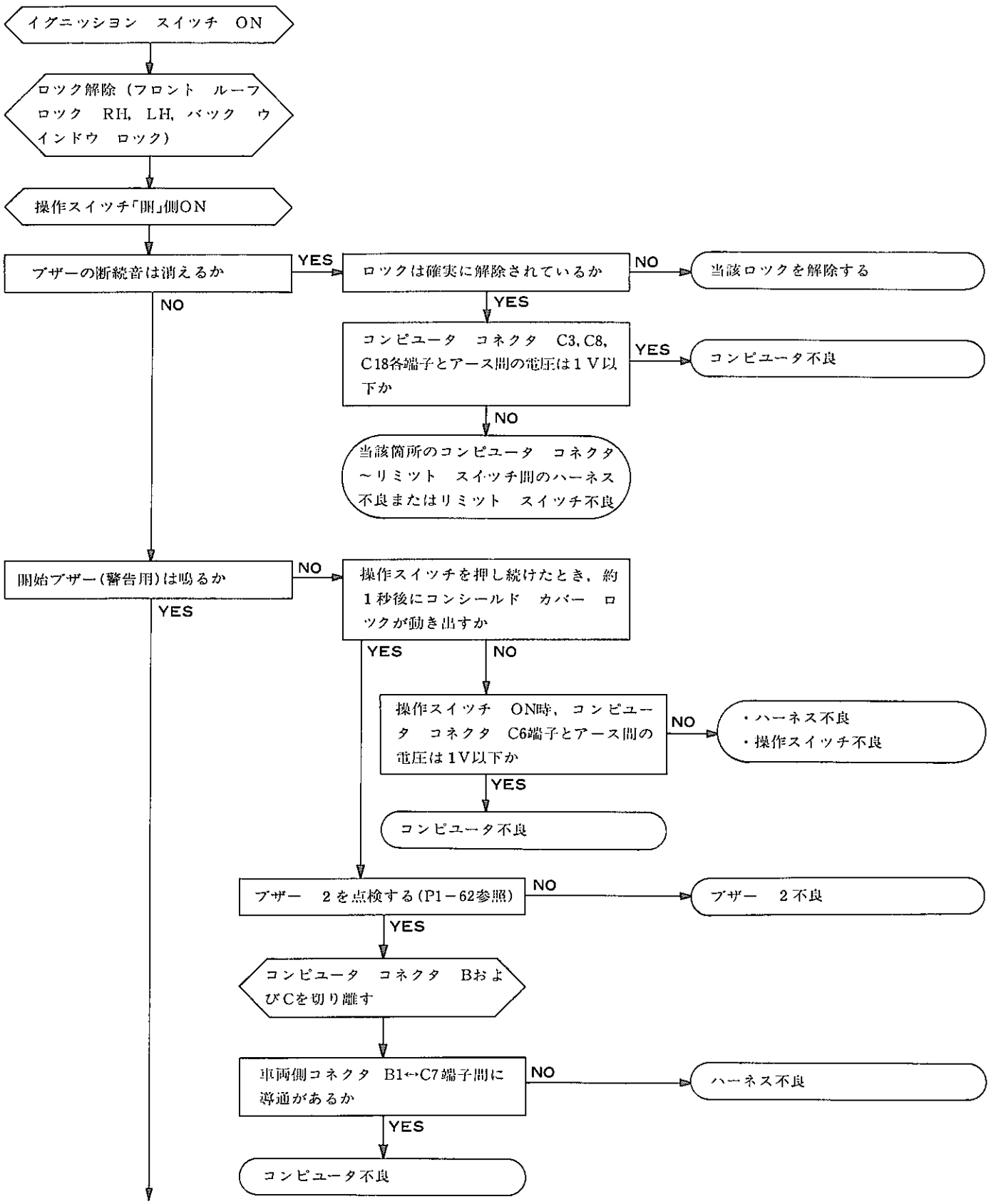
無断複製禁止

2　ロックを解除しても半ドア　ウオーニング　ランプが点滅しない(ブザーは鳴る)

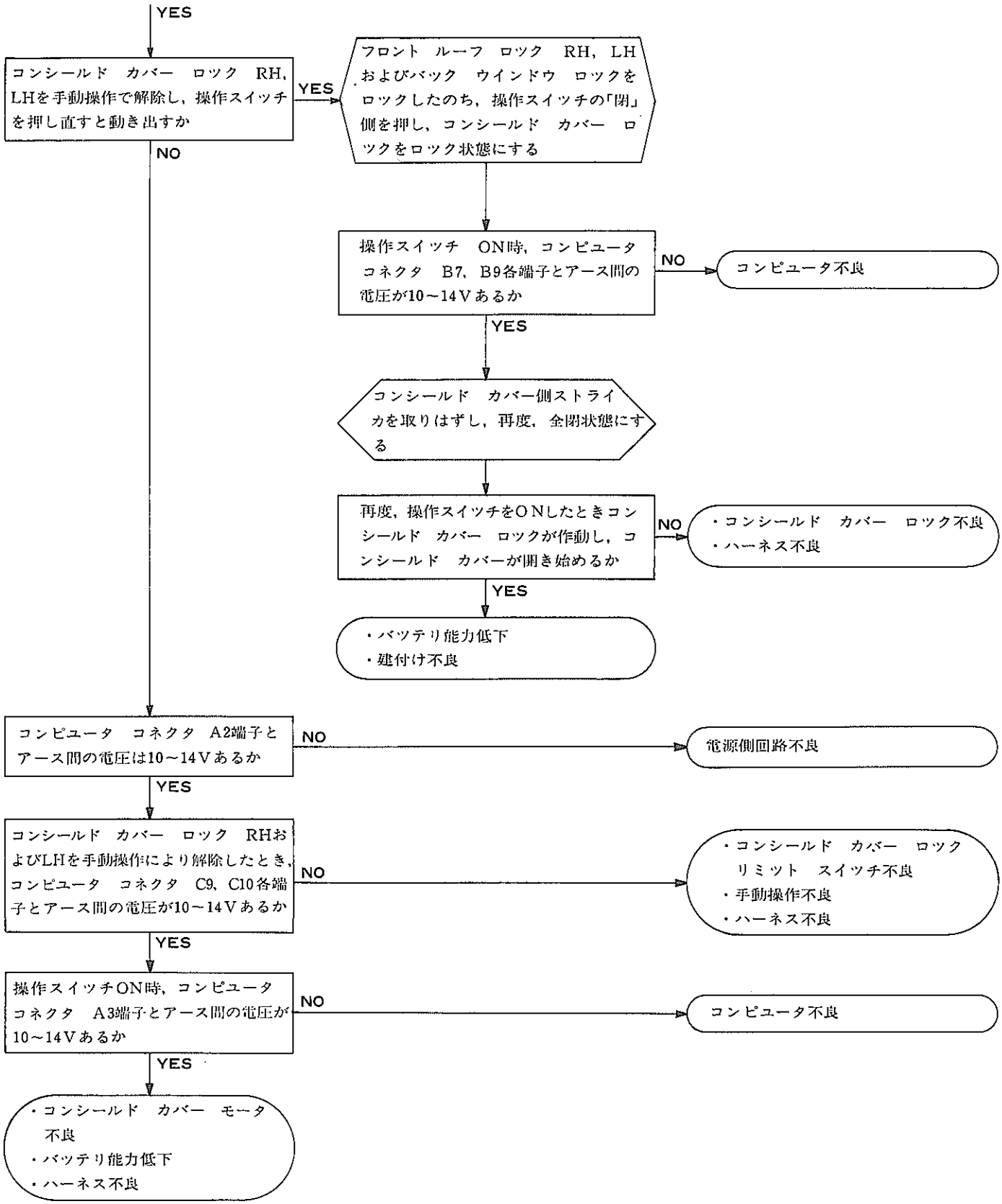


無断複製禁止

3　操作スイッチを押してもオープン作動が始まらない

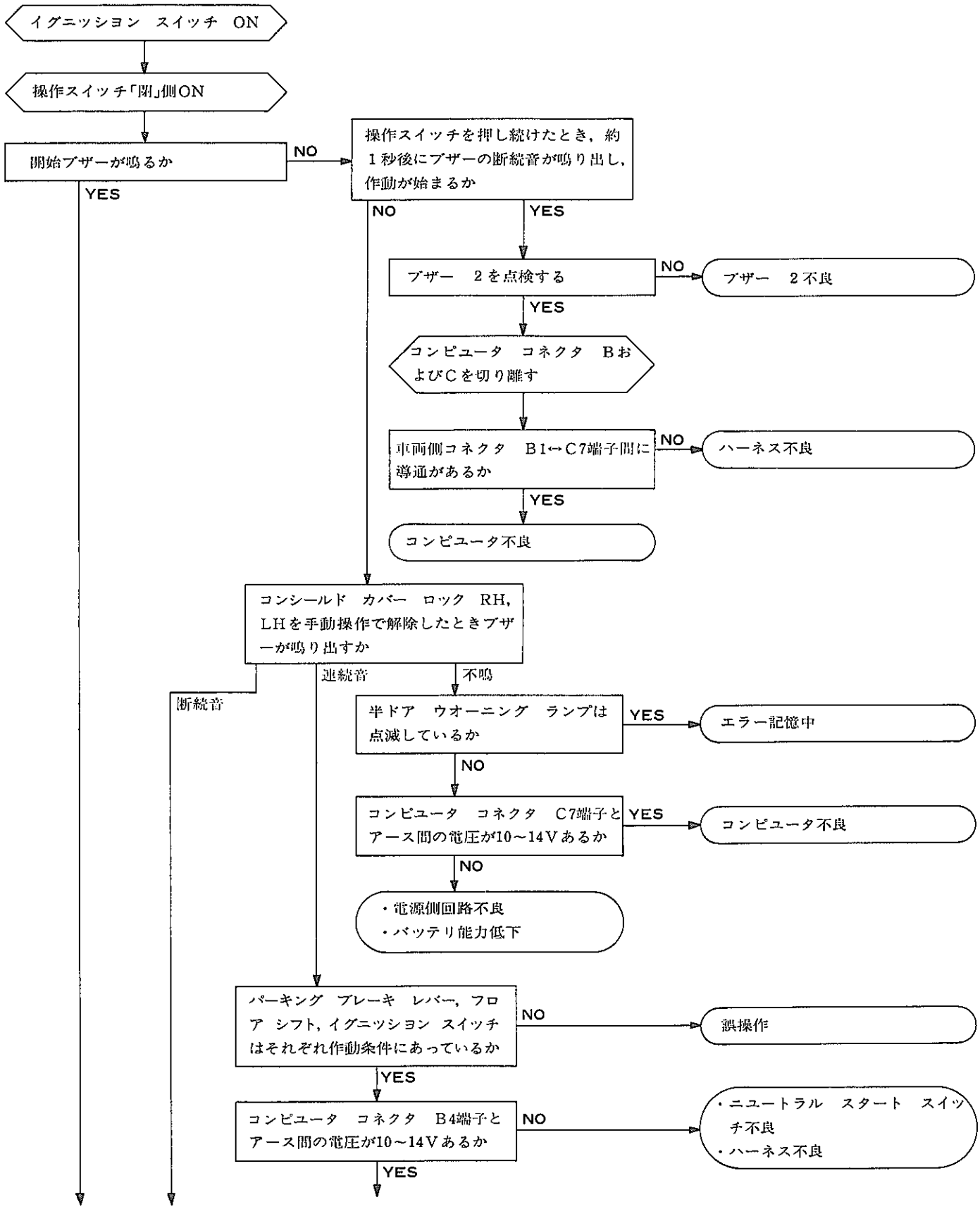


無断複製禁止

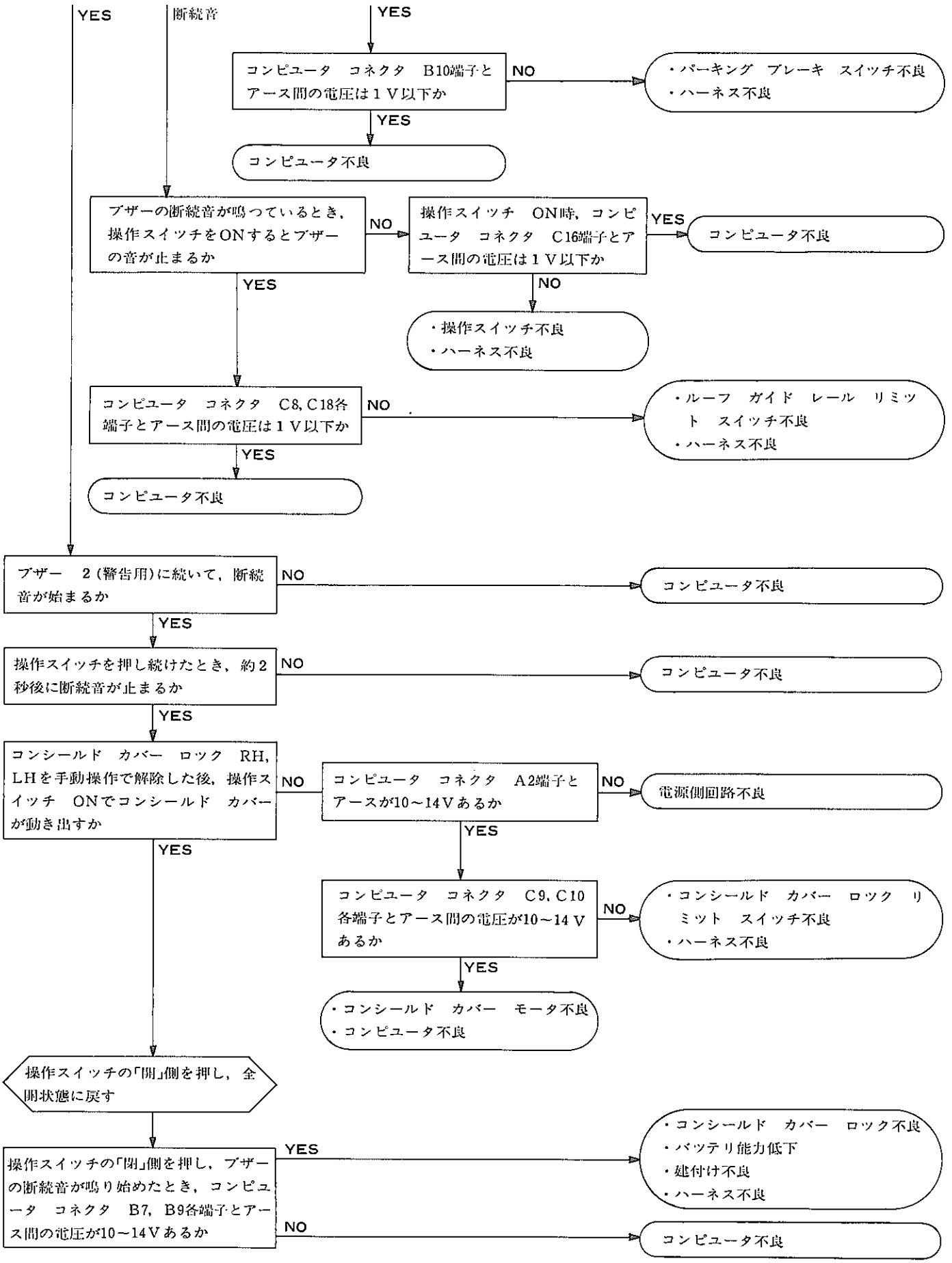

YES
コンシールド カバー ロック RH, LHを手動操作で解除し，操作スイッチを押し直すと動き出すか
YES
フロント ルーフ ロック RH, LHおよびバック ウインドウ ロックをロックしたのち，操作スイッチの「閉」側を押し，コンシールド カバー ロックをロック状態にする
NO
操作スイッチ ON時，コンピュータ コネクタ B7, B9各端子とアース間の電圧が10～14Vあるか
NO
コンピュータ不良
YES
コンシールド カバー側ストライカを取りはずし，再度，全閉状態にする
再度，操作スイッチをONしたときコンシールド カバー ロックが作動し，コンシールド カバーが開き始めるか
NO
・コンシールド カバー ロック不良
・ハーネス不良
YES
・バッテリ能力低下
・建付け不良
NO
コンピュータ コネクタ A2端子とアース間の電圧は10～14Vあるか
NO
電源側回路不良
YES
コンシールド カバー ロック RHおよびLHを手動操作により解除したとき，コンピュータ コネクタ C9, C10各端子とアース間の電圧が10～14Vあるか
NO
・コンシールド カバー ロック リミット スイッチ不良
・手動操作不良
・ハーネス不良
YES
操作スイッチON時，コンピュータ コネクタ A3端子とアース間の電圧が10～14Vあるか
NO
コンピュータ不良
YES
・コンシールド カバー モータ不良
・バッテリ能力低下
・ハーネス不良

無断複製禁止

4　操作スイッチを押してもクローズ作動が始まらない

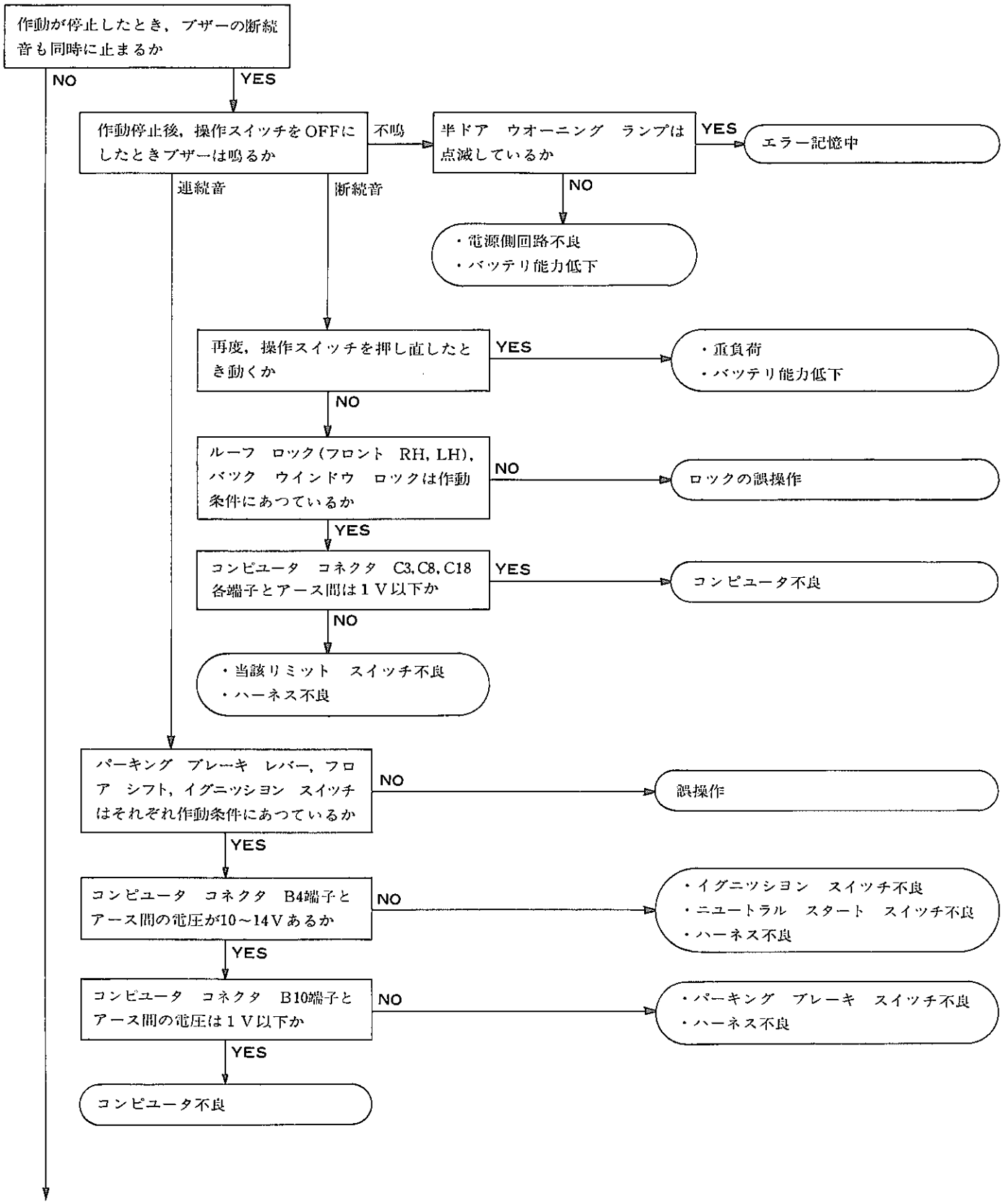


無断複製禁止

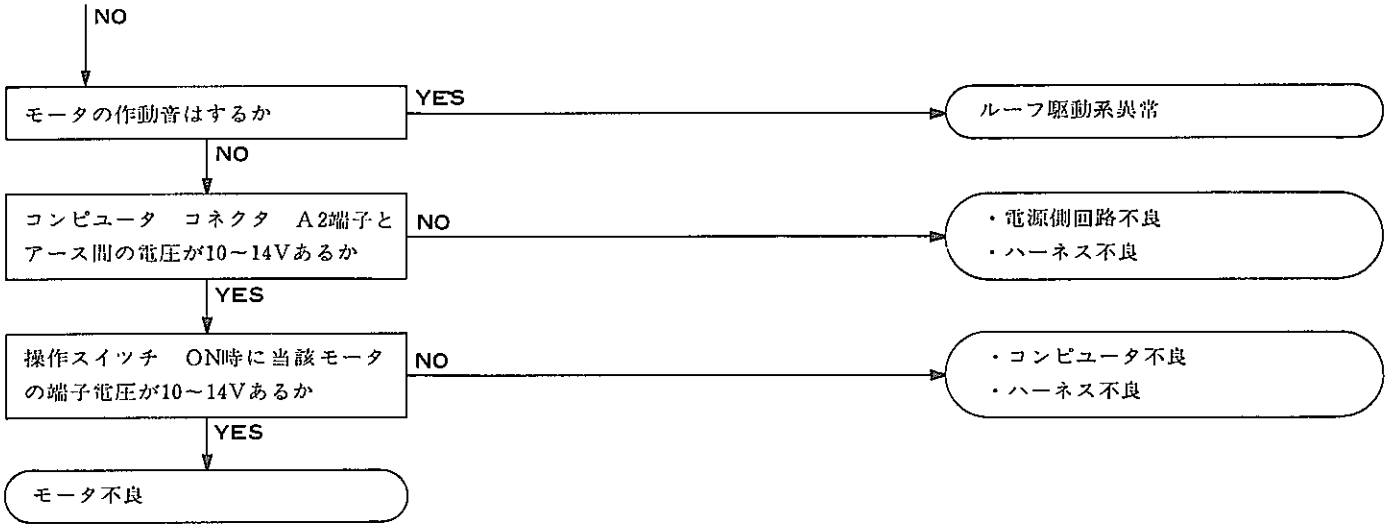

YES
断続音
YES
コンピュータ コネクタ B10端子とアース間の電圧は1V以下か
NO
・パーキング ブレーキ スイッチ不良
・ハーネス不良
YES
コンピュータ不良
ブザーの断続音が鳴っているとき，操作スイッチをONするとブザーの音が止まるか
NO
操作スイッチ ON時，コンピュータ コネクタ C16端子とアース間の電圧は1V以下か
YES
コンピュータ不良
NO
・操作スイッチ不良
・ハーネス不良
YES
コンピュータ コネクタ C8, C18各端子とアース間の電圧は1V以下か
NO
・ルーフ ガイド レール リミット スイッチ不良
・ハーネス不良
YES
コンピュータ不良
ブザー 2（警告用）に続いて，断続音が始まるか
NO
コンピュータ不良
YES
操作スイッチを押し続けたとき，約2秒後に断続音が止まるか
NO
コンピュータ不良
YES
コンシールド カバー ロック RH, LHを手動操作で解除した後，操作スイッチ ONでコンシールド カバーが動き出すか
NO
コンピュータ コネクタ A2端子とアースが10～14Vあるか
NO
電源側回路不良
YES
YES
コンピュータ コネクタ C9, C10各端子とアース間の電圧が10～14Vあるか
NO
・コンシールド カバー ロック リミット スイッチ不良
・ハーネス不良
YES
・コンシールド カバー モータ不良
・コンピュータ不良
操作スイッチの「開」側を押し，全開状態に戻す
操作スイッチの「閉」側を押し，ブザーの断続音が鳴り始めたとき，コンピュータ コネクタ B7, B9各端子とアース間の電圧が10～14Vあるか
YES
・コンシールド カバー ロック不良
・バッテリ能力低下
・建付け不良
・ハーネス不良
NO
コンピュータ不良

無断複製禁止

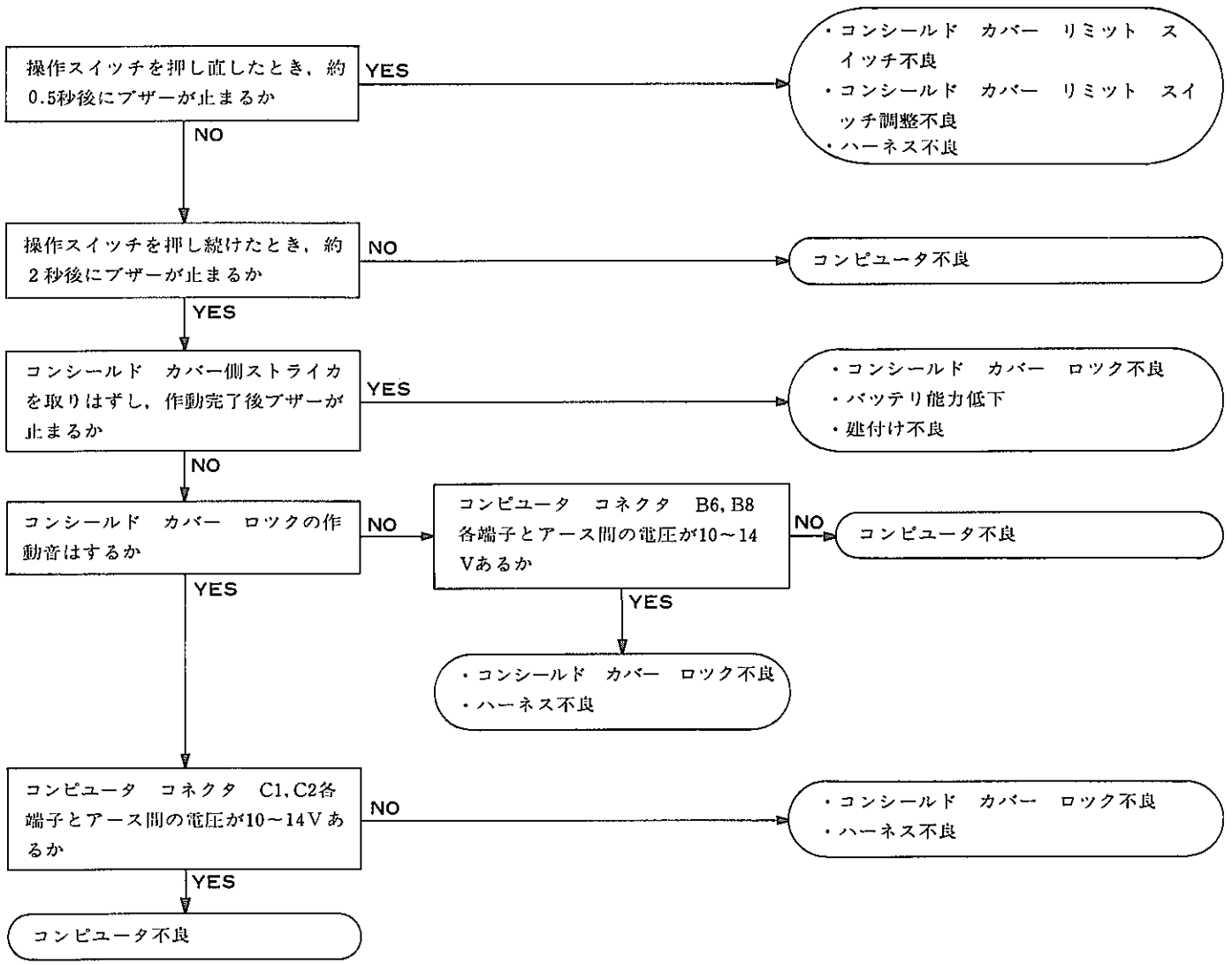
5　作動が途中で止まる



無断複製禁止



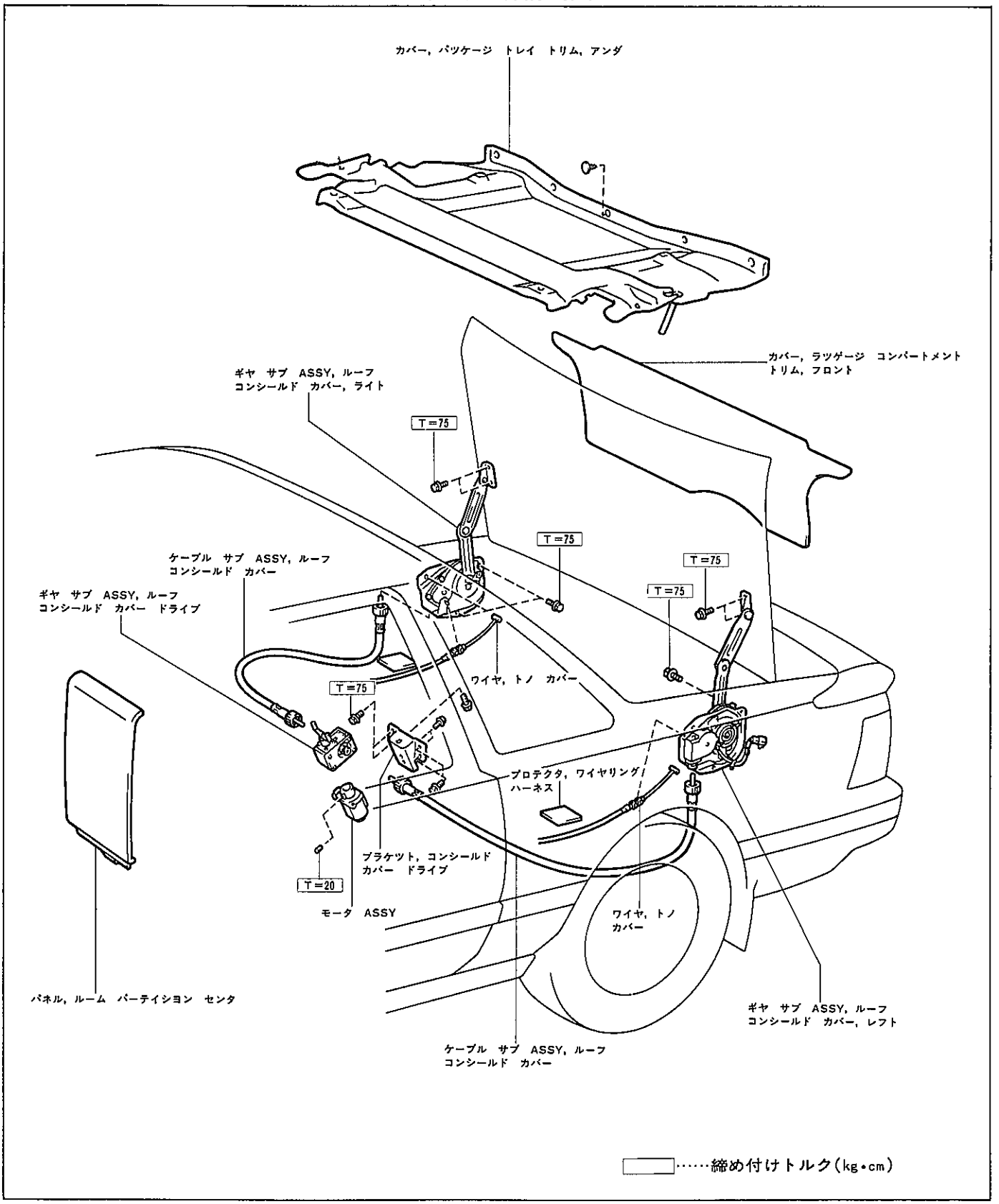
6　操作スイッチ　OFFで，コンシールド　カバーが閉まってもブザーが鳴りやまない



無断複製禁止

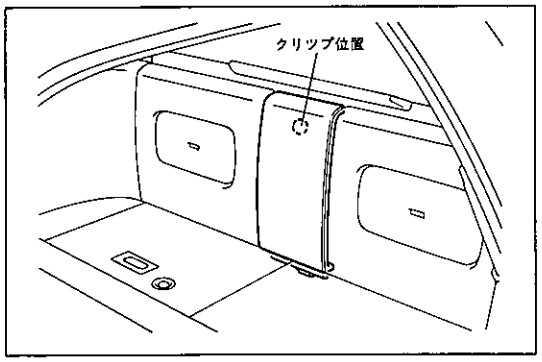
ルーフ　コンシールド　カバー
ギヤ　&　ドライブ　ギヤ

脱着分解構成図



U8667

無断複製禁止

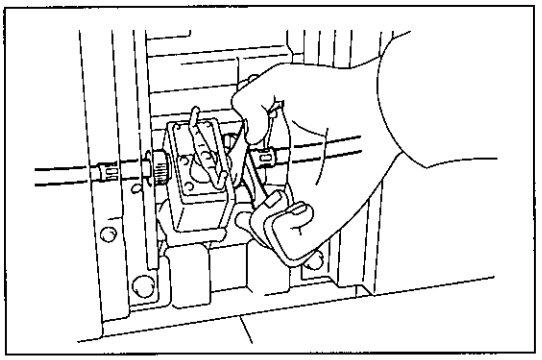


U8668

ルーフ コンシールド カバー ギヤ & ドライブ ギヤ取りはずし

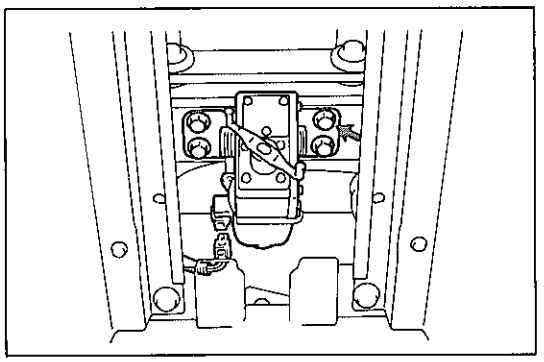
1 ルーム パーテイシヨン センタ パネル取りはずし

(1) クリップのかん合をはずし，ルーム パーテイシヨン センタ パネルを引き上げて取りはずす。


U8670

2 ルーフ コンシールド カバー開

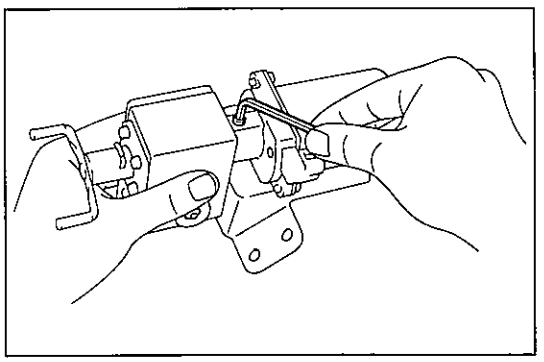
3 ルーフ コンシールド カバー ケーブル切り離し


U8671

4 ルーフ コンシールド カバー ドライブ ギヤ取りはずし

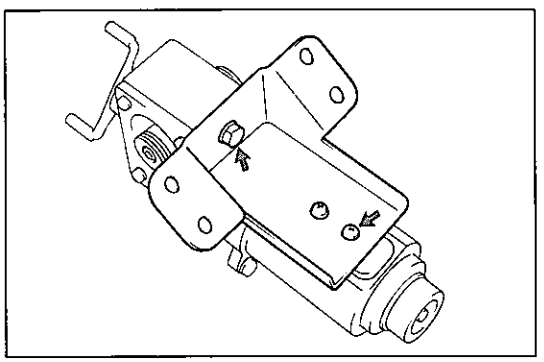
(1) コネクタを切り離す。

(2) ボルト4本を取りはずし，ドライブ ギヤを取りはずす。


U8672

5 ルーフ コンシールド カバー ドライブ ギヤ分解

(1) ヘキサゴン レンチ（3mm）を使用して，スクリユを取りはずす。

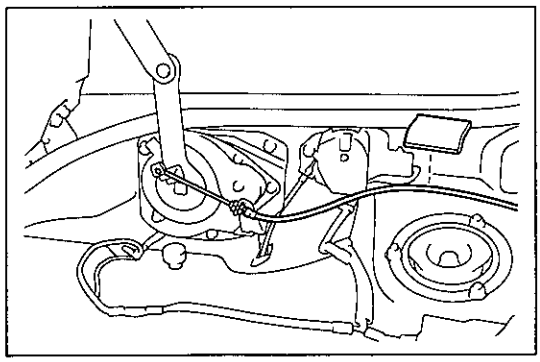

U8673

(2) スクリユ3本を取りはずし，コンシールド カバー ドライブ ブラケツトを取りはずす。

(3) モータを取りはずす。

注意 モータ側にジヨイントが付いてきた場合は，モータから取りはずす。

無断複製禁止


U8674

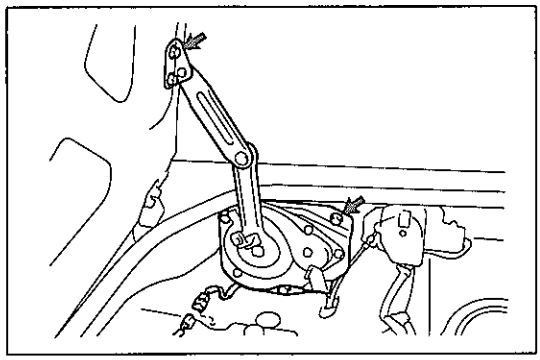
6　ラツゲージ　コンパートメント　トリム　フロント　カバー取りはずし

7　パツケージ　トレイ　トリム　アンダ　カバー取りはずし

8　トノ　カバー　ワイヤ切り離し

(1)　ワイヤリング　ハーネス　プロテクタを取りはずす。

(2)　トノ　カバー　ヒンジを前倒しし，トノ　カバー　ワイヤのナットをゆるめ，コンシールド　カバー　ギヤから取りはずす。

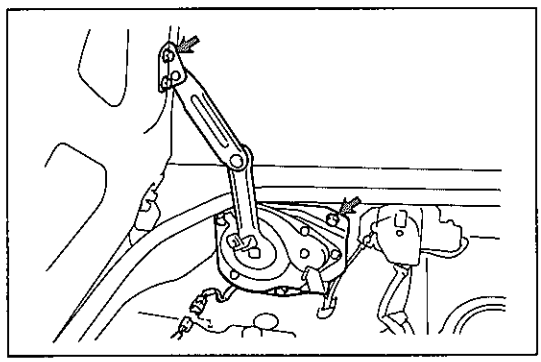

U8675

9　ルーフ　コンシールド　カバー　ギヤ取りはずし

(1)　コネクタを切り離す。(LH 側のみ)

(2)　ボルト５本を取りはずし，コンシールド　カバー　ギヤを取りはずす。

(3)　コンシールド　カバー　ギヤからケーブルを取りはずす。


U8675

ルーフ　コンシールド　カバー　ギヤ　&　ドライブ　ギヤ取り付け

1　ルーフ　コンシールド　カバー　ギヤ取り付け

(1)　コンシールド　カバー　ギヤにケーブルを取り付ける。

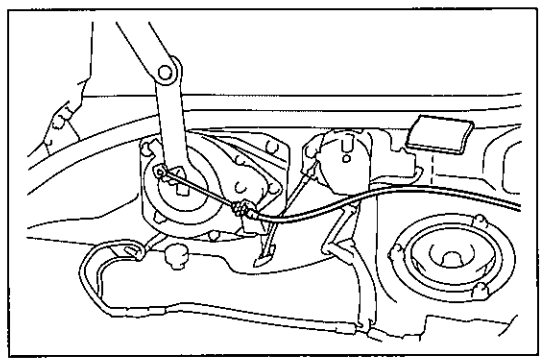
(2)　コンシールド　カバー　ギヤ　ASSY を取り付ける。

注意　ケーブル先端を傷つけない。

(3)　トノ　カバー　ワイヤをコンシールド　カバー　ギヤに仮付けする。

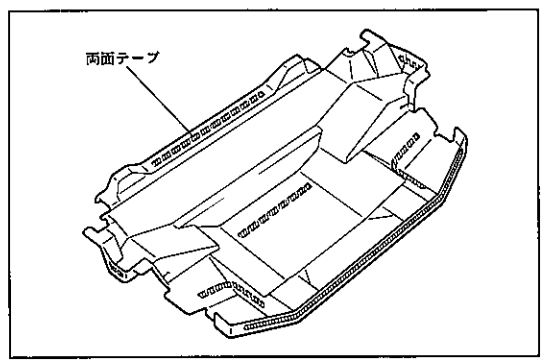
(4)　ボルト５本で，コンシールド　カバー　ギヤを取り付ける。

T＝75kg·cm


U8674

2　トノ　カバー　ワイヤ接続

(1)　ワイヤのネジ部の中央で，ナットを固定する。

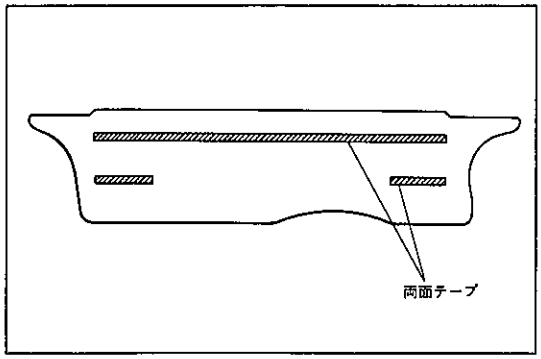


U8676

3　パツケージ　トレイ　トリム　アンダ　カバー取り付け

〈参考〉　両面テープの粘着力が弱くなつた場合は，図の示す位置に新品の両面テープを貼り付ける。

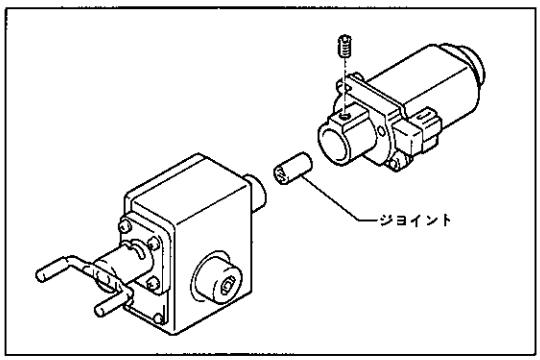
無断複製禁止



U8677

4 ラツゲージ コンパートメント トリム フロント カバー取り付け

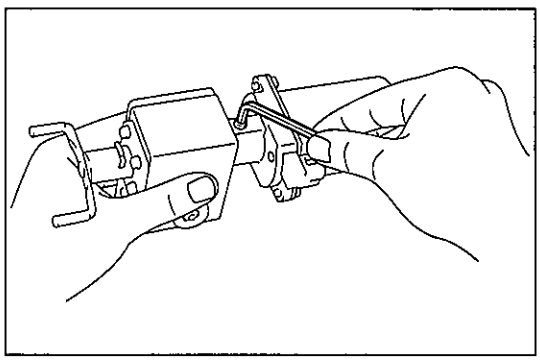
〈参考〉 両面テープの粘着力が弱くなつた場合は，図の示す位置に新品の両面テープを貼り付ける。



U8669

5 ルーフ コンシールド カバー ドライブ ギヤ組み付け

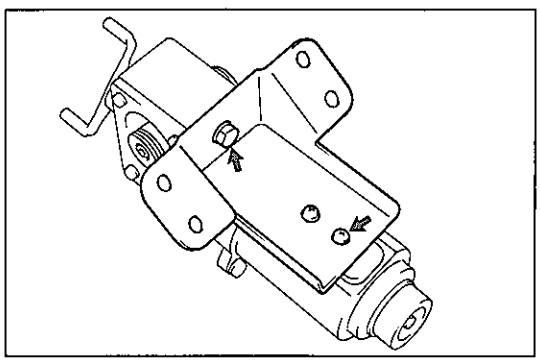
(1) モータにジョイントを取り付ける。



U8678

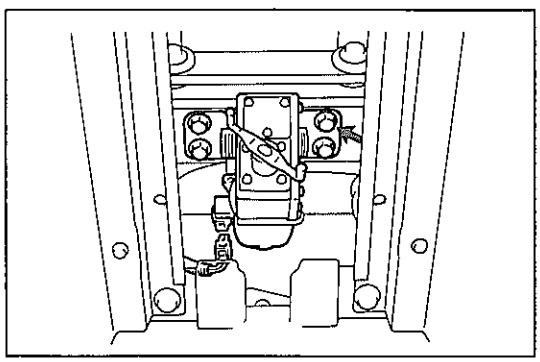
(2) モータをギヤに取り付け，ヘキサゴン レンチ（3㎜）を使用してスクリユを締め付ける。

T＝20kg·cm



U8673

(3) スクリユ3本で，コンシールド カバー ドライブ ブラケツトを取り付ける。



U8671

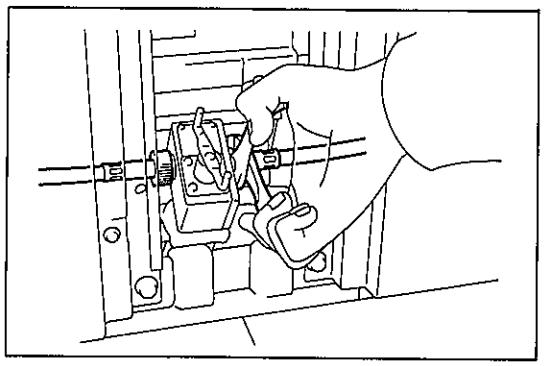
6 ルーフ コンシールド カバー ドライブ ギヤ取り付け

(1) ボルト4本で，ルーフ コンシールド カバー ドライブ ギヤを取り付ける。

T＝75kg·cm

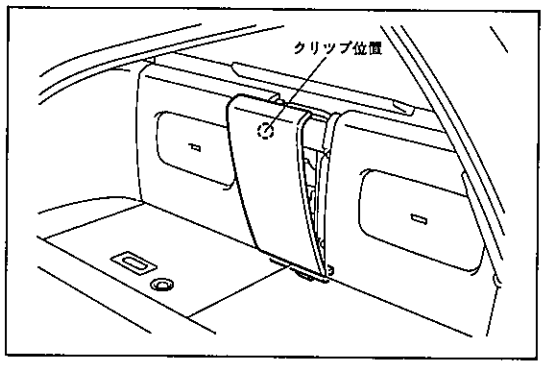
(2) コネクタを接続する。

無断複製禁止



U8670

7　ルーフ　コンシールド　カバー　ケーブル取り付け



U8679

8　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネル取り付け

(1)　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネルの下部をパツケージ　トレイ　トリムに引つ掛け，クリツプ位置をたたいて取り付ける。

9　ルーフ　コンシールド　カバー閉

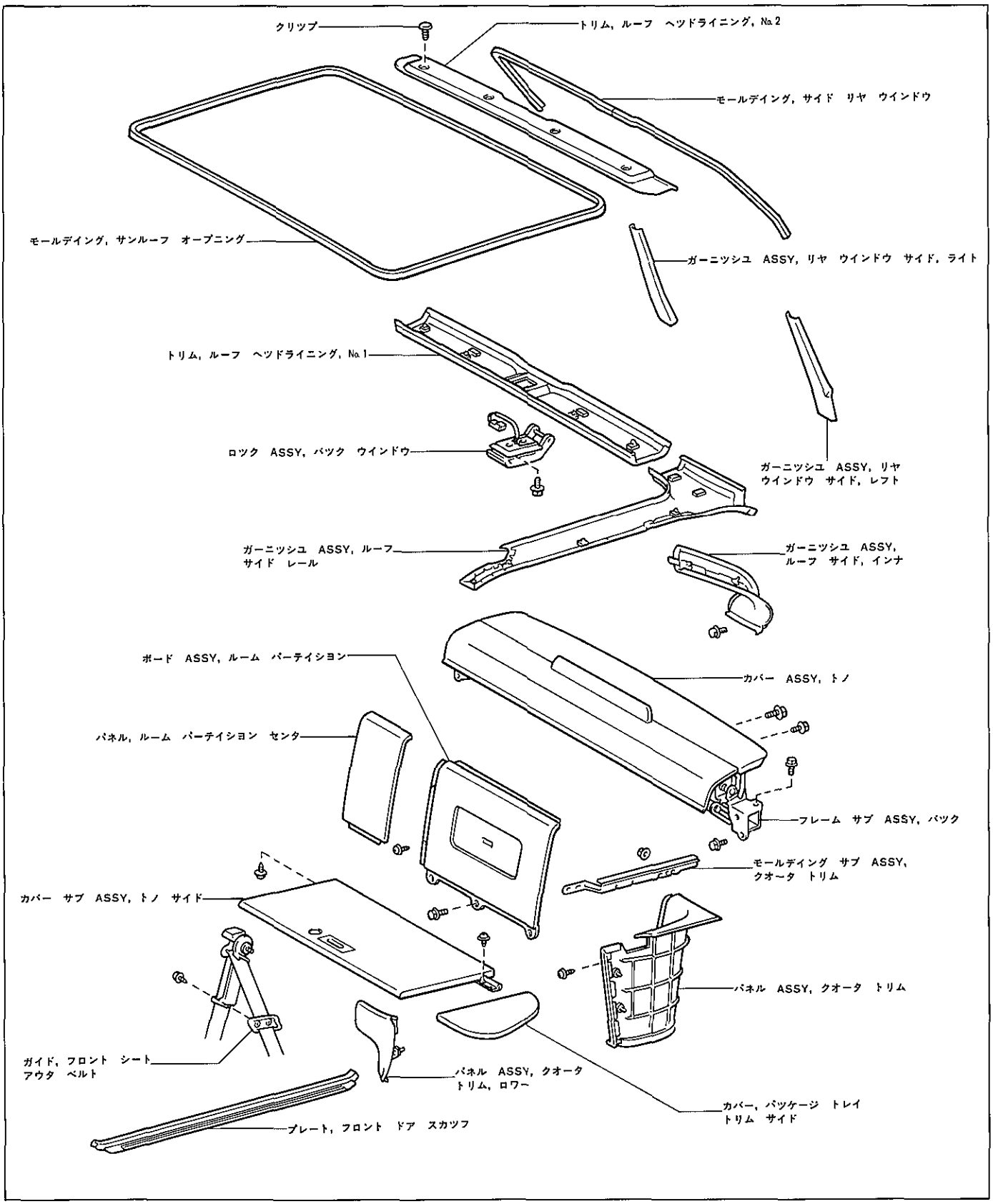
10　トノ　カバー点検および調整

（Ｐ１-59参照）

無断複製禁止

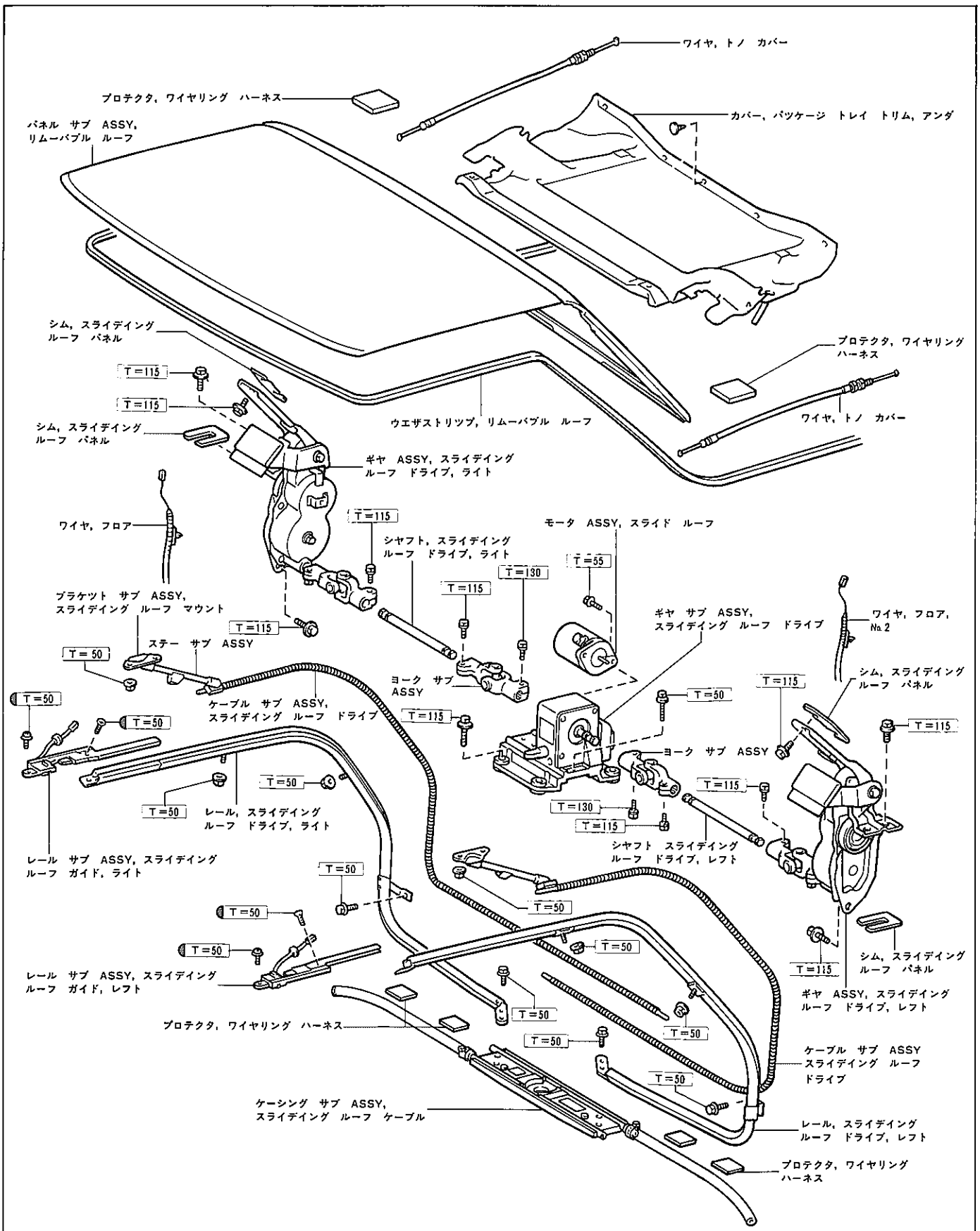
スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ & ドライブ ケーブル

脱着分解構成図



U8680

無断複製禁止



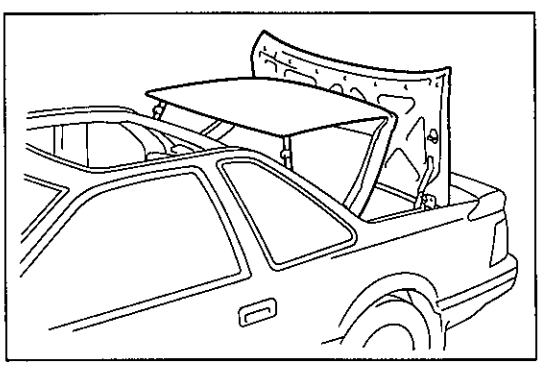
◐……プレコート　スクリュ　　□……締め付けトルク(kg・cm)

U8681

無断複製禁止

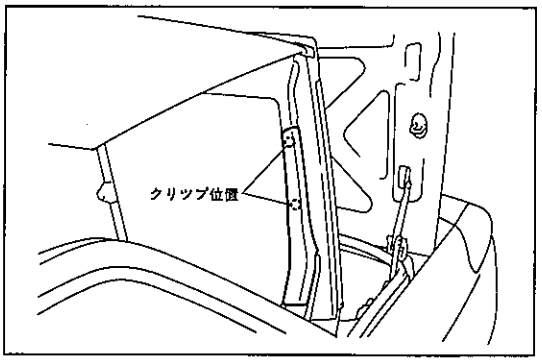
スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ & ドライブ ケーブル取りはずし

1 フロント ドア スカツフ プレート RH，LH 取りはずし
（P 1-71参照）
2 トノ サイド カバー RH，LH 開
3 パツケージ トレイ トリム サイド カバー RH，LH 取りはずし
（P 1-71参照）
4 トノ サイド カバー RH，LH 取りばすし
（P 1-71参照）
5 クオータ トリム ロワー パネル RH，LH 取りはずし
（P 1-71参照）
6 ルーム パーテイシヨン センタ パネル取りはずし
（P 1-71参照）
7 ルーム パーテイシヨン ボード RH，LH 取りはずし
（P 1-72参照）
8 フロント シート ベルト ガイド RH，LH 取りはずし
（P 1-72参照）
9 クオータ トリム パネル RH，LH 取りはずし
（P 1-72参照）
10 ルーフ全開
11 サンルーフ オープニング トリム モールデイング取りはずし
（P 1-72参照）
12 ルーフ ヘツドライニング No. 2 トリム取りはずし
（P 1-72参照）
13 バツク ウインドウ ロツク取りはずし
（P 1-73参照）
14 サイド リヤ ウインドウ モールデイング取りはずし
（P 1-73参照）
15 ルーフ ヘツドライニング No. 1 トリム取りはずし
（P 1-73参照）
16 クオータ トリム モールデイング RH，LH 取りはずし
（P 1-73参照）
17 パツケージ トレイ トリム パネル取りはずし
（P 1-73参照）
18 ルーフ サイド インナ ガーニツシユ RH，LH 取りはずし
（P 1-74参照）
19 ルーフ サイド レール ガーニツシユ RH，LH 取りはずし
（P 1-74参照）
20 ルーフ半開



U8773

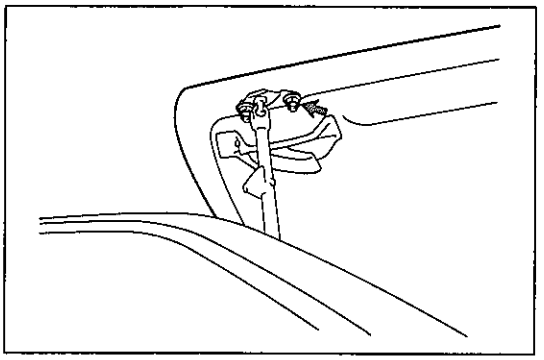
無断複製禁止



U8682

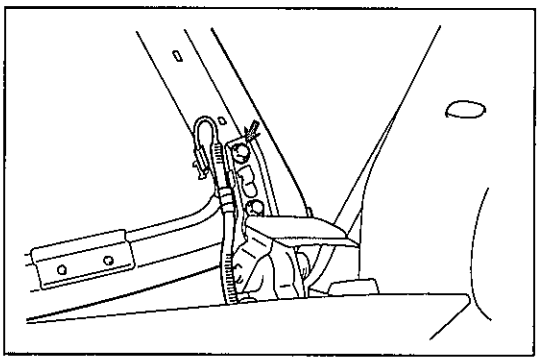
21　リヤ　ウインドウ　サイド　ガーニツシユ　RH，LH 取りはずし

(1)　クリツプのかん合をはずし，ガーニツシユを引き上げて取りはずす。


U8683

22　リムーバブル　ルーフ　&　バツク　ドア取りはずし

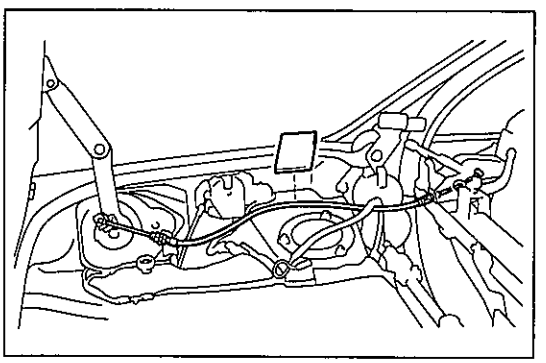
(1)　スライデイング　ルーフ　マウント　ブラケツト部のナツト 4 個を取りはずす。


U8684

(2)　リヤ　ウインドウ　デイフオツガ用コネクタ 2 個を切り離す。

(3)　ハーネス　クランプをスライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤから取りはずす。

(4)　ボルト 4 本を取りはずし，リムーバブル　ルーフ　&　バツクドアを取りはずす。


U8685

23　パツケージ　トレイ　トリム　アンダ　カバー取りはずし

24　スライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤ全開

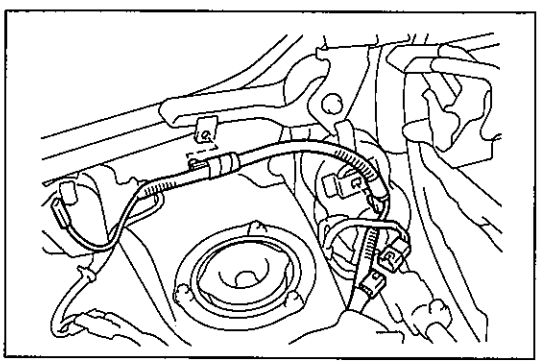
(1)　手動操作で，ドライブ　ギヤを全開状態にする。

25　トノ　カバー　ワイヤ取りはずし

(1)　ワイヤリング　ハーネス　プロテクタを取りはずす。

(2)　トノ　カバー　ヒンジを前倒しし，ワイヤをヒンジから取りはずす。

(3)　ワイヤのナットをゆるめ，ドライブ　ギヤからワイヤを取りはずす。

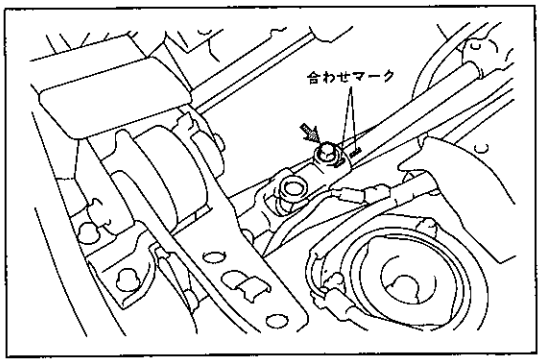

U8686

26　スライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤ　RH，LH 取りはずし

(1)　リミツト　スイツチ　コネクタを切り離す。(LH 側)

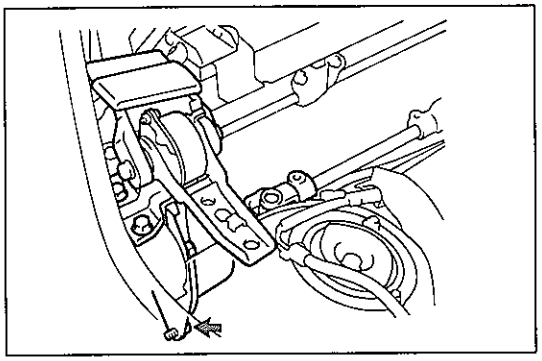
(2)　ドライブ　ギヤからワイヤ　ハーネスを取りはずす。

無断複製禁止



U8687

(3) ドライブ ギヤのスライデイング ヨーク部とドライブ シヤフトに合わせマークを付ける。
(4) ボルトを取りはずす。

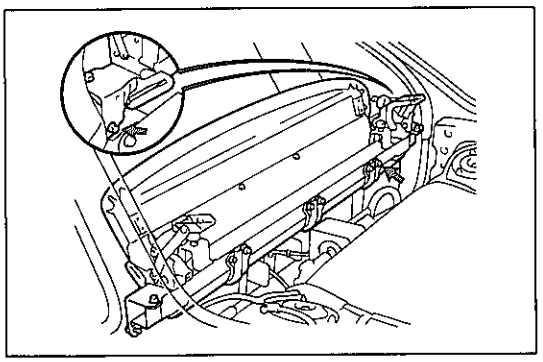

U8688

(5) ボルト4本を取りはずし，スライデイング ルーフ ドライブ ギヤを取りはずす。

27 トノ カバー ASSY ウイズ バツク フレーム取りはずし

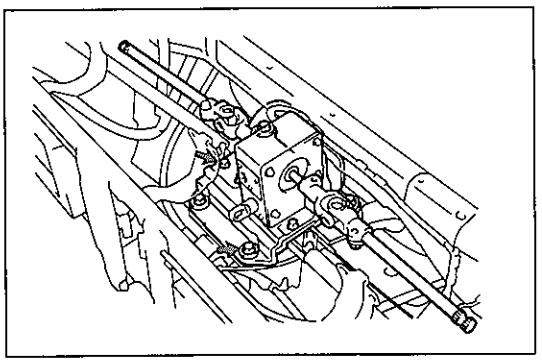
(1) ボルト10本を取りはずし，トノ カバー ASSY ウイズ バツク フレームを取りはずす。

注意 ルーム パーテイシヨン クロス メンバをウエスなどで覆い，トノ カバーを傷つけない。


U8689

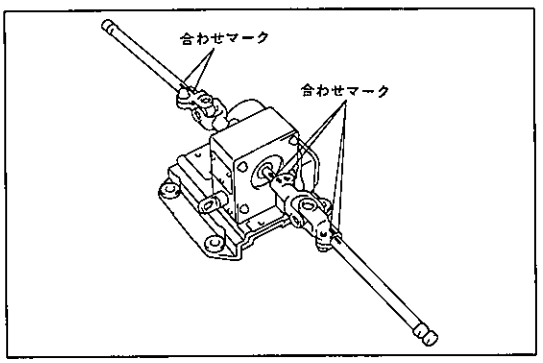
28 スライデイング ルーフ センタ ドライブ ギヤ ASSY取りはずし

(1) ボルト7本を取りはずし，センタ ドライブ ギヤ ASSYを取りはずす。
(2) モータ コネクタを切り離す。


U8690

29 スライデイング ルーフ センタ ドライブ ギヤ ASSY分解

(1) ドライブ シヤフトとスライデイング ヨークに合わせマークを付ける。
(2) ドライブ メーン シヤフトとスライデイング ヨークに合わせマークを付ける。



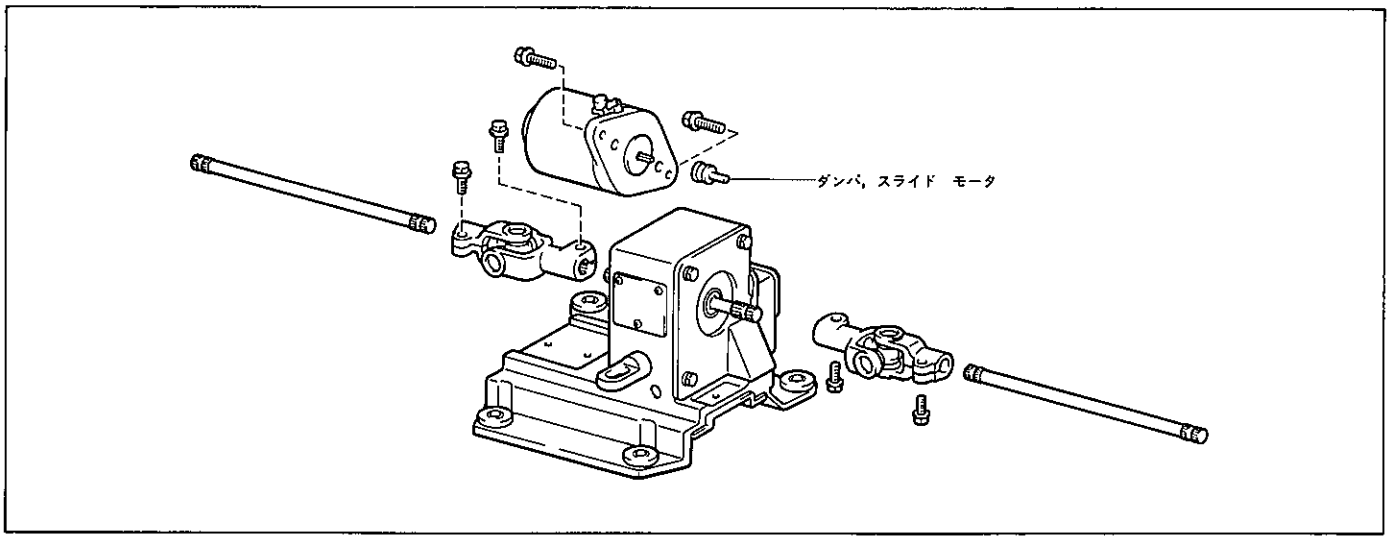
U8691

無断複製禁止

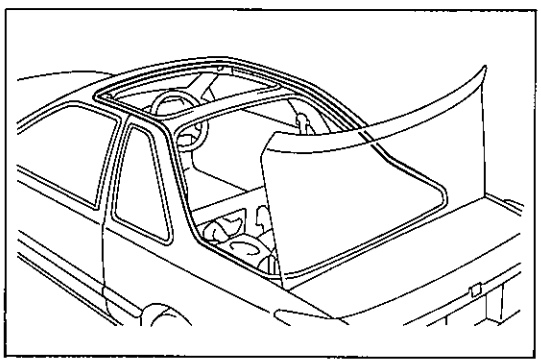
(3) ボルトを取りはずし，スライデイング　ヨークおよびドライブシヤフトを取りはずす。

(4) スクリユ２本を取りはずし，スライド　ルーフ　モータを取りはずす。

(5) スライド　モータ　ダンパをモータから取りばすす。

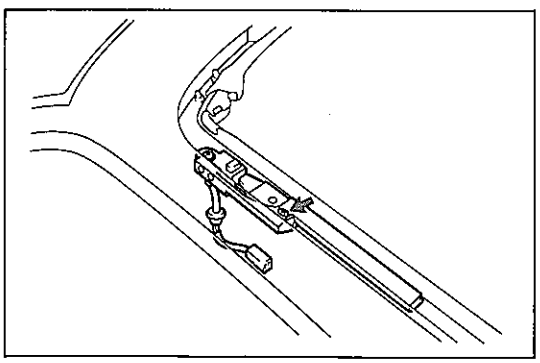


U8692



U8693

30 リムーバブル　ルーフ　フロント　ウエザストリツプ取りはずし

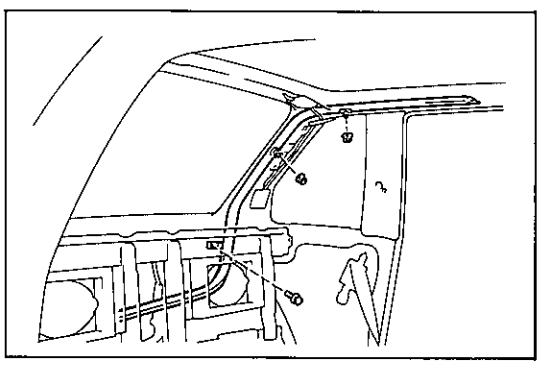


U8694

31 スライデイング　ルーフ　ガイド　レール　RH，LH 取りはずし

(1) コネクタを切り離す。

(2) スクリユ２本を取りはずし，ガイド　レールを取りはずす。

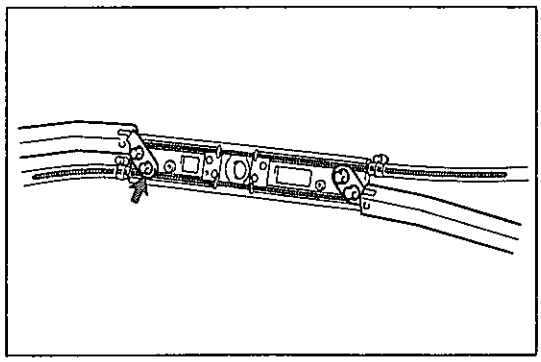


U8695

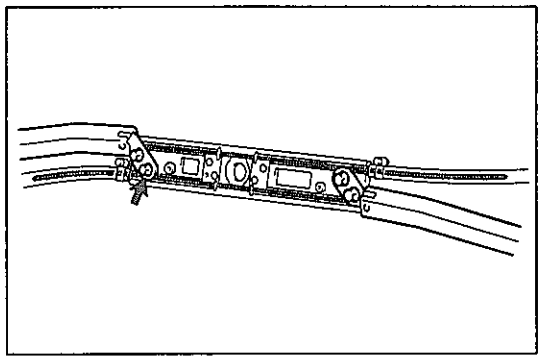
32 スライデイング　ルーフ　ドライブ　ケーブル　ウイズ　ケーシング取りはずし

(1) ボルト２本およびナット４個を取りはずし，ドライブ　ケーブル　ウイズ　ケーシングを取りはずす。

無断複製禁止


U8696

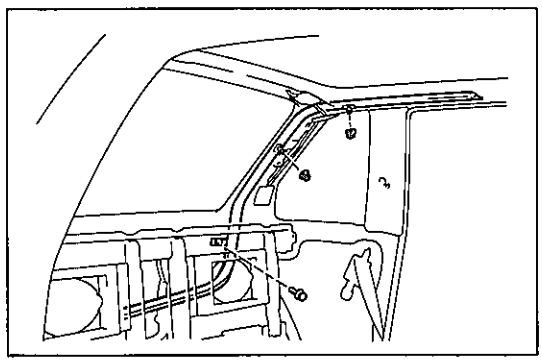
(2) ボルト4本を取りはずし，ドライブ ケーブルをケーシングから取りはずす。
(3) ドライブ ケーブルをドライブ レールから引き抜く。

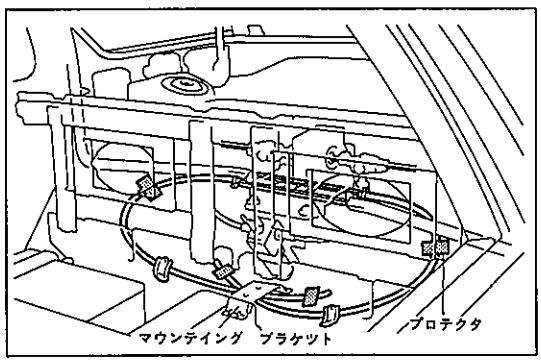

U8696

スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ & ドライブ ケーブル取り付け

1 スライデイング ルーフ ドライブ ケーブル ウイズ ケーシング取り付け

(1) ドライブ ケーブルをガイド レールに挿入する。
(2) ドライブ ケーブル RH およびLH をケーシングに，ボルト4本で取り付ける。
T＝50kg・cm
(3) ドライブ ケーブル ウイズ ケーシングを取り付ける。
(4) ボルト2本およびナット4個を仮締めする。

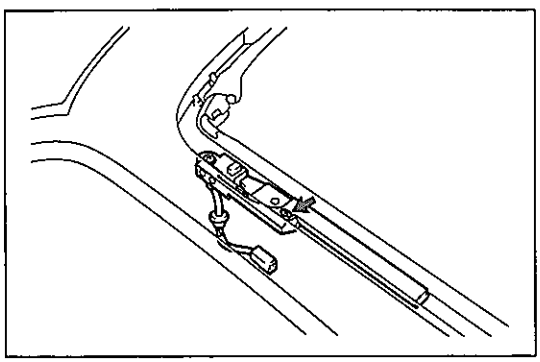

U8695



U8697

(5) ケーシングのチユーブをルーフ コンシールド カバー ドライブ ギヤ取り付け部の下部のリヤ フロア パネルとマウンテイング ブラケットの間を通す。
(6) プロテクタ左右各2個で，チユーブを固定する。

2 スライデイング ルーフ ガイド レール RH，LH 取り付け


U8694

(1) ガイド レール RHおよびLH を取り付ける。
(2) スクリユのネジ部に付着している古いシール剤をきれいに清掃し，ネジ部を白ガソリンで洗浄する。
(3) スクリユ2本に，アドヘシブ 1324を塗布し，締め付ける。
T＝50kg・cm
(4) コネクタを接続する。

無断複製禁止

3　ドライブ　ケーブル締め付けボルトおよびナット本締め

T＝50kg・cm

4　リムーバブル　ルーフ　フロント　ウエザストリップ取り付け

5　スライデイング　ルーフ　センタ　ドライブ　ギヤ　ASSY 組み付け

(1)　スクリュ２本で，スライド　ルーフ　モータを組み付ける。

T＝55kg・cm

(2)　合わせマークに合わせて，ドライブ　メーン　シャフト　RH，LH およびスライデイング　ヨーク２個を組み付け，ボルト４本で締め付ける。

T＝115kg・cm

6　スライデイング　ルーフ　センタ　ドライブ　ギヤ　ASSY 取り付け

(1)　ボルト４本で，センタ　ドライブ　ギヤ　ASSY を取り付ける。

T＝115kg・cm

注意　ドライブ　ギヤ　ASSY とケーシングとは結合しない。

(2)　コネクタを接続する。

7　スライデイング　ルーフ　センタ　ドライブ　ギヤ　ASSY 結合

(1)　ケーシングを押し下げて，左右のドライブ　ケーブルを全閉状態にする。

〈参考〉　ドライブ　ケーブルのフロント側先端部を，ルーフ　ガイド　レールに当てる。

(2)　ケーシングのホース　クランプをゆるめ，左右のチューブを切り離す。

(3)　ドライブ　ケーブルをルーフ　ガイド　レールに当てた状態で，ケーシング端面のドライブ　ケーブルにマークを付ける。

注意　ドライブ　ケーブルを無理に押し込まない。

(4)　ドライブ　ケーブルのマーク位置から，規定量ドライブ　ケーブルを押し込む。

基準値　11mm

注意　左右同量押し込む。

(5)　(4)の状態を保持しながら，ケーシングをセンタ　ドライブ　ギヤ　ASSY に取り付ける。

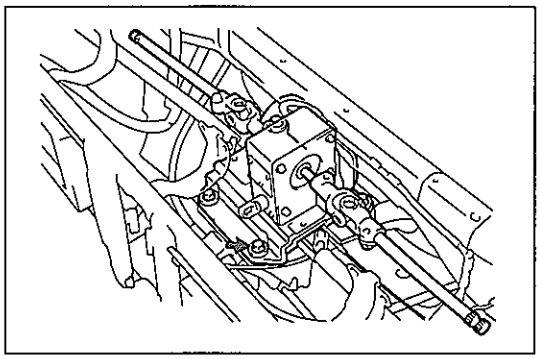
(6)　ボルト３本を取り付ける。

T＝115kg・cm

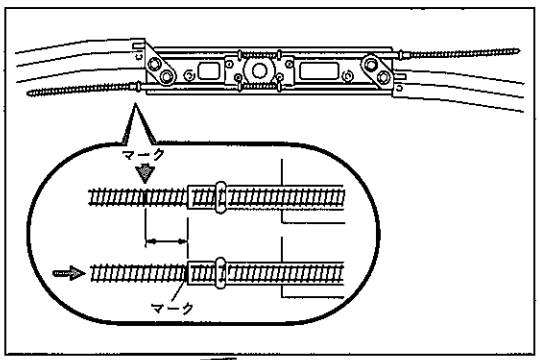
(7)　チューブをケーシングに取り付け，ホース　クランプで固定する。

8　トノ　カバー　ASSY　ウイズ　バック　フレーム取り付け

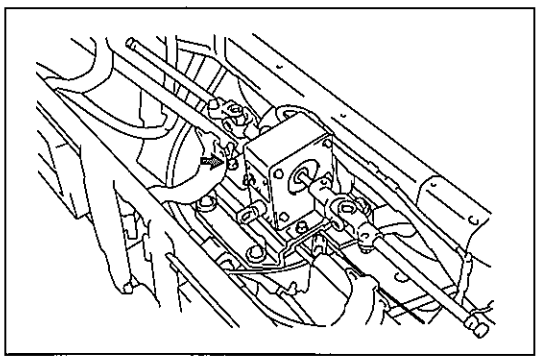
(1)　ボルト10本で，トノ　カバー　ASSY　ウイズ　バック　フレームを取り付ける。



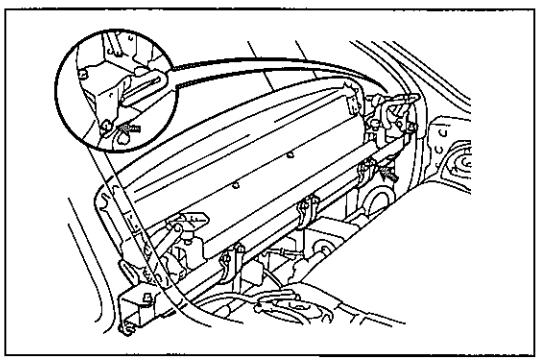
U8698



U8699

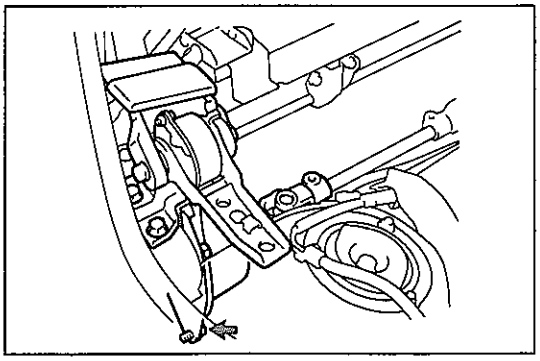


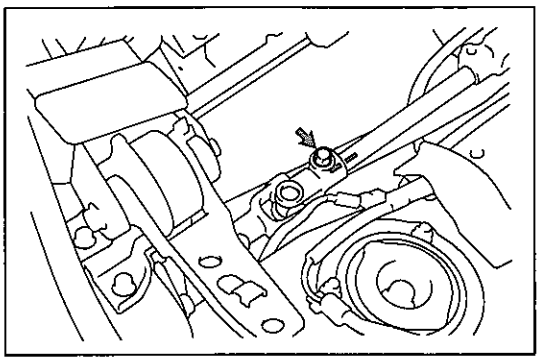
U8700

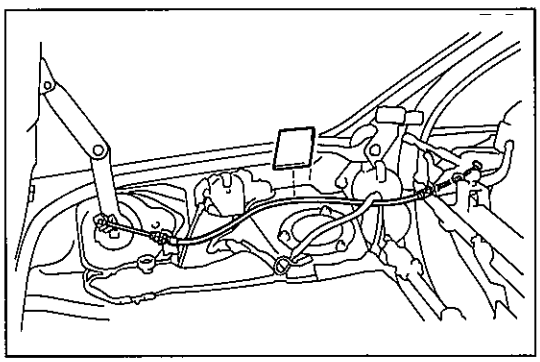


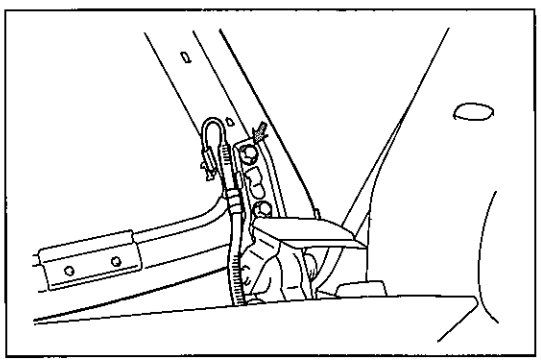
U8689

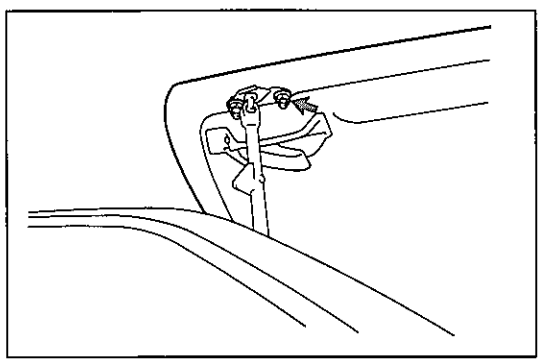
無断複製禁止


U8688


U8687


U8685


U8684


U8683

9 スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ RH，LH 取り付け

(1) ドライブ ギヤのスライデイング ヨーク部とドライブ シヤフトとの合わせマークを合わせて，スライデイング ヨークを取り付ける。

(2) ボルト 4 本で，スライデイング ルーフ ドライブ ギヤを取り付ける。

T＝115kg･cm

注意 **建付け調整用シムがある場合は，シムを介してドライブ ギヤを取り付ける。**

(3) ボルトで，スライデイング ヨークとドライブ シヤフトを固定する。

T＝115kg･cm

(4) ワイヤ ハーネスをドライブ ギヤに取り付ける。

(5) リミット スイツチ コネクタを接続する。(LH 側)

10 トノ カバー ワイヤ取り付け

(1) トノ カバー ヒンジにワイヤを取り付ける。

(2) トノ カバー ヒンジを前倒しした状態で，ワイヤをコンシールド カバー ドライブ ギヤに取り付ける。

注意 **ワイヤがスムースに取り付かない場合，コンシールド カバー ドライブ ギヤを取りはずして，ワイヤを仮付けする。**

(3) ワイヤのネジ部の中央で，ナットを固定する。

11 リムーバブル ルーフ & バツク ドア取り付け

(1) スライデイング ルーフ ドライブ ギヤを半開状態にする。

(2) リムーバブル ルーフ パネルをスライデイング ルーフ マウント ブラケツトに取り付ける。

(3) ボルト 4 本で，バツク ドアをスライデイング ルーフ ドライブ ギヤに取り付ける。

T＝115kg･cm

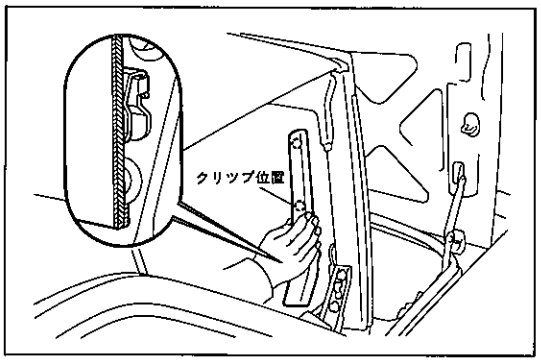
注意 **建付け調整用シムがある場合は，シムを介して，バツク ドアを取り付ける。**

(4) ワイヤ ハーネスをクランプし，リヤ ウインドウ デイフオツガ用コネクタを接続する。

(5) ナット 4 個で，リムーバブル ルーフを取り付ける。

T＝50kg･cm

無断複製禁止



UB701

12 リヤ　ウインドウ　サイド　ガーニツシユ　RH，LH 取り付け

(1) ガーニツシユ下部のクリツプをドライブ　ギヤに引つ掛け，クリツプ位置をたたいてサイド　ガーニツシユを取り付ける。

13 パッケージ　トレイ　トリム　アンダ　カバー取り付け
（P 1 -43参照）

14 ルーフ　サイド　レール　ガーニツシユ　RH，LH 取り付け
（P 1 -76参照）

15 ルーフ　サイド　インナ　ガーニツシユ　RH，LH 取り付け
（P 1 -77参照）

16 パツケージ　トレイ　トリム　パネル取り付け
（P 1 -77参照）

17 クオータ　トリム　モールデイング　RH，LH 取り付け
（P 1 -77参照）

18 ルーフ　ヘツドライニング　No. 1　トリム取り付け
（P 1 -77参照）

19 サイド　リヤ　ウインドウ　モールデイング取り付け

20 バツク　ウインドウ　ロツク取り付け
（P 1 -77参照）

21 ルーフ　ヘツドライニング　No. 2　トリム取り付け

22 サン　ルーフ　オープニング　トリム　モールデイング取り付け

23 クオータ　トリム　パネル　RH，LH 取り付け

24 フロント　シート　ベルト　ガイド　RH，LH 取り付け

25 ルーム　パーテイシヨン　ボード　RH，LH 取り付け
（P 1 -78参照）

26 ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネル取り付け
（P 1 -78参照）

27 クオータ　トリム　ロワー　パネル　RH，LH 取り付け

28 トノ　サイド　カバー　RH，LH 取り付け

29 パツケージ　トレイ　トリム　サイド　カバー　RH，LH 取り付け

30 フロント　ドア　スカツフ　プレート　RH，LH 取り付け

31 リムーバブル　ルーフ建付け調整
（P 1 -56参照）

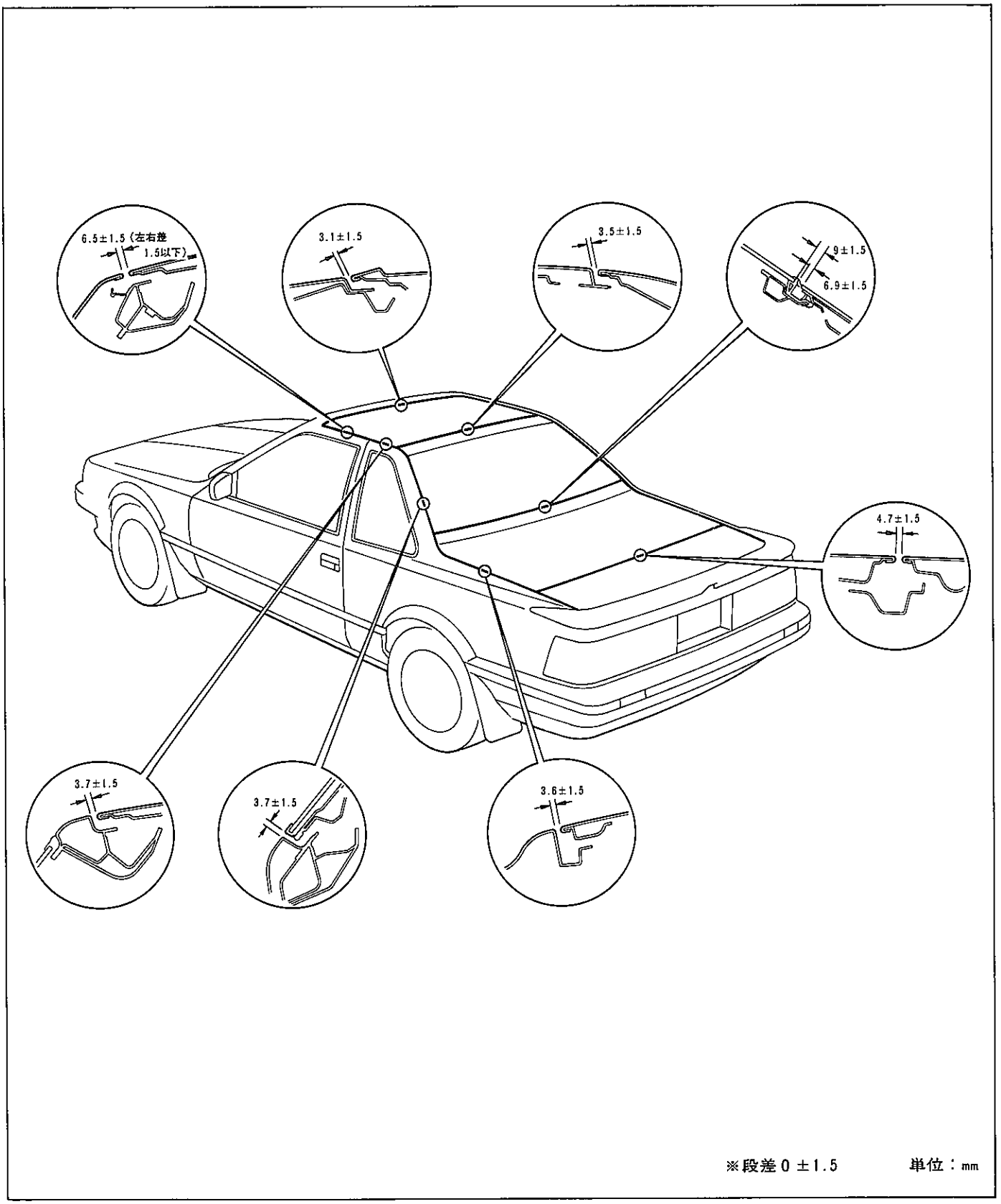
無断複製禁止

建付け調整

建付け調整

1　リムーバブル　ルーフ建付け点検

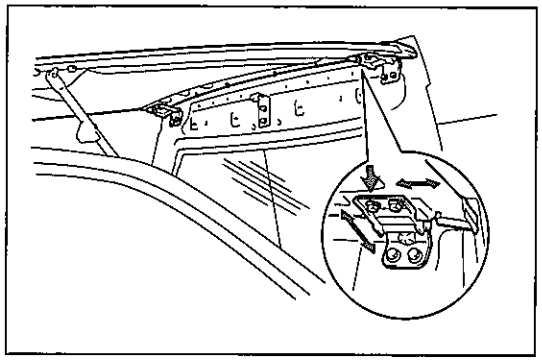
基準値　下図参照

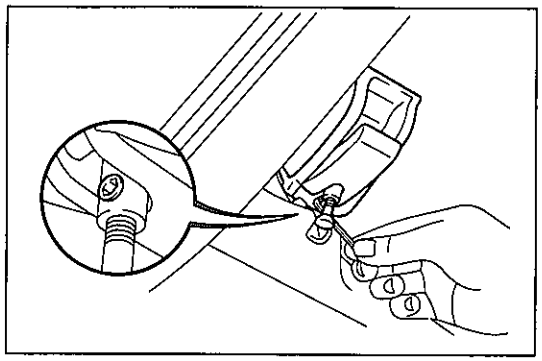


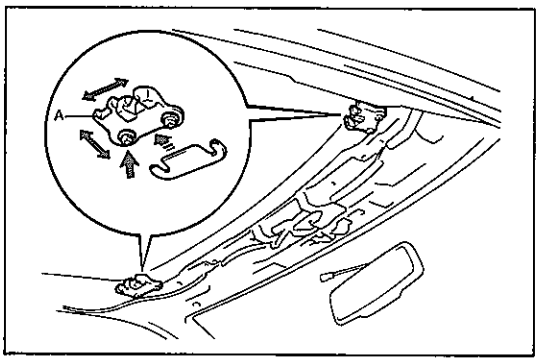
※段差 0 ±1.5　　単位：mm

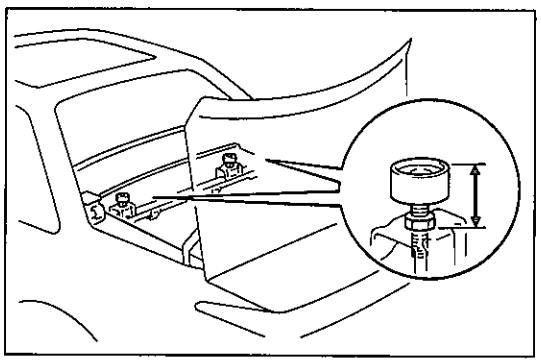
U8702

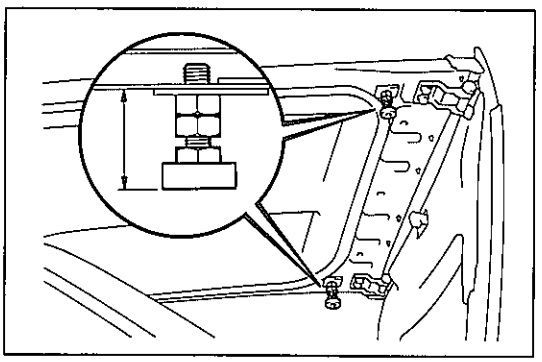
無断複製禁止


U8708


U8709


U8710


U8711


U8783

注意 • 調整時は，リムーバブル　ルーフの建付けが基準値内に入つていることを確認する。
• 各部の建付けが悪い場合は，リムーバブル　ルーフを初めに基準値内にする。

リムーバブル　ルーフ

1　前後および左右のすき間調整

(1) バツク　ウインドウ　アツパ　ヒンジのリムーバブル　ルーフ側のボルト４本をゆるめて調整する。

T＝50kg･cm

2　スライデイング　ルーフ　ロツク　ハンドルのフツクの長さ調整

(1) ヘキサゴン　レンチ（1.5mm)を使用して，フツクを回転させることができるまでスクリユをゆるめる。

(2) フツクを回転させて，長さを調整する。

注意 フツクは１/２回転ごとに回転させ，フツクのネジ部上でスクリユを締め付けない。

3　スライデイング　ルーフ　ロツク　キヤツチ調整

(1) フロント　ルーフ　ヘツドライニングを取りはずす。
（Ｐ１-71参照）

(2) スクリユ２本をゆるめ，ロツク　ハンドルのフツクをキヤツチに取り付けて位置決めをし，スクリユ２本を固定する。

T＝50kg･cm

注意 • ロツク　ハンドルのフツクは仮付け状態で，完全にロツクしない。
• ロツク　キヤツチのＡ部とハンドルとはすき間を開けない。

(3) スクリユ２本をゆるめ，スペーサの枚数を増減して調整する。

注意 • ロツク　ハンドル　フツクの長さ調整が不可能な場合およびルーフの高さ調整に行う。
• スペーサは２枚以内で調整する。

〈参考〉　スペーサの厚さ　1.0mm

4　ルーフ格納時の高さ調整

(1) ナツトをゆるめ，フード　バンパを回して調整する。

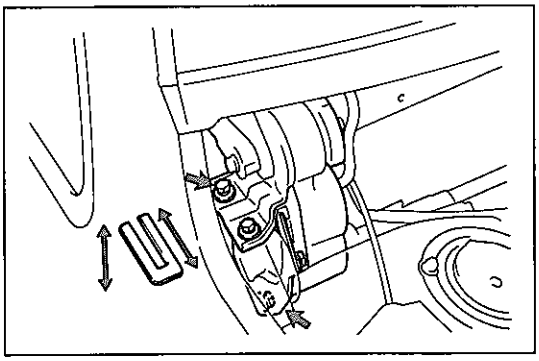
基準値　23.9±1.5mm

5　ルーフ　ストツパ調整

(1) ナツトをゆるめ，ルーフ　ストツパを回して調整する。

基準値　23.5±1.5mm

無断複製禁止


U8703

バツク ドア

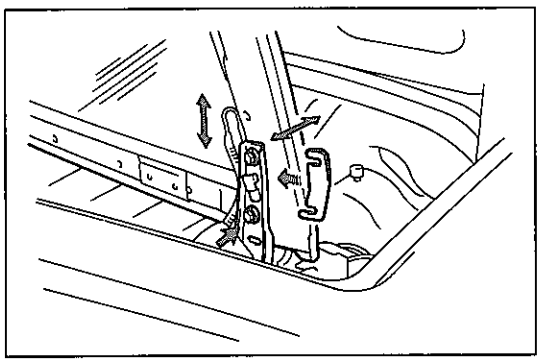
1 段差調整

(1) ボルト４本をゆるめ，シムの枚数を増減して調整する。

T＝115kg･cm

注意 シムは２枚以内で調整する。

〈参考〉 シムの厚さ 1.0mm


U8704

2 左右のすき間および段差調整

(1) リヤ ウインドウ サイド ガーニツシユを取りはずす。

（Ｐ１-49参照）

左右のすき間調整

(2) 左右のボルト２本をゆるめて，左右のすき間が同じになるように調整する。

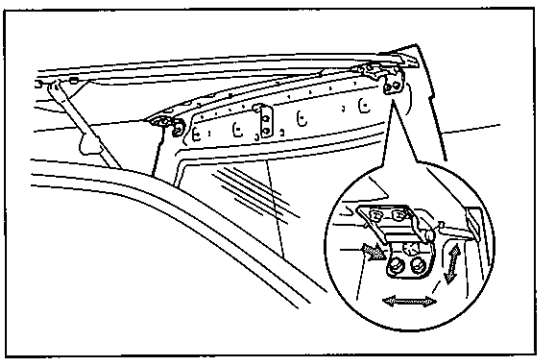
段差調整

(2) ボルト２本ゆるめ，シムの枚数を増減して調整する。

T＝115kg･cm

注意 シムは２枚以内で調整する。

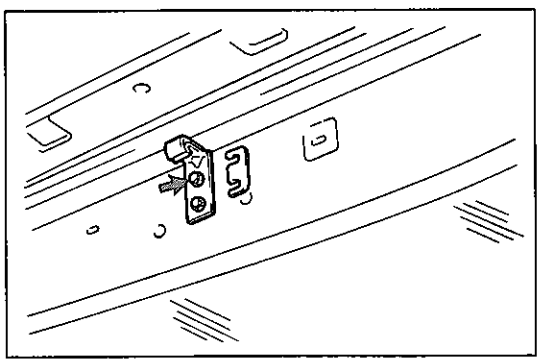
〈参考〉 シムの厚さ 1.0mm


U8705

3 左右のすき間およびリムーバブル ルーフとのすき間調整

(1) バツク ウインドウ アツパ ヒンジのバツク ドア側のボルト４本をゆるめて調整する。

T＝50kg･cm


U8706

4 バツク ウインドウ ロツク キヤツチ調整

(1) リヤ ウインドウ サイド ガーニツシユを取りはずす。

（Ｐ１-49参照）

(2) バツク ウインドウ パネル アツパ トリムを取りはずす。

（Ｐ１-17参照）

(3) ボルト２本をゆるめ，スペーサの枚数を増減して調整する。

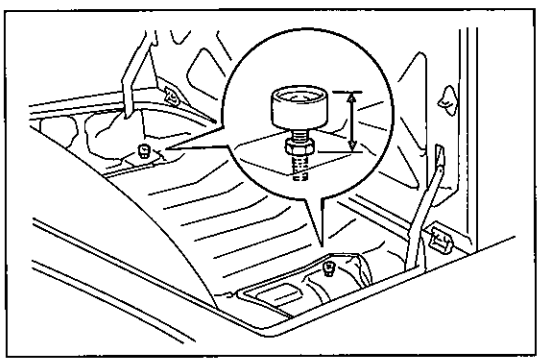
T＝50kg･cm

注意 スペーサは２枚以内で調整する。

〈参考〉 スペーサの厚さ 1.0mm

(4) バツク ウインドウ ロツクがスムースにロツクすることを確認する。

注意 無理にロツク操作をすると，リミツト スイツチを破損させるおそれがある。

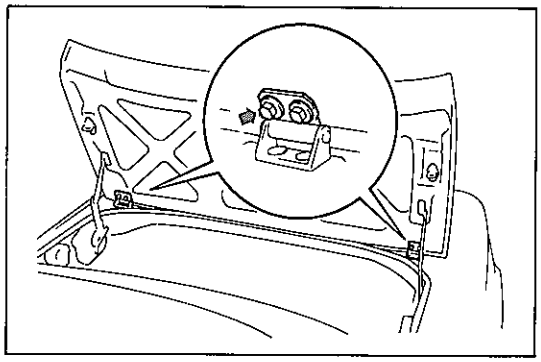

U8707

5 格納後の段差調整

(1) ナツトをゆるめ，フード バンパを回して調整する。

基準値 23±1.5mm

無断複製禁止



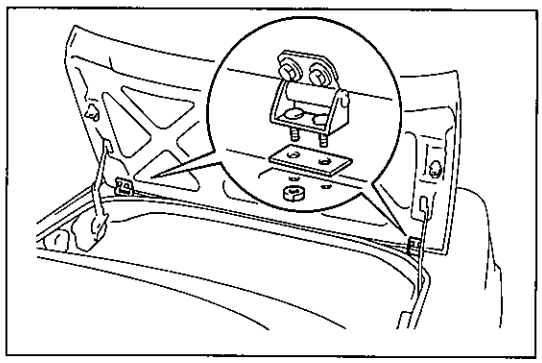
U8712

コンシールド　カバー

1　前後および左右のすき間調整

(1)　バツク　ドア　ヒンジのボルト４本をゆるめて調整する。

T＝115kg･cm



U8782

2　段差調整

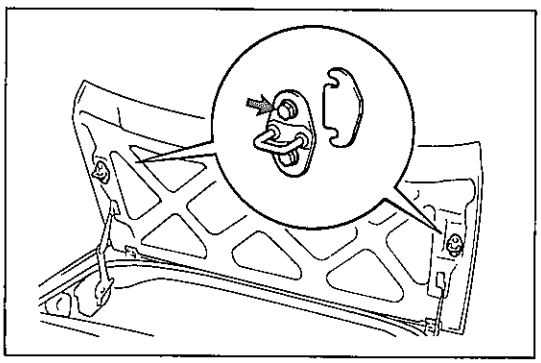
(1)　ナツト４個を取りはずし，パツドの枚数を増減して調整する。

T＝115kg･cm

注意　・パツドは１枚とする。

・パツドを追加した場合，ラツゲージ　コンパートメント　ドアとの隙間を広くする。

〈参考〉　パツドの厚さ　1.1mm



U8713

3　ルーフ　コンシールド　カバー　ロツク　ストライカ調整

(1)　ボルト２本をゆるめ，スペーサの枚数を増減して調整する。

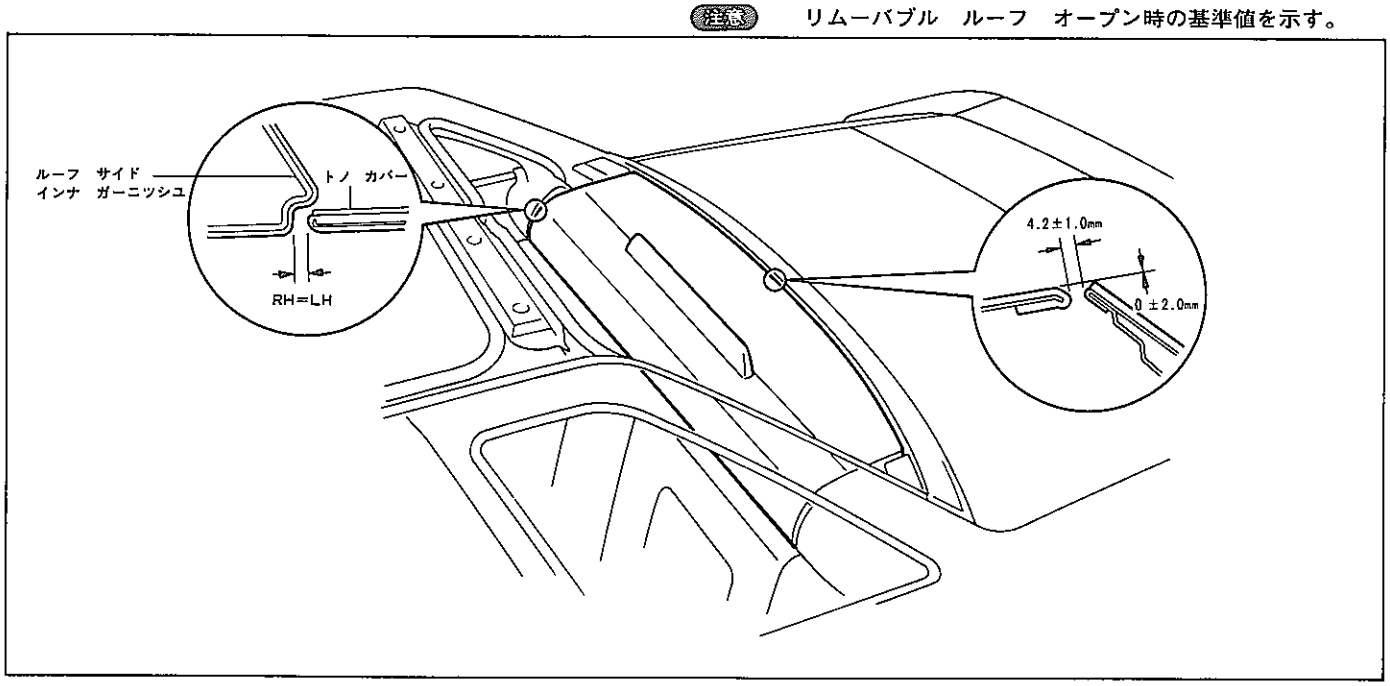
T＝75kg･cm

注意　スペーサは１枚とする。

〈参考〉　スペーサの厚さ　1.0mm

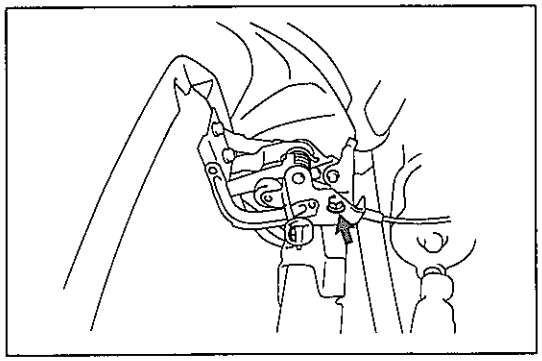
トノ　カバー

注意　リムーバブル　ルーフ　オープン時の基準値を示す。



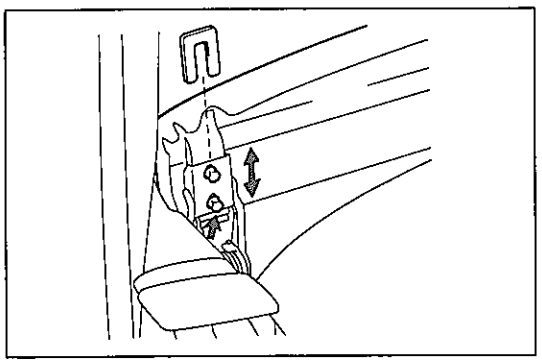
U8714

無断複製禁止


U8715

1 ルーフ サイド インナ ガーニツシユとのすき間調整

(1) ボルト4本をゆるめ，トノ カバーとルーフ サイド インナ ガーニツシユとのすき間が均等になるように調整する。


U8716

2 前後のすき間調整

(1) ボルト4本をゆるめ，トノ カバーを上下させて調整する。

〈参考〉 最大6㎜調整可能。

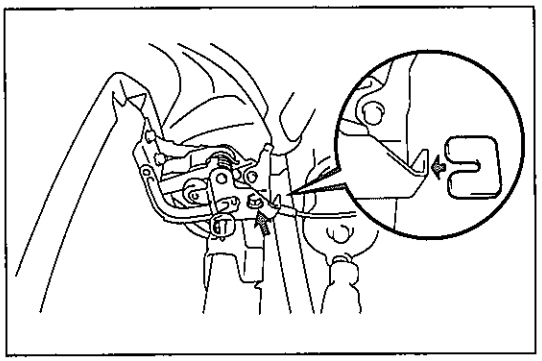
3 コンシールド カバーとの段差調整

段差4㎜以内

(1) ボルト4本をゆるめ，シムの枚数を増減して調整する。

注意 シムは4枚以内で調整する。

〈参考〉 シムの厚さ 1.0mm

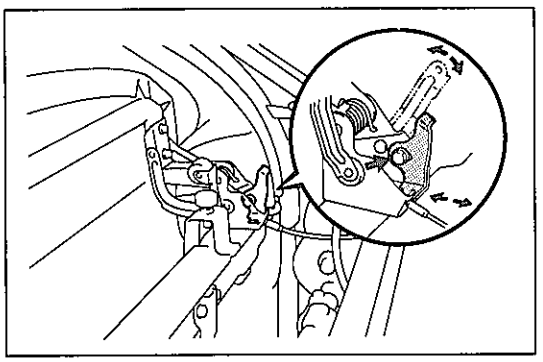

U8784

段差5㎜以上

(1) ボルト4本をゆるめ，シムの枚数を増減して調整する。

注意 シムは2枚以内で調整する。

〈参考〉 シムの厚さ 1.0mm

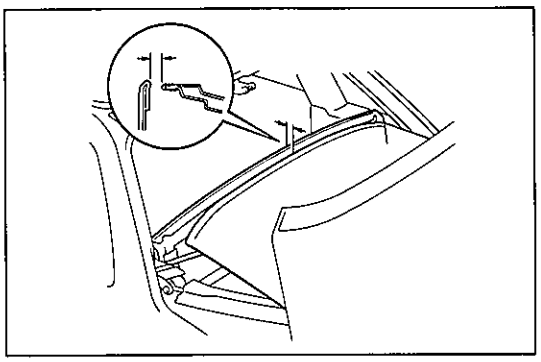

U8717

4 リンク ヒンジ ストツパ調整

注意 1～3の調整で，基準値内に入らない場合のみ行う。

(1) トノ カバー ヒンジ内のボルトをゆるめ，リンク ヒンジ ストツパを動かして調整する。

(2) 再度，1～3の調整を行う。

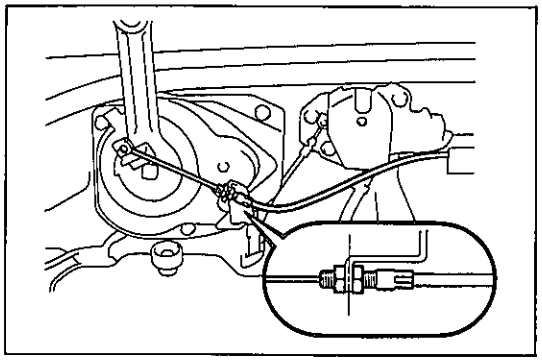

U8718

5 リムーバブル ルーフとのすき間点検

(1) リムーバブル ルーフ格納時，ルーフ前端部とトノ カバーとのすき間を点検する。

基準値 10～20mm

無断複製禁止



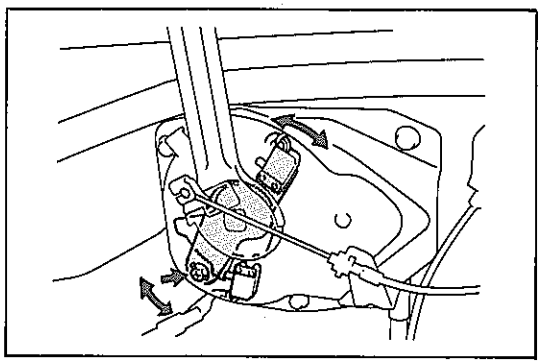
U8719

6　リムーバブル　ルーフとのすき間調整

(1) コンシールド　カバーを全開にする。

(2) ナットの締め付け位置を移動させて調整する。

注意　ナットの締め付け位置は左右同じにする。



U8720

リミツト　スイツチ

1　ルーフ　コンシールド　カバー　ギヤ

注意　ルーフ全閉時および全開時について行う。

(1) バツク　ドアの建付けが基準値内であることを点検する。

(2) コンシールド　カバーを全開にする。

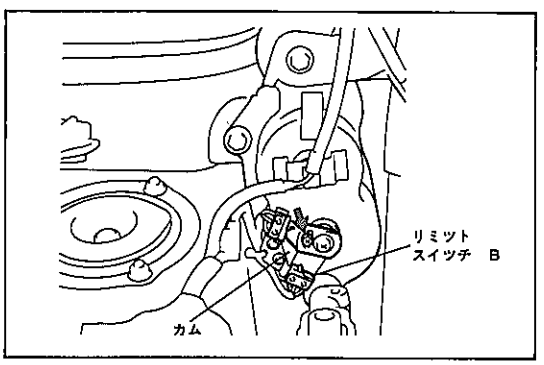
(3) コンシールド　カバー　ロツク　モータ　RHおよびLHの２Ｐコネクタを切り離す。

(4) コンシールド　カバーを全閉にし，バツク　ウインドウ　ロワー　センタ　モールデイングとクオータ　パネルとの段差が０～５mmになることを点検する。

注意　電動操作で行う。

(5) コンシールド　カバーを再度，全開し，カバー　ギヤのアジヤスト　スクリユをゆるめ，上下に動かして調整する。

〈参考〉　コンシールド　カバーが閉まり過ぎの場合は，スクリユを下げ，開いている場合は，スクリユを上げるとよい。



U8721

2　スライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤ

(1) コンシールド　カバーを全開にする。

注意　ルーフ　ロツク（フロント　RH，LH，バツク　ウインドウ）のロツクは解除しておく。

(2) アジヤスト　スクリユをゆるめ，カムをフリー状態にする。

(3) ルーフを動かし，スムースにルーフ　ロツクができる位置まで調整し，カム先端をリミツト　スイツチに合わせて，アジヤスト　スクリユを締め付ける。

注意　手動操作で行う。

(4) 電動でルーフを全開にし，格納する。

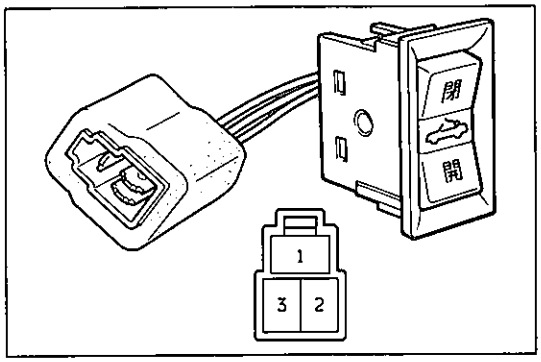
注意　コンシールド　カバーは閉めない。

(5) ルーフ格納状態を，フード　バンパ４箇所で確認する。

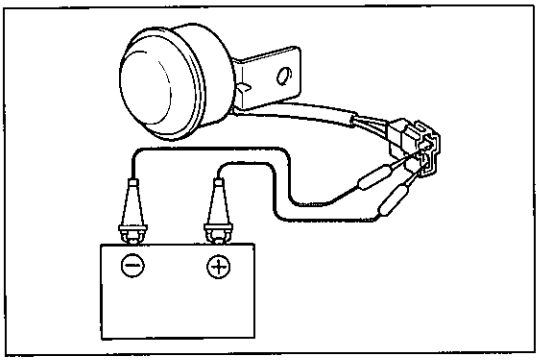
(6) フード　バンパに接していない場合または，強く当たり過ぎている場合，リミツト　スイツチ　Ｂの取り付けスクリユをゆるめて調整する。

(7) 電動でルーフの開閉作動を点検する。

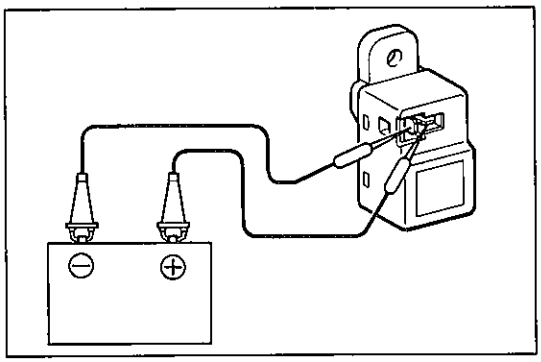
無断複製禁止



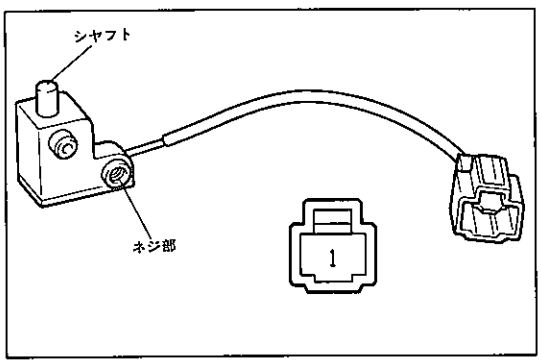
U8722 H-3-2



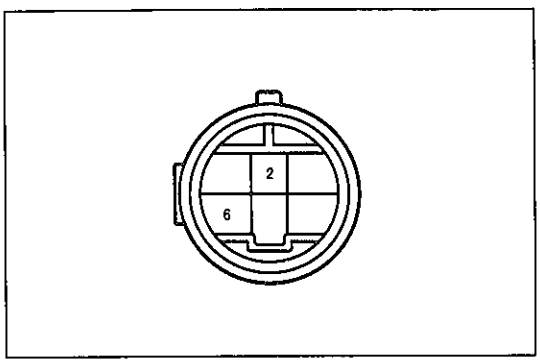
U8723



U8724



U8725 H-1-2



IH-6-2

単体点検

スライデイング ルーフ スイツチ(操作スイツチ)

1 導通点検

(1) スチツチを操作しながら，各端子間の導通を点検する。

基 準 ○—○導通あり

切り替え ＼ 端子	1	2	3
開	○	—○	
OFF			
閉	○	——	—○

ブザー 2(警告用)

1 作動点検

(1) コネクタ端子間にバツテリ電圧を断続的に加えたとき，ブザーが鳴ることを点検する。

ブザー 1(作動用)

1 作動点検

(1) ブザー端子間にバツテリ電圧を断続的に加えたとき，ブザーが鳴ることを点検する。

パーキング ブレーキ スイツチ

1 導通点検

(1) コネクタの1端子とネジ部との導通を点検する。

基 準 シヤフトを押したとき……導通なし
シヤフトがフリーのとき……導通あり

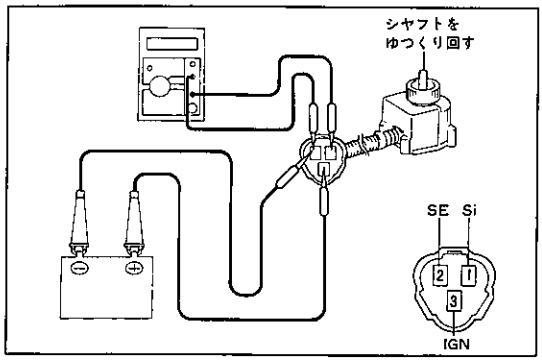
ニユートラル スタート スイツチ

1 導通点検

(1) フロア シフトを操作し，各端子間の導通を点検する。

基 準 P レンジ……端子2 ⟷ 6間に導通あり

無断複製禁止



H3466

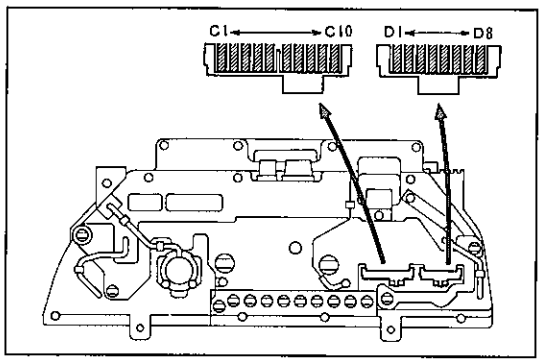
スピード　デイテクタ（スピード　センサ）

(1)　3（IGN）端子にバッテリ⊕，2（SE）端子にバッテリ⊖を接続する。

(2)　1（Si）端子にテスタ⊕，2（SE）端子にテスタ⊖を接続する。

(3)　スピード　デイテクタのシャフトを回転させたときの　電圧を測定する。

基準値　　シャフト1回転で20回約0V↔バッテリ電圧を繰り返す



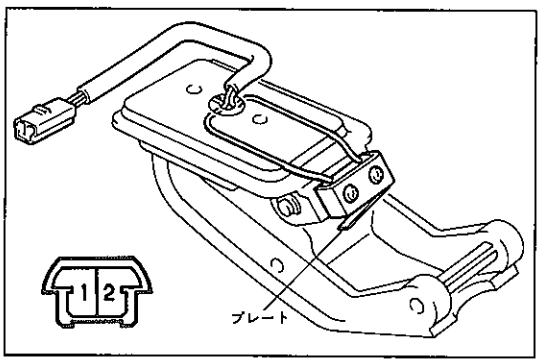
U8726

半ドア　ウオーニング　ランプ

(1)　スペース　ビジヨン　メータ　コネクタ各端子間にバッテリ電圧を加えたとき，ウオーニング　ランプが点灯することを点検する。

基　準　　バッテリ⊕……D1

バッテリ⊖……C10



S-2-1-G　U8727

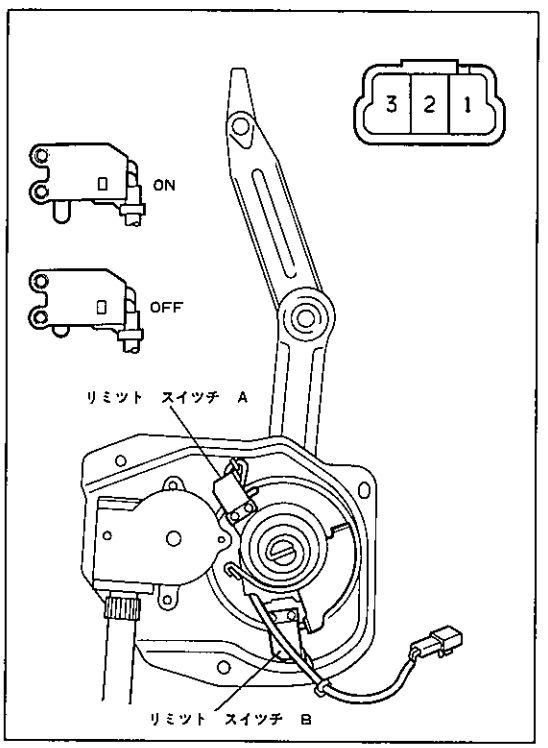
バツク　ウインドウ　ロツク　リミツト　スイツチ

1　導通点検

(1)　コネクタ端子間の導通を点検する。

基　準　　プレートを押したとき……導通なし

プレートを離したとき……導通あり



U8728　GA-3-2

ルーフ　コンシールド　カバー　ギヤ　リミツト　スイツチ

1　導通点検

(1)　コネクタ各端子間の導通を点検する。

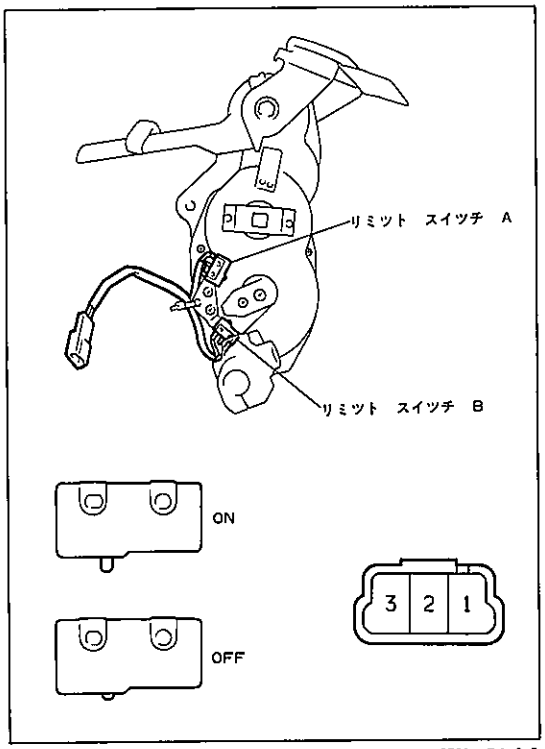
基　準　　リミツト　スイツチ　AをONしたとき端子2-3間導通あり

リミツト　スイツチ　AをOFFしたとき端子2-3間導通なし

リミツト　スイツチ　BをONしたとき端子1-2間導通あり

リミツト　スイツチ　BをOFFしたとき端子1-2間導通なし

無断複製禁止



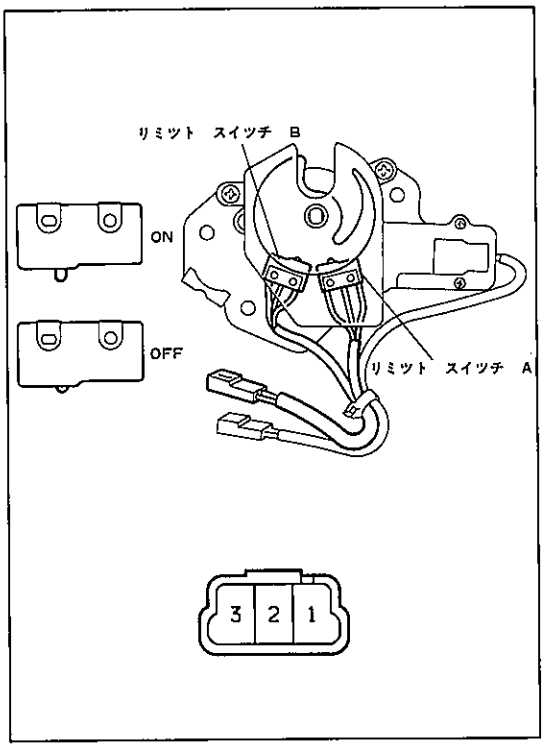
U8729 GA-3-2

スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ
リミット スイッチ

1 導通点検

(1) コネクタ各端子間の導通を点検する。

基 準 リミット スイッチ Aを ON したとき端子 2 - 3 間 導通あり
リミット スイッチ Aを OFF したとき端子 2 - 3 間 導通なし
リミット スイッチ Bを ON したとき端子 1 - 2 間 導通あり
リミット スイッチ Bを OFF したとき端子 1 - 2 間 導通なし



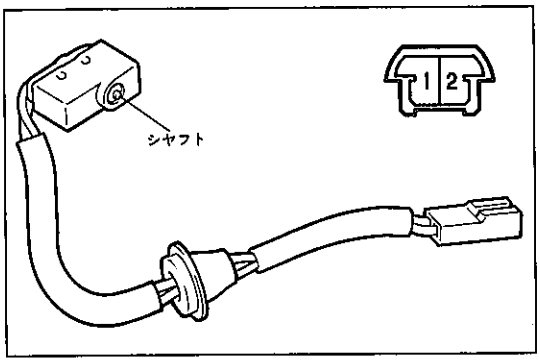
U8730 GA-3-2

ルーフ コンシールド カバー ロツク
リミット スイッチ

1 導通点検

(1) コネクタ各端子間の導通を点検する。

基 準 リミット スイッチ Aを ON したとき端子 2 - 3 間 導通あり
リミット スイッチ Aを OFF したとき端子 2 - 3 間 導通なし
リミット スイッチ Bを ON したとき端子 1 - 2 間 導通あり
リミット スイッチ Bを OFF したとき端子 1 - 2 間 導通なし



U8731 S-2-1-G

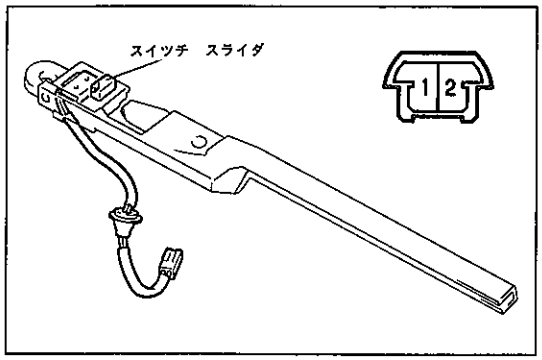
スライデイング ルーフ ドライブ ケーブル
リミット スイッチ

1 導通点検

(1) コネクタ端子間の導通を点検する。

基 準 シャフトを押したとき……導通あり
シャフトを離したとき……導通なし

無断複製禁止

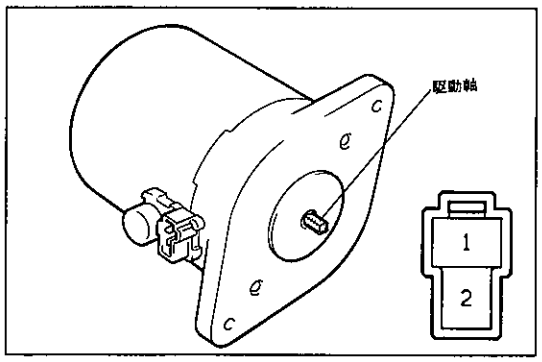


U8732　S-2-1-G

2　導通点検（ガイド　レール　ASSY）

(1)　コネクタ端子間の導通を点検する。

基　準　　スイッチ　スライダを押したとき……導通なし
　　スイッチ　スライダを離したとき……導通あり



U8733　H-2-2

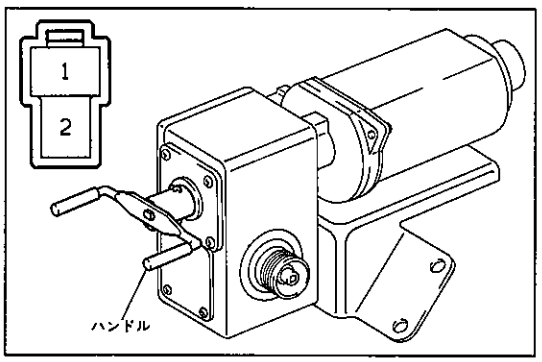
スライデイング　ルーフ　ドライブ　ギヤ

1　スライデイング　ルーフ　モータ点検

(1)　モータ側コネクタの２端子にバッテリ⊕，１端子にバッテリ⊖を接続したとき，駆動軸が左回転することを点検する。

(2)　モータ側コネクタの１端子にバッテリ⊕，２端子にバッテリ⊖を接続したとき，駆動軸が右回転することを点検する。

(3)　モータ回転中異音のないことを点検する。



H-2-2　U8734

ルーフ　コンシールド　カバー　ドライブ　ギヤ

1　ルーフ　コンシールド　カバー　モータ点検

(1)　モータ側コネクタの２端子にバッテリ⊕，１端子にバッテリ⊖を接続したとき，ハンドルが左回転することを点検する。

(2)　モータ側コネクタの１端子にバッテリ⊕，２端子にバッテリ⊖を接続したとき，ハンドルが右回転することを点検する。

(3)　モータ回転中異音のないことを点検する。

2　ルーフ　コンシールド　カバー　モータ　サーキツト　ブレーカ点検（ルーフ　コンシールド　カバー　モータ内）

注意　　車両に組み付けた状態で行う。

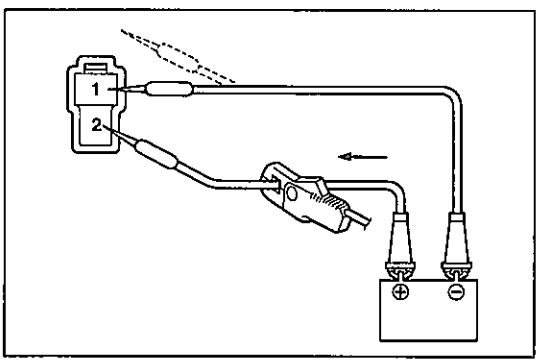
(1)　遮断点検

①　コネクタ２端子にバッテリ⊕を接続し，テスタのDC 200 Aプローブをセットする。

②　コネクタの１端子にバッテリ⊖を接続し，ルーフ　コンシールド　カバーを全開位置にし，バッテリ⊖端子を切り離す。

③　全開約１分後，再度１端子にバッテリ⊖を接続したときの電流が０Ａに変化する時間を点検する。

基準値　　４～60秒で０Ａに変化



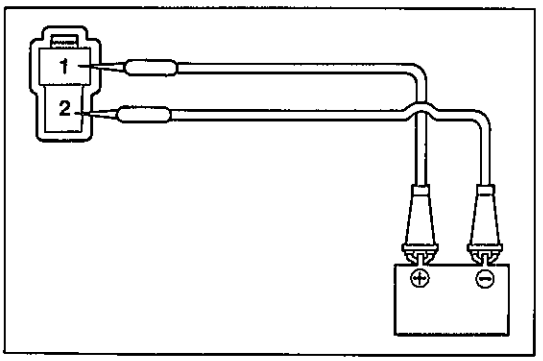
U8735

(2)　復帰点検

①　遮断点検後ただちに，コネクタの１端子にバッテリの⊕，２端子にバッテリの⊖を接続する。

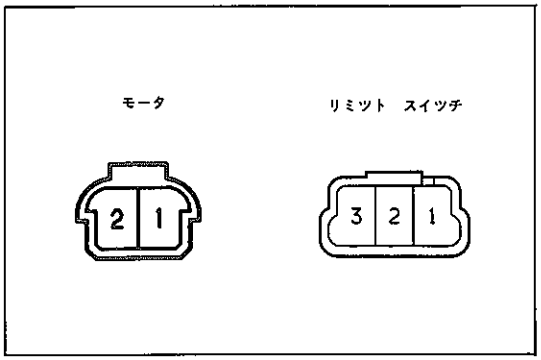
②　このとき，モータが回転を始めるまでの時間を点検する。

基準値　　60秒以内

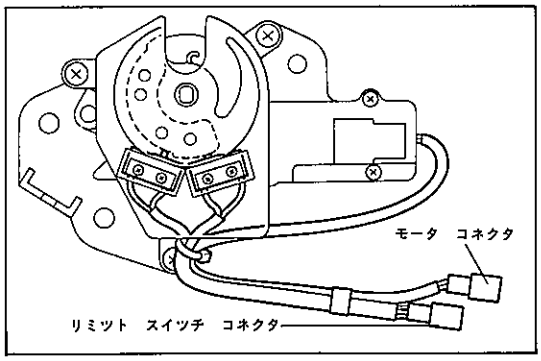


U8736

無断複製禁止



S-2-2-G GA-3-2



U8737

ルーフ コンシールド カバー ロツク

1 カバー ロツク作動 & 導通点検

(1) コンシールド カバー ロツクのモータ コネクタ端子間に電圧を加えたときのカバー ロツクの作動点検とリミット スイツチ端子間の導通を点検する。

注意 電圧は4.5Vとする。

基準

接続	作動
乾電池⊕↔2端子 乾電池⊖↔1端子	カバー ロツクがUNLOCK状態 1-2端子間導通あり 2-3端子間導通なし
乾電池⊕↔1端子 乾電池⊖↔2端子	カバー ロツクがLOCK状態 1-2端子間導通なし 2-3端子間導通あり

スライデイング ルーフ コントロール コンピユータ

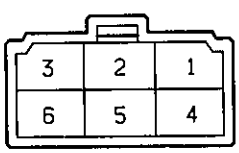
(1) バツテリ電圧を点検する。

基準値 10～14V

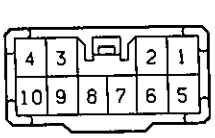
(2) テスタにテスト リードを接続し，各端子とボデー アース間の電圧および導通を点検する。

注意 コネクタをコンピユータに接続しておき，コネクタ裏側から点検する。

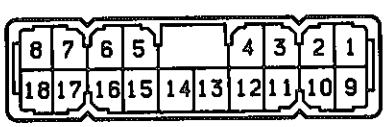
基準値



H-6-2



S-10-2



S-18-2-A

コネクタ	端子番号	入出力	項目	測定条件	基準値	基準値外の場合の不具合箇所
A	1	出力	導通	IG スイツチ OFF	導通あり	コンピユータ
	2	入力	電圧	常時	10～14V	サーキツト ブレーカ
	3	出力	導通	IG スイツチ OFF	導通あり	コンピユータ
	4	出力	導通	IG スイツチ OFF	導通あり	コンピユータ
	5	入力	導通	IG スイツチ OFF	導通あり	ボデー アース
	6	出力	導通	IG スイツチ OFF	導通あり	コンピユータ

無断複製禁止

コネクタ	端子番号	入出力	項目	測定条件	基準値 ( )内はHzレンジでのバー表示	基準値外の場合の不具合箇所
B	1	出力	電圧	IG スイツチ ON	10～14V	ブザー 1
	2	出力	電圧	IG スイツチ ACCまたはON，フロント ドア全閉	10～14V	スペース ビジョン メータ
	3	入力	電圧	IG スイツチ ON，リヤ ホイールをゆつくり回転させる	1.5V 以下～5V 以上変化	スピード センサ
	4	入力	電圧	IG スイツチ ON，フロア シフト P レンジ	10～14V	ニユートラル スタート スイツチ
				IG スイツチ ON，フロア シフト P レンジ以外	1V 以下	
	5	出力	電圧	IG スイツチ ON，ルーフ ロツク解除操作スイツチ「開」側ON	10～14V →0V	ブザー 2（警告用）
				IG スイツチ ON，操作スイツチ「閉」側ON		
	6	出力	導通	IG スイツチ OFF	導通あり	コンピユータ
	7	出力	Hz	IG スイツチ ON，ルーフ ロツク解除，操作スイツチ「開」側ON	（点灯）	
			導通	IG スイツチ OFF	導通あり	
	8	出力	導通	IG スイツチ OFF	導通あり	
	9	出力	Hz	IG スイツチ ON，ルーフ ロツク解除，操作スイツチ「開」側ON	（点灯）	
			導通	IG スイツチ OFF	導通あり	
	10	入力	電圧	IG スイツチ ON，パーキング ブレーキ レバーを引く	1V 以下	パーキング ブレーキ スイツチ
				IG スイツチ ON，パーキング ブレーキ レバーを戻す	10～14V	
C	1	入力	導通	IG スイツチ OFF，左ロツク コントロール ケーブルを引きながら，ロツク状態にする	導通あり→導通なし	左コンシールド カバー ロツク リミツト スイツチ
	2	入力	導通	IG スイツチ OFF，右ロツク コントロール ケーブルを引きながら，ロツク状態にする	導通あり→導通なし	右コンシールド カバー ロツク リミツト スイツチ
	3	入力	導通	IG スイツチ OFF，バツク ウインドウ ロツクのロツク解除	導通あり	バツク ウインドウ ロツク リミツト スイツチ
			電圧	IG スイツチ ON，バツク ウインドウ ロツクのロツク解除	10～14V→1V以下	
	4	入力	導通	IG スイツチ OFF，コンシールド カバー閉→全開	導通あり→導通なし	コンシールド カバー ギヤ リミツト スイツチ
	5	入力	導通	IG スイツチ OFF，スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ リミツト スイツチB（P1－64参照）をOFFにする	導通あり→導通なし	スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ リミツト スイツチ
	6	入力	導通	IG スイツチ OFF，操作スイツチ OFF→「開」側ON	導通なし→導通あり	操作スイツチ
			電圧	IG スイツチ ON，ルーフ ロツク RH，LHおよびバツク ウインドウ ロツク解除，操作スイツチ「開」側ON	10～14V→1V以下	
	7	入力	電圧	IG スイツチ OFF→ACC	0V→10～14V	CIG ヒユーズ
	8	入力	導通	IG スイツチ OFF，ルーフ ロツク RHのロツク解除	導通なし→導通あり	右ルーフ ガイド レール リミツト スイツチ
			電圧	IG スイツチ ON，ルーフ ロツク RHのロツク解除	10～14V→1V以下	
	9	入力	導通	IG スイツチ OFF，コンシールド カバー全閉で，左ロツク コントロール ケーブルを引いてロツクを解除する	導通あり→導通なし	左コンシールド カバー ロツク リミツト スイツチ
			電圧	IG スイツチ ON，コンシールド カバー全閉で，左ロツク コントロール ケーブルを引いてロツクを解除する	1V以下→10～14V	
	10	入力	導通	IG スイツチ OFF，コンシールド カバー全閉で，右ロツク コントロール ケーブルを引いてロツク解除	導通あり→導通なし	右コンシールド カバー ロツク リミツト スイツチ
			電圧	IG スイツチ ON，コンシールド カバー全閉で，右ロツク コントロール ケーブルを引いてロツク解除	1V以下→10～14V	
	11	入力	電圧	IG スイツチ ON	10～14V	コンピユータ
	12	入力	導通	IG スイツチ OFF，コンシールド カバー全閉→開	導通なし→導通あり	コンシールド カバー ギヤ リミツト スイツチ
				IG スイツチ OFF，コンシールド カバー開→全閉	導通あり→導通なし	

無断複製禁止

コネクタ	端子番号	入出力	項目	測定条件	基準値	基準値外の場合の不具合箇所
C	13	入力	導通	常時	導通あり	コンピュータ
	14	入力	導通	常時	導通あり	コンピュータ
	15	入力	導通	IG スイッチ OFF，スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ リミット スイッチ A（P 1 −64参照）をOFFにする	導通あり→導通なし	スライデイング ルーフ ドライブ ギヤ リミット スイッチ
	16	入力	導通	IG スイッチ OFF，操作スイッチ OFF→「閉」側ON	導通なし→導通あり	操作スイッチ
			電圧	IG スイッチ ON，ルーフおよびコンシールド カバーが全閉で操作スイッチ「閉」側ON	10〜14V→1V以下	
	17	入力	導通	常時	導通あり	コンピュータ
	18	入力	導通	IG スイッチ OFF，ルーフ ロック LHのロック解除	導通なし→導通あり	左ルーフ ガイド レール リミット スイッチ
			電圧	IG スイッチ ON，ルーフ ロック LHのロック解除	10〜14V→1V以下	

無断複製禁止

ルーフ　ヘツドライニング

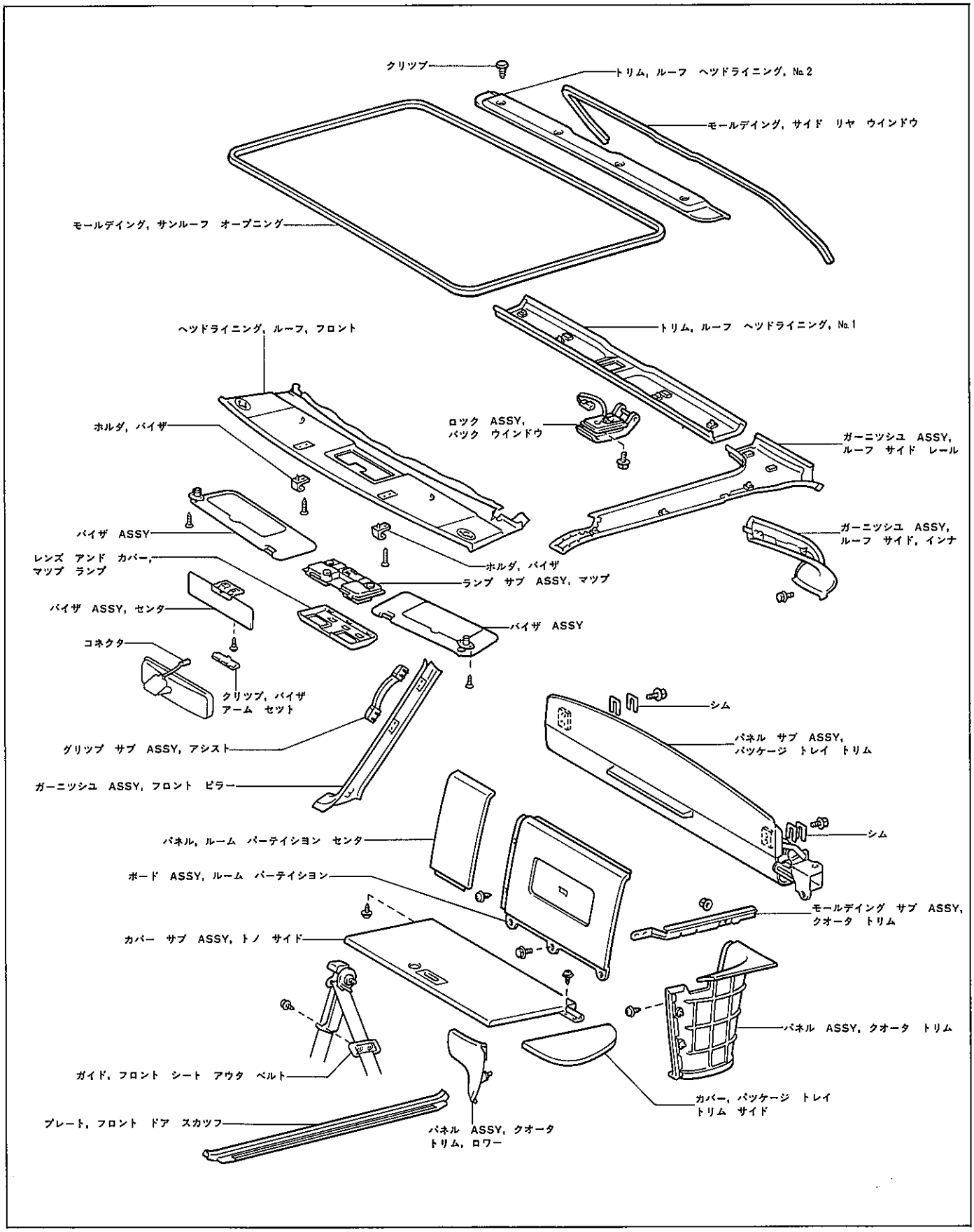
準　備　品

工　具	クリツプ　リムーバ	クリツプ取りはずし用
油　脂 その他	両面テープ	各部接着用
	白ガソリン	各部清掃用

無断複製禁止

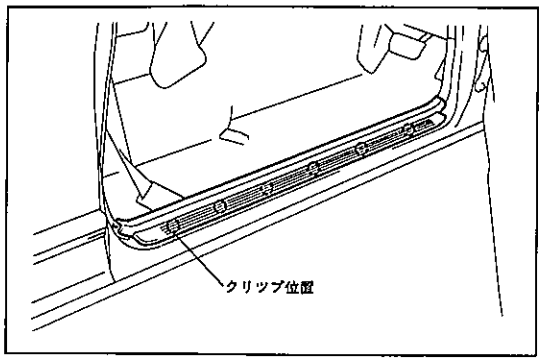
フロント　ルーフ　ヘツドライニング

脱着構成図



U8738

無断複製禁止

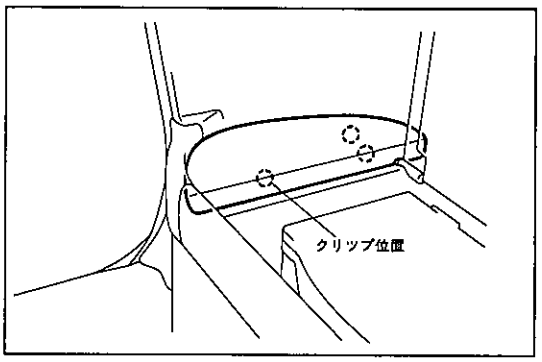


U8739

フロント　ルーフ　ヘツドライニング取りはずし

1　フロント　ドア　スカツフ　プレート　RH，LH 取りはずし

(1)　クリツプのかん合をはずし，スカツフ　プレートを取りはずす。

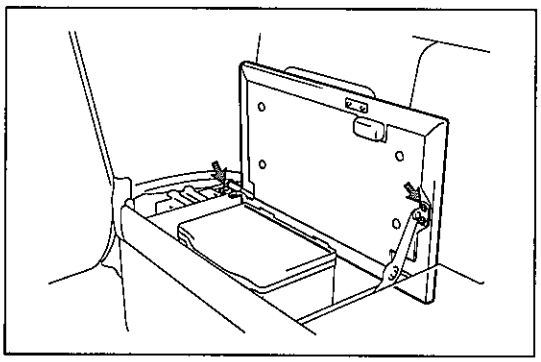


U8740

2　トノ　サイド　カバー　RH，LH 開

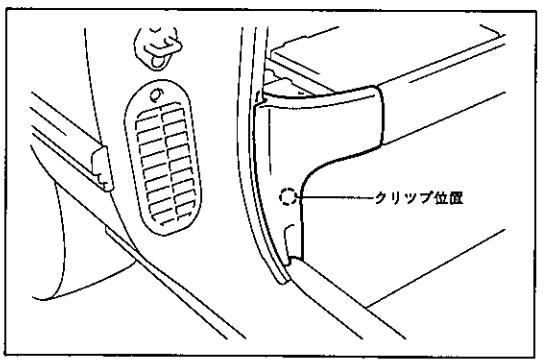
3　パツケージ　トレイ　トリム　サイド　カバー　RH，LH 取りはずし

(1)　クリツプのかん合をはずし，サイド　カバーを取りはずす。


U8741

4　トノ　サイド　カバー　RH，LH 取りはずし

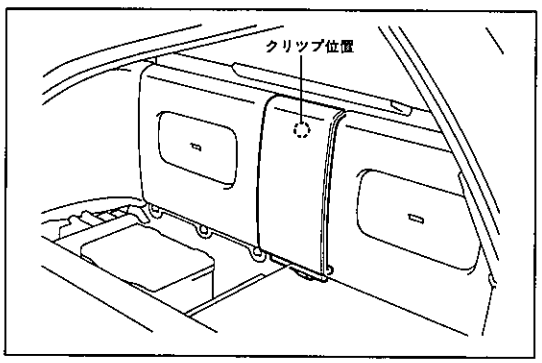
(1)　スクリユ４本を取りはずし，トノ　サイド　カバーを取りはずす。



U8742

5　クオータ　トリム　ロワー　パネル　RH，LH 取りはずし

(1)　クリツプのかん合をはずし，クオータ　トリム　ロワー　パネルを引き上げて取りはずす。

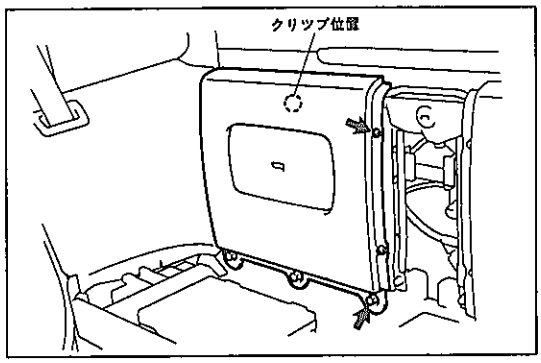


U8743

6　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネル取りはずし

(1)　クリツプのかん合をはずし，ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネルを引き上げて取りはずす。

無断複製禁止

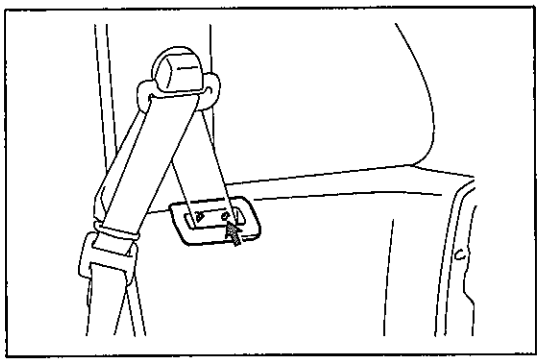


U8744

7　ルーム　パーテイシヨン　ボード　RH，LH 取りはずし

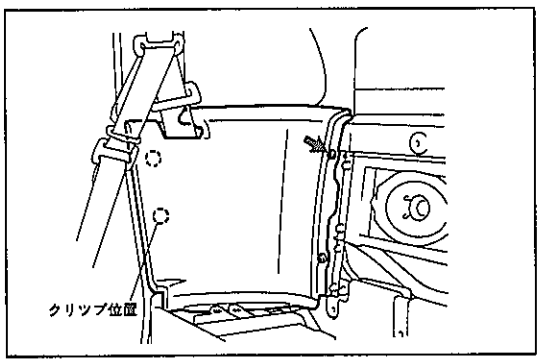
(1)　ボルト３本およびスクリユ２本を取りはずす。

(2)　クリップのかん合をはずし，ルーム　パーテイシヨン　ボードをスライドさせて取りはずす。


U8745

8　フロント　シート　アウタ　ベルト　ガイド　RH，LH 取りはずし

(1)　スクリユ２本を取りはずし，ベルト　ガイドを取りはずす。

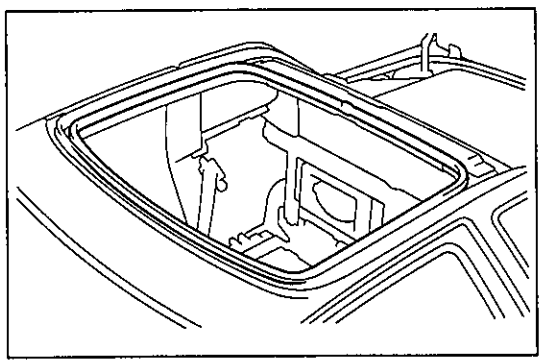


U8746

9　クオータ　トリム　パネル　RH，LH 取りはずし

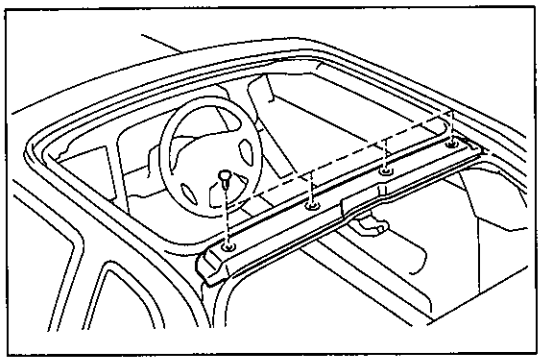
(1)　スクリユ２本を取りはずす。

(2)　クリップのかん合をはずし，クオータ　トリム　パネルを取りはずす。


U8747

10　ルーフ全開

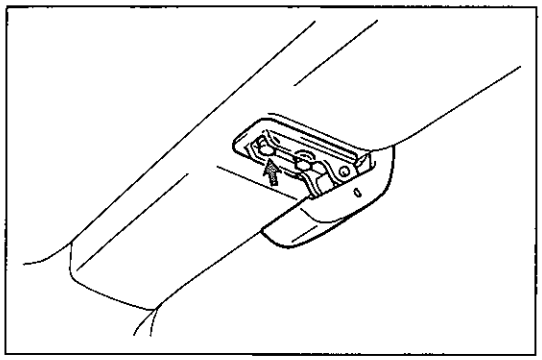
11　サンルーフ　オープニング　トリム　モールデイング取りはずし


U8748

12　ルーフ　ヘツドライニング　No.２　トリム取りはずし

(1)　クリツプ　リムーバを使用して，クリツプ４個を取りはずし，ルーフ　ヘツドライニング　No.２　トリムを取りはずす。

無断複製禁止

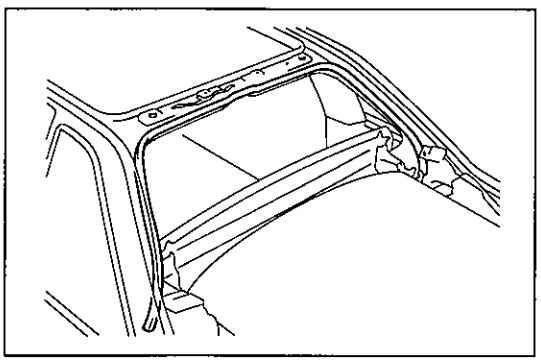


U8749

13　バツク　ウインドウ　ロツク取りはずし

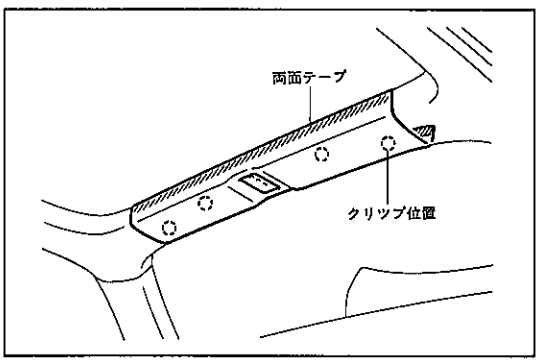
(1)　コネクタを切り離す。

(2)　ボルト２本を取りはずし，バツク　ウインドウ　ロツクを取りはずす。



U8750

14　サイド　リヤ　ウインドウ　モールデイング取りはずし

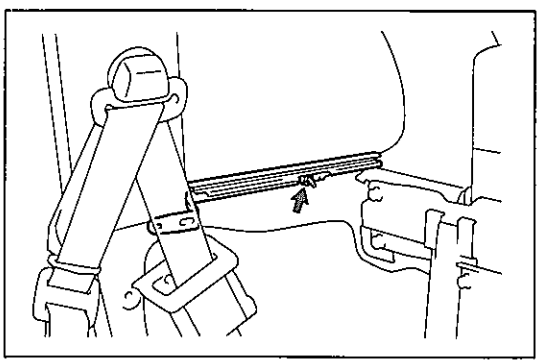


U8751

15　ルーフ　ヘツドライニング　No.１　トリム取りはずし

(1)　トリムの両面テープ接着箇所をはがす。

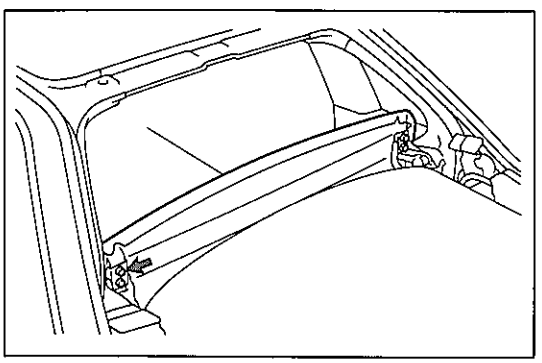
(2)　クリツプのかん合をはずし，ヘツドライニング　No.１　トリムを取りはずす。



U8752

16　クオータ　トリム　モールデイング　RH，LH 取りはずし

(1)　ナツトを取りはずし，クオータ　トリム　モールデイングを取りはずす。



U8753

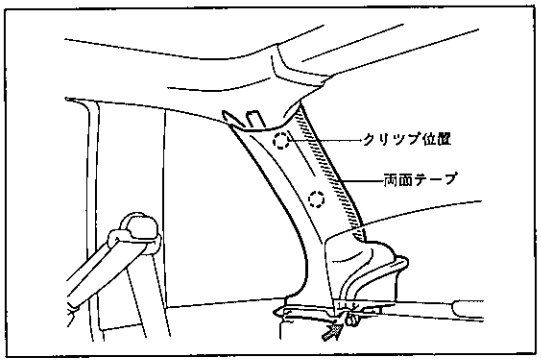
17　パツケージ　トレイ　トリム　パネル切り離し

(1)　ボルト４本を取りはずす。

(2)　スペーサを取りはずす。

注意　ルーム　パーテイシヨン　クロス　メンバをウエスなどで覆い，パツケージ　トレイ　トリム　パネルを傷つけない。

無断複製禁止



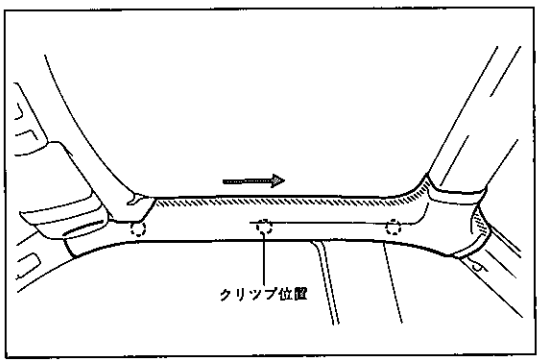
U8754

18 ルーフ　サイド　インナ　ガーニツシユ RH，LH 取りはずし

(1) ガーニツシユの両面テープ接着箇所をはがす。

(2) ボルトを取りはずす。

(3) クリツプのかん合をはずし，ルーフ　サイド　インナ　ガーニツシユを取りはずす。

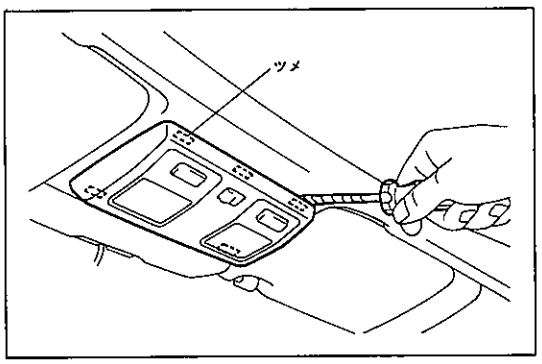


U8755

19 ルーフ　サイド　レール　ガーニツシユ　RH，LH 取りはずし

(1) ガーニツシユの両面テープ接着箇所をはがす。

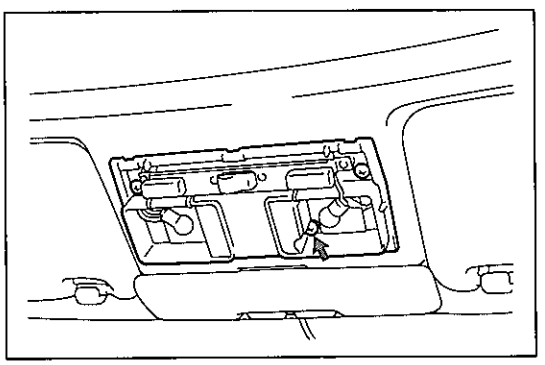
(2) クリツプのかん合をはずし，ルーフ　サイド　レール　ガーニツシユをスライドさせて取りはずす。



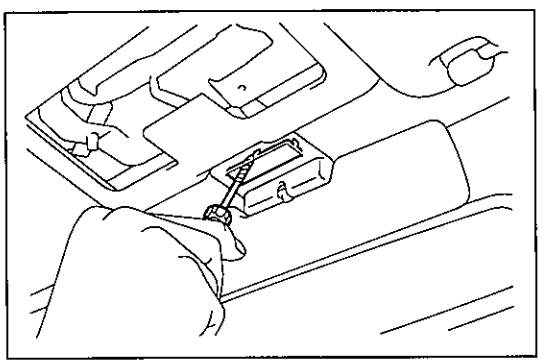
U8756

20 マツプ　ランプ取りはずし

(1) 保護テープを貼つた⊖ドライバを使用して，ツメのかん合をはずし，レンズ　アンド　カバーを取りはずす。


U8757

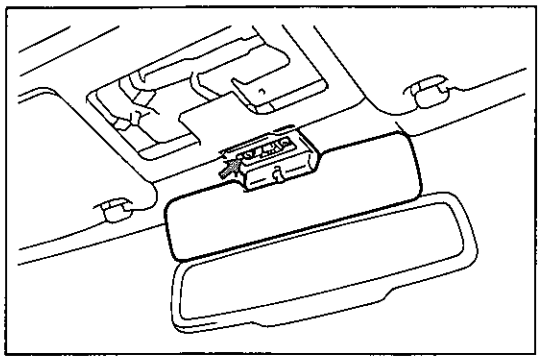
(2) スクリユ３本を取りはずし，コネクタを切り離してマツプ　ランプを取りはずす。


U8758

21 センタ　バイザ取りはずし

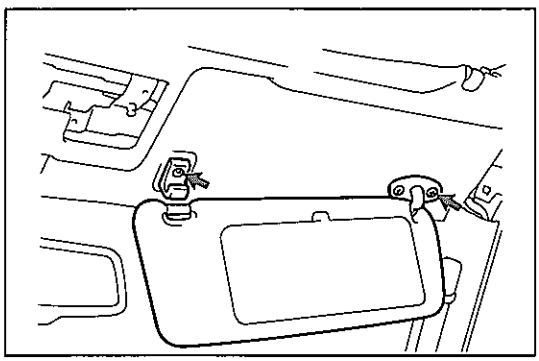
(1) 保護テープを貼つた⊖薄刃ドライバを使用して，バイザ　アーム　セツト　クリツプを取りはずす。

無断複製禁止



U8759

(2)　スクリユ２本を取りはずし，センタ　バイザを取りはずす。



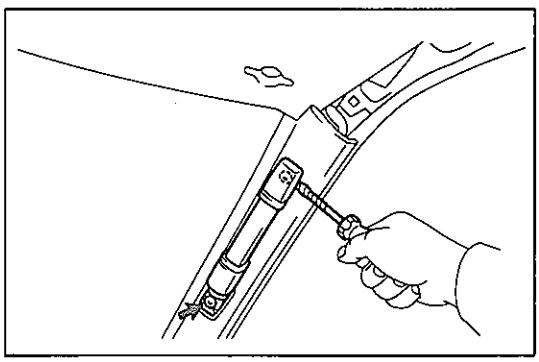
U8760

22　インナ　リヤ　ビユー　ミラー　コネクタ（液晶防眩用）切り離し

23　バイザ　ホルダ　RH，LH 取りはずし

24　バイザ　RH，LH 取りはずし

(1)　スクリユ２本を取りはずし，バイザを取りはずす。

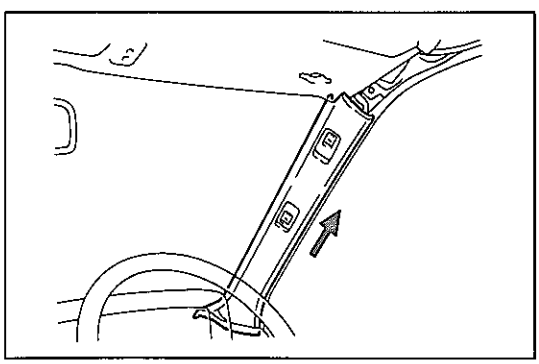


U8761

25　フロント　アシスト　グリツプ　RH，LH 取りはずし

(1)　保護テープを貼つた⊖ドライバを使用して，両端のアシスト　グリツプ　カバーをこじり，中央へ移動させる。

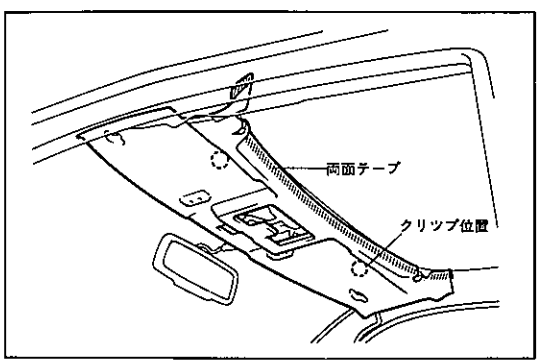
(2)　スクリユ２本を取りはずし，アシスト　グリツプを取りはずす。



U8762

26　フロント　ピラー　ガーニツシユ　RH，LH 取りはずし

(1)　ガーニツシユを引き抜いて取りはずす。



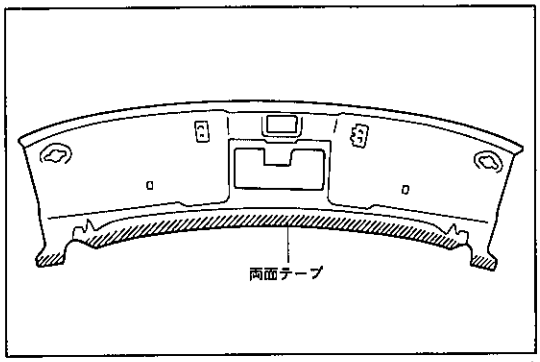
U8763

27　フロント　ルーフ　ヘツドライニング取りはずし

(1)　ヘツドライニングの両面テープ接着箇所をはがす。

(2)　クリツプのかん合をはずし，フロント　ルーフ　ヘツドライニングを取りはずす。

無断複製禁止



U8764

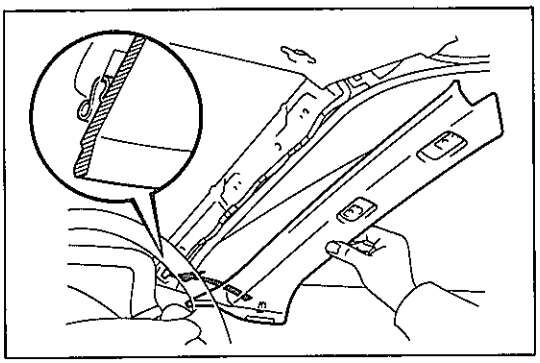
フロント　ルーフ　ヘツドライニング取り付け

1　フロント　ルーフ　ヘツドライニング取り付け

(1)　ボデーの接着箇所を白ガソリンなどで清掃する。

(2)　図に示す位置に両面テープを貼り付ける。

(3)　クリツプ位置を合わせて，ルーフ　ヘツドライニングを取り付ける。


U8765

2　フロント　ピラー　ガーニツシユ　RH，LH 取り付け

(1)　ガーニツシユ下部のクリツプをフロント　ピラーの穴に差し込んで取り付ける。

3　フロント　アシスト　グリツプ　RH，LH 取り付け

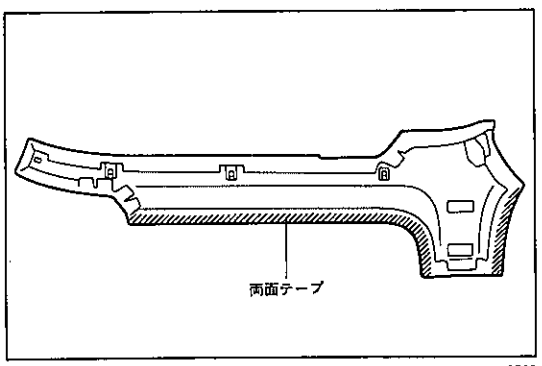
4　バイザ　RH，LH 取り付け

5　バイザ　ホルダ　RH，LH 取り付け

6　インナ　リヤ　ビユー　ミラー　コネクタ（液晶防眩用）接続

7　センタ　バイザ取り付け

8　マツプ　ランプ取り付け

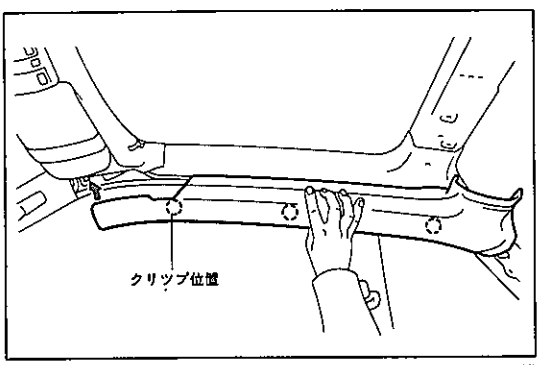


U8766

9　ルーフ　サイド　レール　ガーニツシユ　RH，LH取り付け

(1)　ボテーの接着箇所を白ガソリンなどで清掃する。

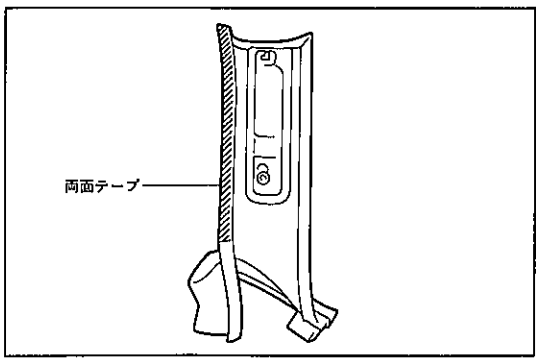
(2)　図に示す位置に両面テープを貼り付ける。



U8767

(3)　ガーニツシユ前端部のツメをルーフ　サイド　レールの穴に差し込んで，クリツプ位置をたたいてルーフ　サイド　レールガーニツシユを取り付ける。

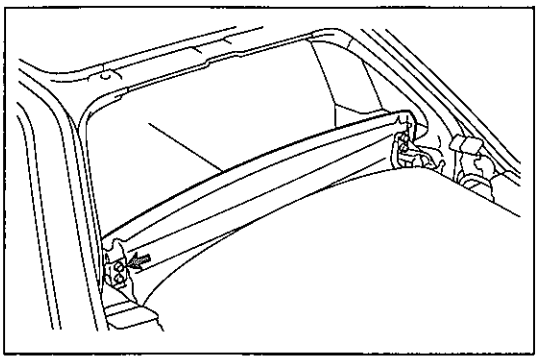
無断複製禁止



U8768

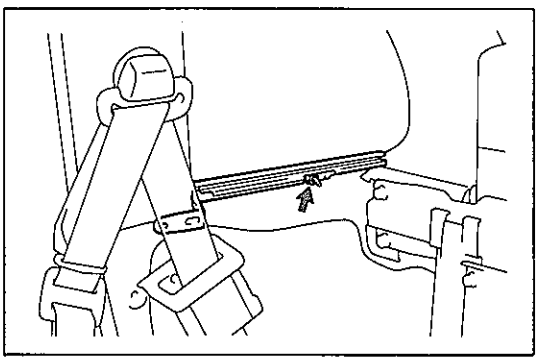
10　ルーフ　サイド　インナ　ガーニツシユ　RH，LH取り付け

(1)　ボデーの接着箇所を白ガソリンなどで清掃する。
(2)　図に示す位置に両面テープを貼り付ける。
(3)　クリツプ位置を合わせて，ルーフ　サイド　インナ　ガーニツシユを取り付ける。
(4)　ボルトを取り付ける。


U8753

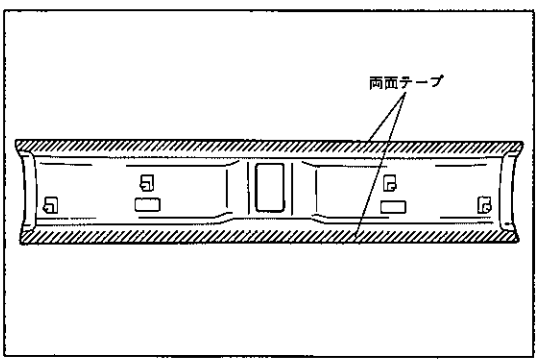
11　パツケージ　トレイ　トリム　パネル取り付け

(1)　パツケージ　トレイ　トリム　パネルを引き上げて，左右にスペーサを介してボルト４本を取り付ける。


U8752

12　クオータ　トリム　モールデイング　RH，LH 取り付け

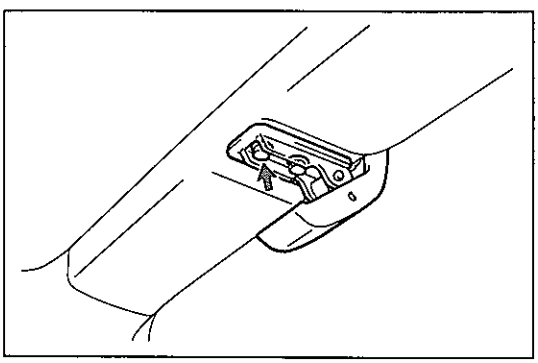
(1)　ナツトで，クオータ　トリム　モールデイングを取り付ける。



U8769

13　ルーフ　ヘツドライニング　No.１　トリム取り付け

(1)　ボデーの接着箇所を白ガソリンなどで清掃する。
(2)　図に示す位置に両面テープを貼り付ける。
(3)　クリツプ位置を合わせて，ヘツドライニング　No.１　トリムを取り付ける。

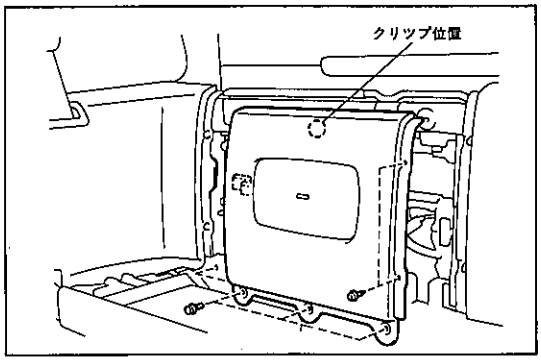

U8749

14　サイド　リヤ　ウインドウ　モールデイング取り付け

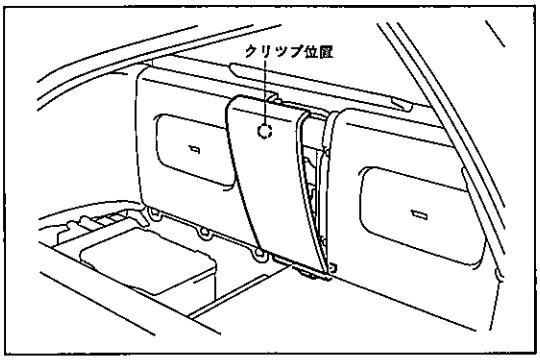
15　バツク　ウインドウ　ロツク取り付け

(1)　ボルト２本で，バツク　ウインドウ　ロツクを取り付ける。
(2)　コネクタを接続する。

無断複製禁止



U8770



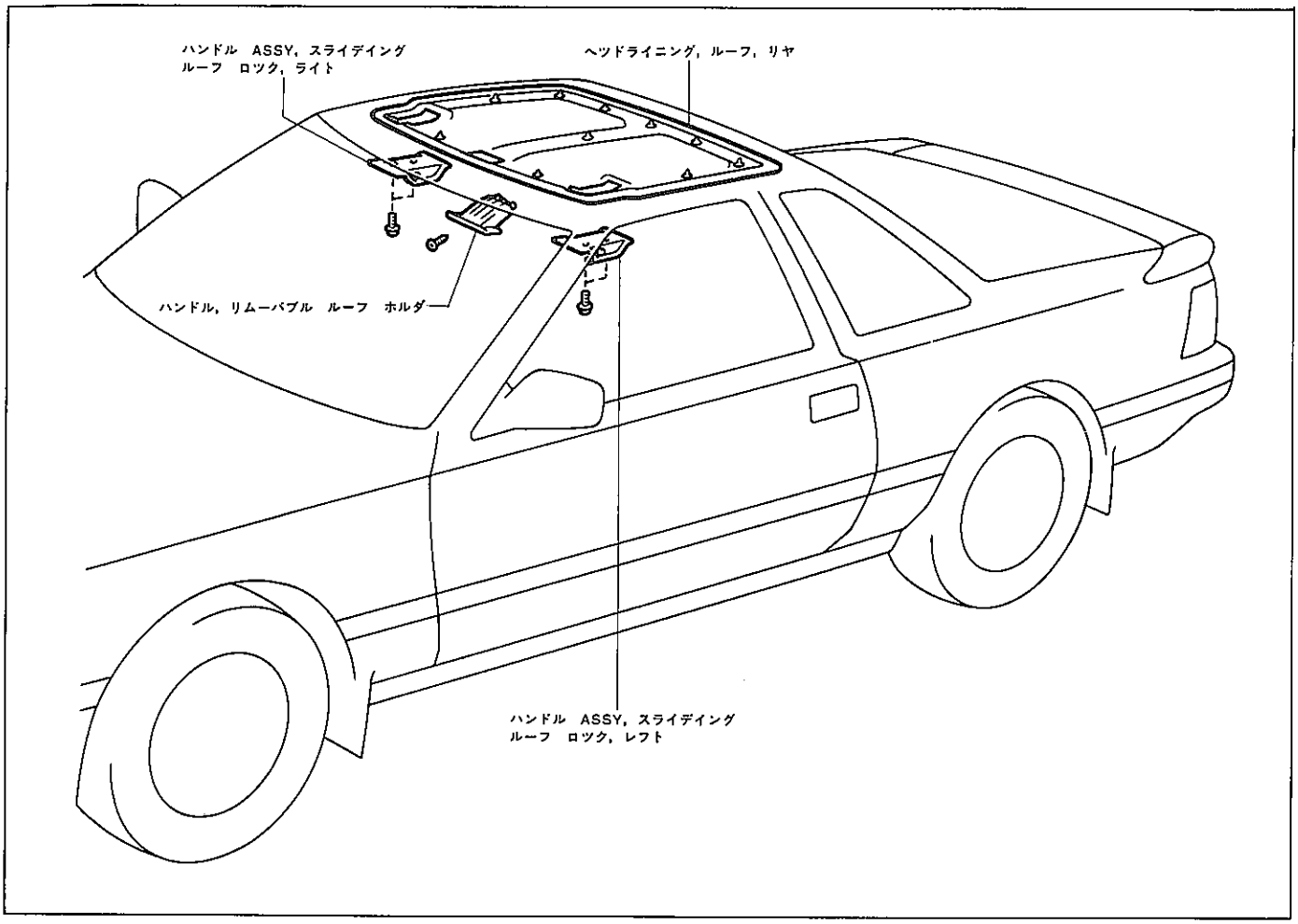
U8771

16 ルーフ ヘツドライニング No. 2 トリム取り付け
17 サン ルーフ オープニング トリム モールデイング取り付け
18 クオータ トリム パネル RH, LH 取り付け
19 フロント シート ベルト ガイド RH, LH 取り付け
20 ルーム パーテイシヨン ボード RH, LH 取り付け
(1) ルーム パーテイシヨン ボードの裏面をクオータ トリム パネルに引つ掛け, クリツプ位置をたたき, ボルト3本およびスクリユ2本で, ボードを取り付ける。
21 ルーム パーテイシヨン センタ パネル取り付け
(1) ルーム パーテイシヨン センタ パネルの下部をパツケージ トレイ トリムに引つ掛け, クリツプ位置をたたいて取り付ける。
22 クオータ トリム ロワー パネル RH, LH 取り付け
23 トノ サイド カバー RH, LH 取り付け
24 パツケージ トレイ トリム サイド カバー RH, LH 取り付け
25 フロント ドア スカツフ プレート RH, LH 取り付け
26 トノ カバー点検および調整
(P 1-59参照)

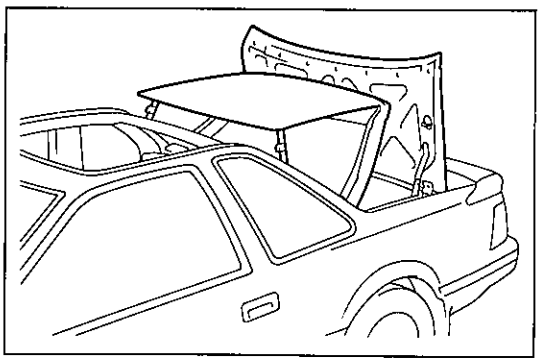
無断複製禁止

リヤ　ルーフ　ヘツドライニング

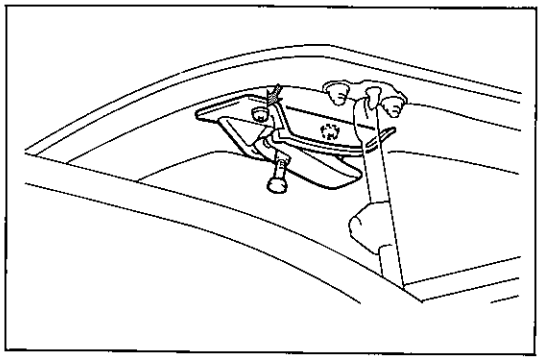
脱着構成図



U8772



U8773



U8774

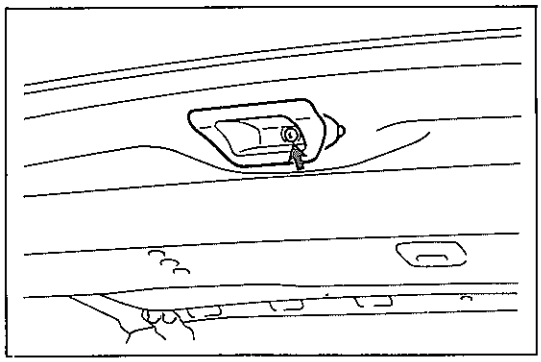
リヤ　ルーフ　ヘツドライニング取りはずし

1　ルーフ半開

2　スライデイング　ルーフ　ロツク　ハンドル　RH，LH 取りはずし

(1)　スクリユ２本を取りはずし，ロツク　ハンドルを取りはずす。

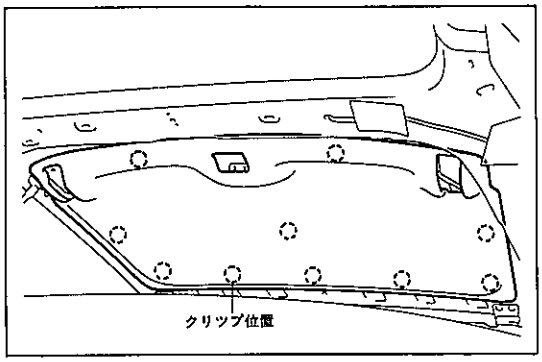
無断複製禁止



U8775

3　リムーバブル　ルーフ　ホルダ　ハンドル取りはずし

(1)　スクリユを取りはずし，ハンドルを取りはずす。



U8776

4　リヤ　ルーフ　ヘツドライニング取りはずし

(1)　クリツプ　リムーバを使用して，クリツプのかん合をはずし，ルーフ　ヘツドライニングを取りはずす。

注意　ルーフ　ヘツドライニングのクリツプ部は破損しやすいので，慎重に取りはずす。

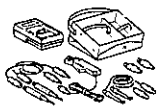
リヤ　ルーフ　ヘツドライニング取り付け

1　リヤ　ルーフ　ヘツドライニング取り付け
2　リムーバブル　ルーフ　ホルダ　ハンドル取り付け
3　スライデイング　ルーフ　ロツク　ハンドル　RH，LH 取り付け
4　ルーフ　コンシールド　カバー閉

無断複製禁止

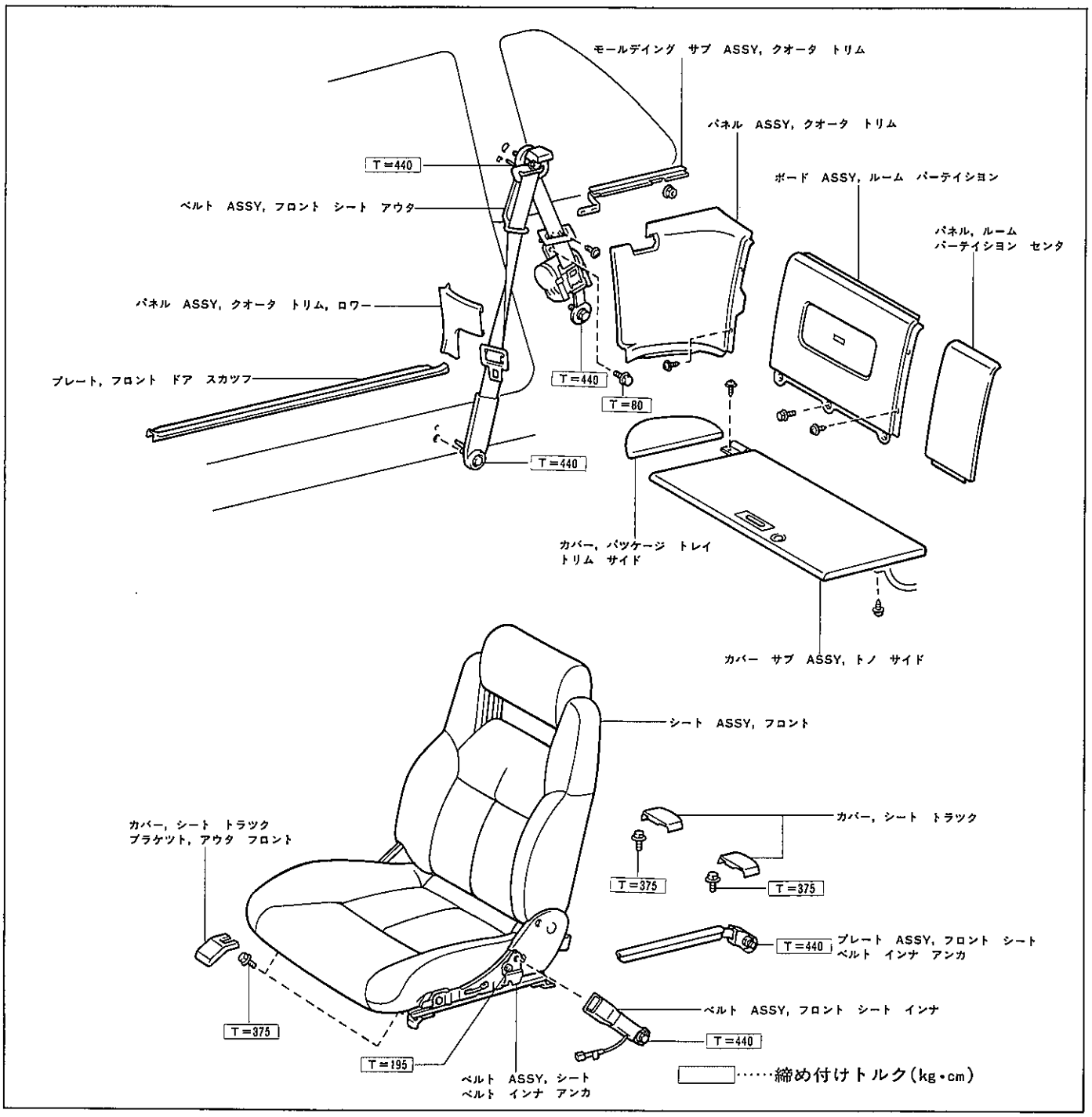
シート　ベルト

準　備　品

計　器		09082-00012	テスタ，トヨタ　エレクトリカル	各部点検用

シート　ベルト

脱着構成図

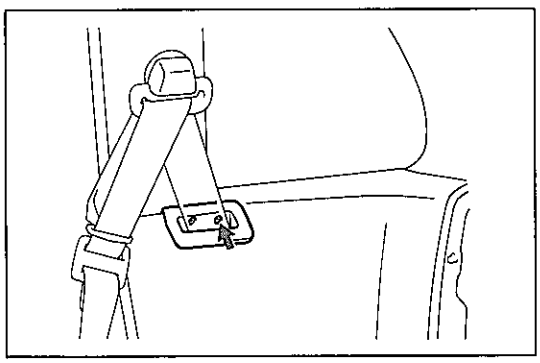


U8777

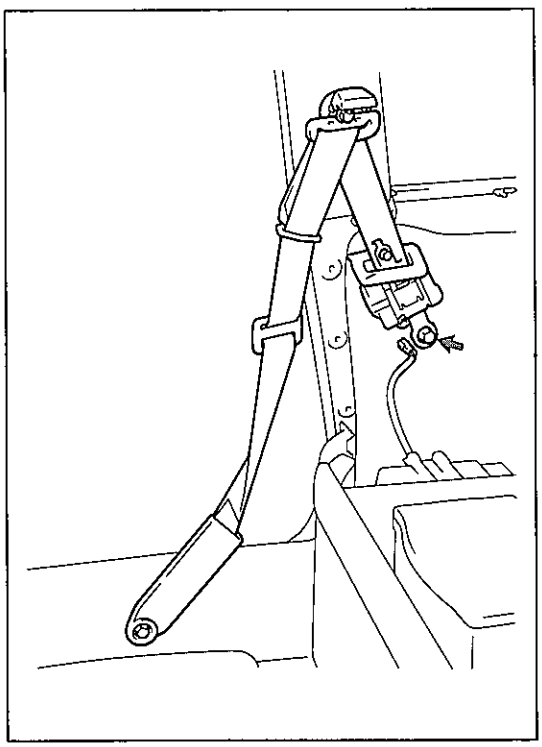
無断複製禁止

フロント　シート　ベルト取りはずし

1　フロント　ドア　スカツフ　プレート取りはずし
（P 1-71参照）
2　トノ　サイド　カバー開
3　パツケージ　トレイ　トリム　サイド　カバー取りはずし
（P 1-71参照）
4　トノ　サイド　カバー取りはずし
（P 1-71参照）
5　クオータ　トリム　ロワー　パネル取りはずし
（P 1-71参照）
6　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネル取りはずし
（P 1-71参照）
7　ルーム　パーテイシヨン　ボード取りはずし
（P 1-72参照）

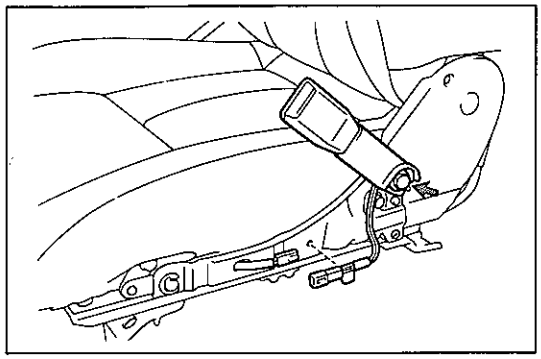

U8745

8　フロント　シート　アウタ　ベルト　ガイド取りばすし
(1)　スクリユ２本を取りはずし，ベルト　ガイドを取りはずす。


U8778

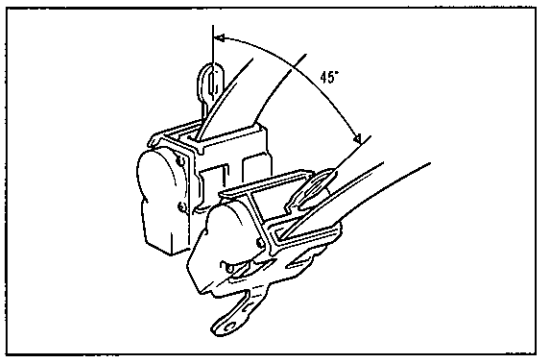
9　クオータ　トリム　パネル取りはずし
（P 1-72参照）
10　フロント　シート　アウタ　ベルト　ASSY取りはずし
(1)　フロア部のボルトを取りはずす。
(2)　シヨルダ　アンカ部のボルトを取りはずす。
(3)　コネクタを切り離す。
(4)　ボルト２本を取りはずし，リトラクタ部を取り出し，ベルト　ASSY を取りはずす。

無断複製禁止



U8779

11　フロント　シート　ASSY取りはずし
12　フロント　シート　ベルト　インナ　アンカ　プレート取りはずし
13　フロント　シート　ベルト　インナ取りはずし



U1574

リトラクタ点検

1　ELR　ロック開始の傾斜角度点検

(1)　リトラクタを取り付け角度より静かに倒したとき，全方向に対してベルトのロックが15°以内でロックしないことを確認し，45°以上の角度でロック状態を保持することを確認する。

注意　リトラクタは分解しない。

フロント　シート　ベルト取り付け

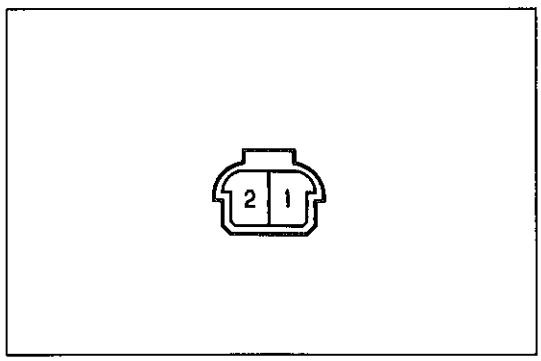
(1)　取り付けは，取りはずしの逆の手順で作業を行う。

注意
- 各アンカ　ボルトを締め付け後，ボルト円周方向に各アンカがスムースに動くことを確認する。
- 取り付け状態においてベルトがスムースに引き出せかつスムースに戻ることを確認する。

単体点検

フロント　シート　インナ　ベルト

（電気式テンショナ　リデューサ付き）



S-2-2-G

1　バックル　スイッチ導通点検

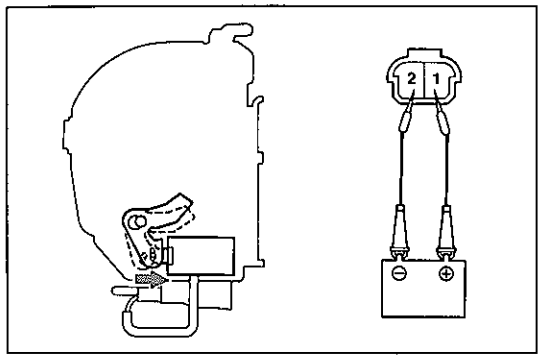
(1)　アウタ　ベルトのプレートをバックルに差し込んだときの各端子間の導通を点検する。

基　準

接続 ＼ 端子番号	1	2
接　続　時	○	○
切り離し時		

フロント　シート　アウタ　ベルト

（電気式テンショナ　リデューサ付き）



U8780

1　電気式テンショナ　リデューサ作動点検

(1)　バッテリ⊕を端子1に，バッテリ⊖を端子2に接続する。
(2)　コイルが磁化して，プランジャが吸引される作動音を点検する。
(3)　シート　ベルトを引き出してバッテリ⊖を切り離したとき，巻き取りスプリング力が増加することを点検する。

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止

2　エレクトリカル

ラジオ　&　プレーヤ …… 2－2
変更概要 …… 2－2
準備品 …… 2－2
部品配置図 …… 2－2
回路図 …… 2－3
機能点検 …… 2－4
モータ　アンテナ作動点検 …… 2－4
アンテナ　ASSY　ウイズ　ホルダ …… 2－5
脱着分解構成図 …… 2－5
取りはずし …… 2－6
分解 …… 2－6
組み付け …… 2－6
取り付け …… 2－7
アンテナ　コード　サブ　ASSY …… 2－8
脱着構成図 …… 2－8
取りはずし …… 2－8
取り付け …… 2－9
リヤ　スピーカ　ASSY …… 2－10
脱着構成図 …… 2－10
取りはずし …… 2－10
取り付け …… 2－11
単体点検 …… 2－12
アンテナ　ASSY　ウイズ　ホルダ …… 2－12

無断複製禁止

ラジオ & プレーヤ

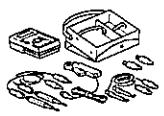
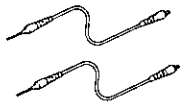
変更概要

トヨタ ソアラ修理書下巻（品番62094 昭和61年1月発行）およびトヨタ ソアラ修理書/追補版（品番62104 昭和63年1月発行）より以下の内容を変更しました。

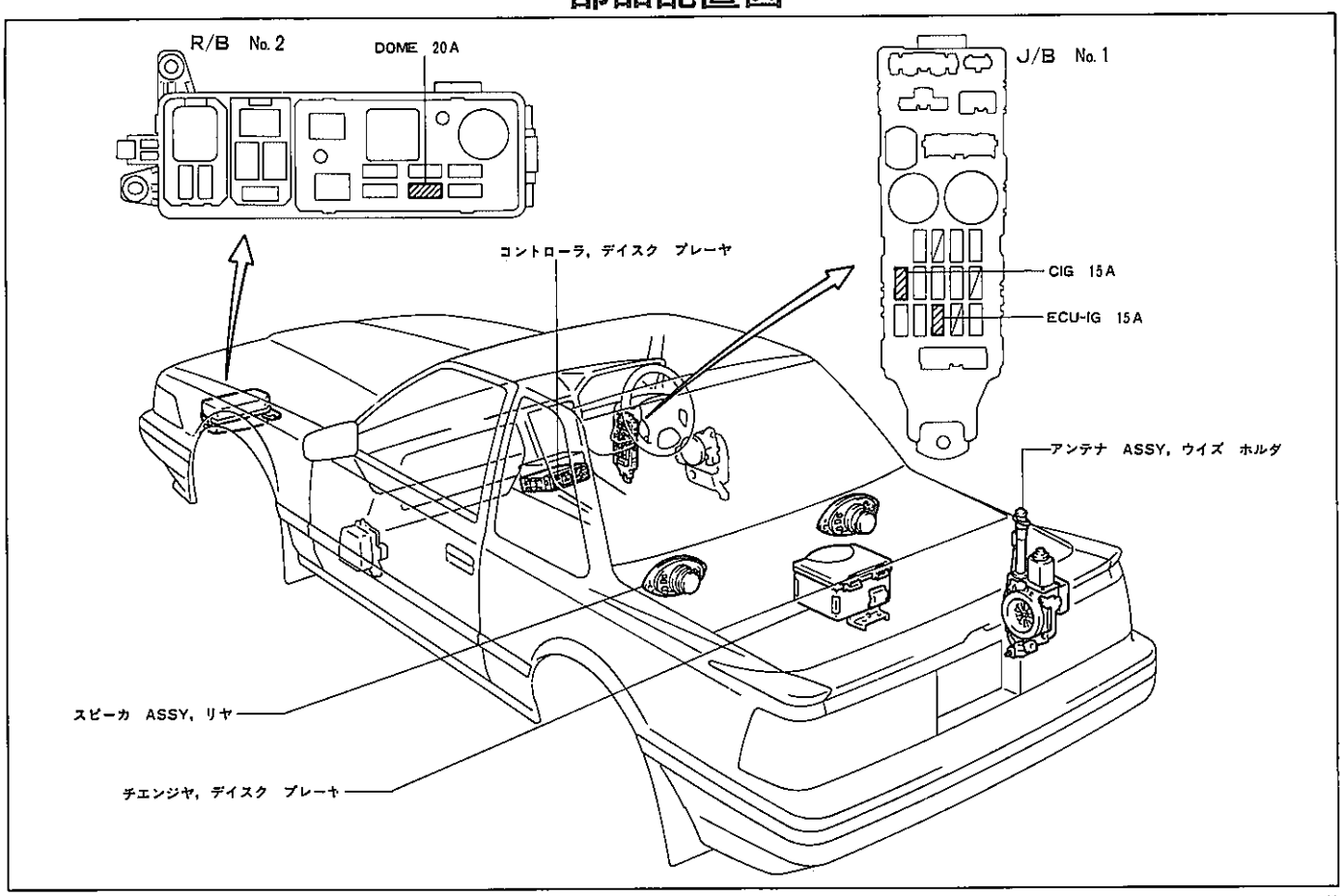
1 モータ アンテナの採用による修理要領

2 リヤ スピーカ取り付け位置変更による脱着要領

準 備 品

工 具		09060-20030 リムーバ，クリップ	クリップ取りはずし用
計 器		09082-00012 テスタ，トヨタ エレクトリカル	各部点検用
		09083-00060 ミニ テスト リード	コネクタ部点検用
油 脂 その他	両面テープ		ラッゲージ トリム取り付け用
	ひも		アンテナ コード脱着時ガイド用

部品配置図

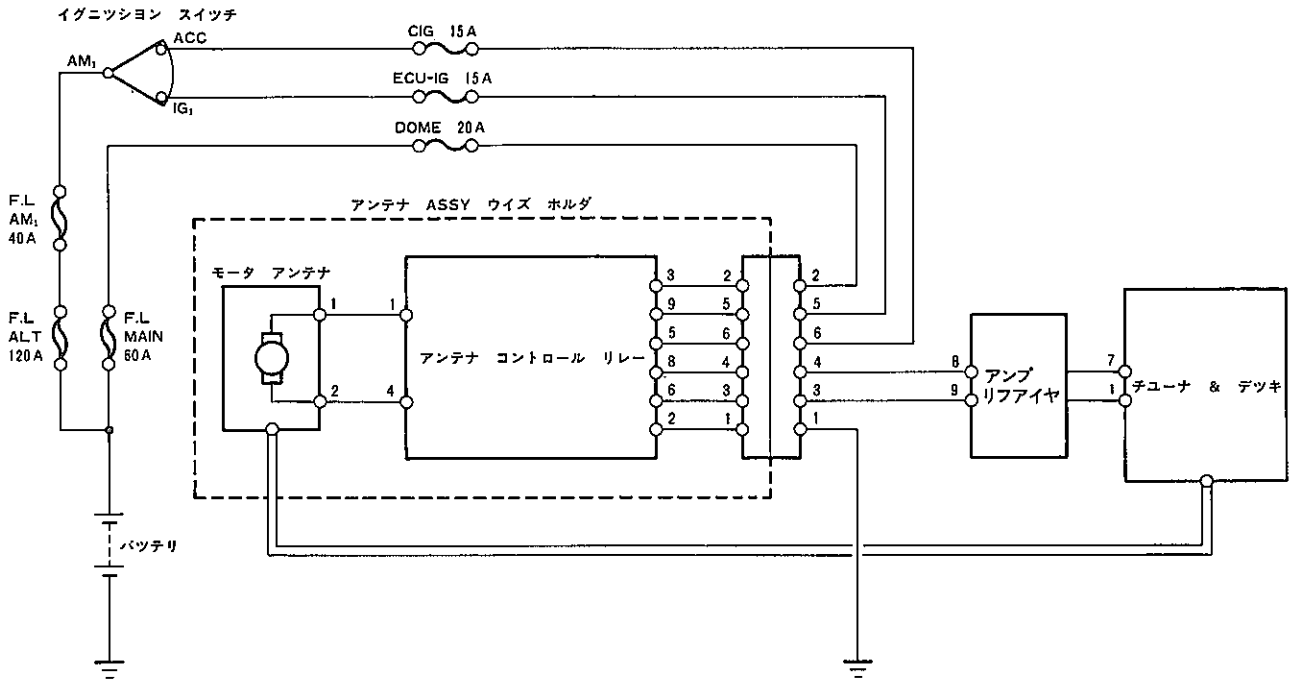


H6158

無断複製禁止

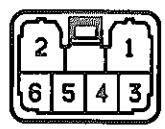
回　路　図

モータ　アンテナ関係



アンテナ　ASSY　ウイズ　ホルダ

本体側



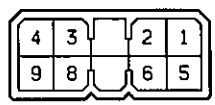
S-6-2

ハーネス側

S-6-1

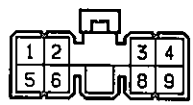
アンテナ　コントロール　リレー

本体側



G-9-2

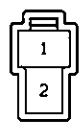
ハーネス側



G-9-1

モータ　アンテナ

本体側



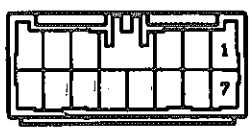
H-2-2

ハーネス側

H-2-1

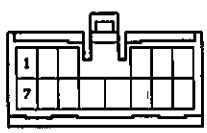
チューナ　&　デッキ

本体側



Y-14-2

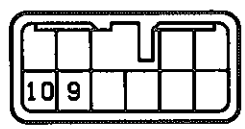
ハーネス側(アンプリファイア)



Y-14-1

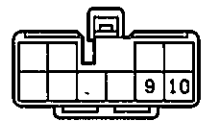
アンプリファイア

本体側



S-10-2-A

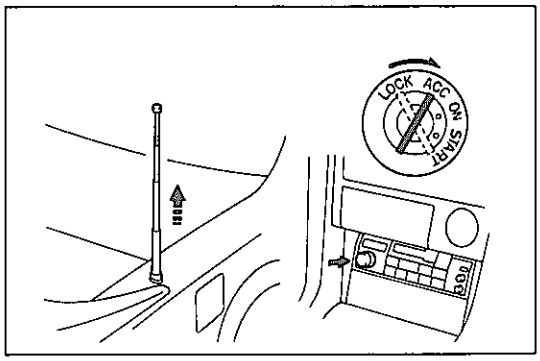
車両側



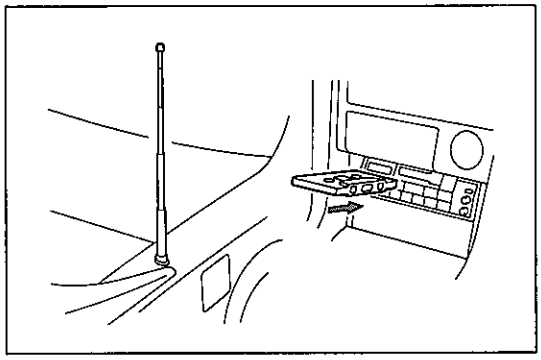
S-10-1-A

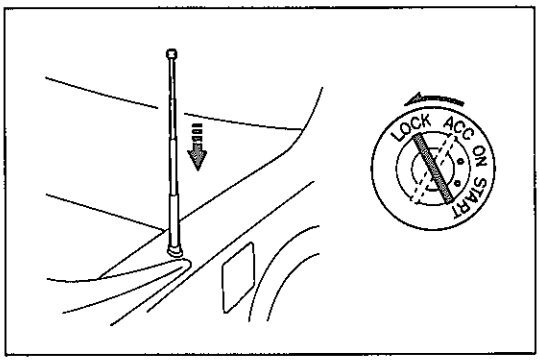
H6159

無断複製禁止

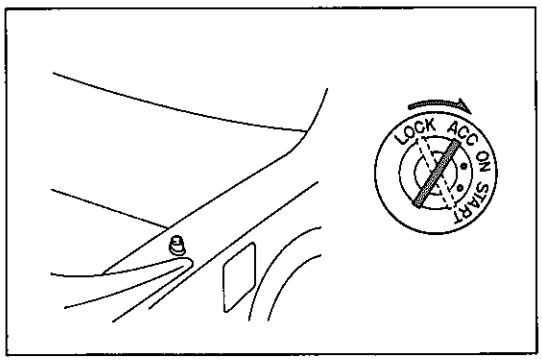


H6160

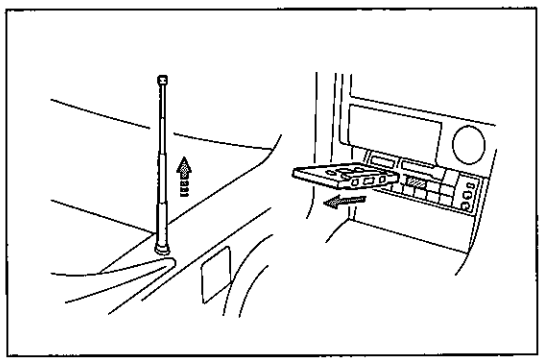

H6161



H6162



H6163


H6164

機能点検

モータ アンテナ作動点検

1 アップ作動点検

(1) イグニッション スイッチを ACC（または ON）にする。

(2) ラジオのパワー スイッチを ON にしたときモータ アンテナがアップ作動し，アンテナ ロッドが全伸状態になることを確認する。

(3) (2)の状態でカセット テープまたは CD を再生しても，アンテナ ロッドが全伸状態を保持することを確認する。

(4) (3)の状態でイグニッション スイッチを OFF にしたとき，モータ アンテナがダウン作動をし，アンテナ ロッドが全縮状態になることを確認する。

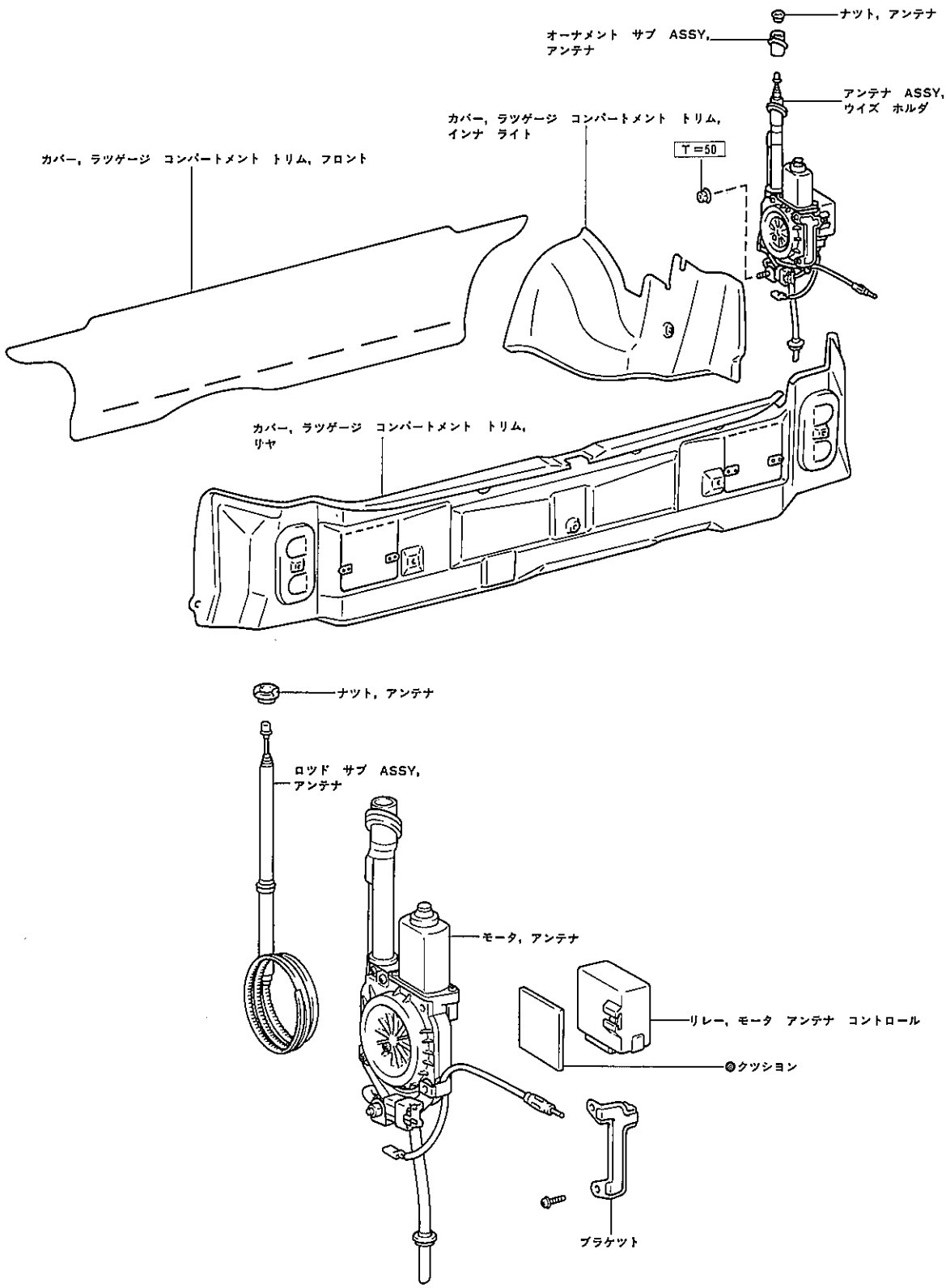
(5) (4)の状態で再びイグニッション スイッチを ACC（または ON）にしたとき，アンテナ ロッドが全縮状態を保持することを確認する。

(6) (5)の状態でテープまたは CD の再生からラジオ受信に切り換えたとき，モータ アンテナがアップ作動をし，アンテナ ロッドが全伸状態になることを確認する。

無断複製禁止

アンテナ　ASSY　ウイズ　ホルダ

脱着分解構成図



◎……再使用不可部品　　□……締め付けトルク（kg・cm）

H6165　H6166

無断複製禁止

アンテナ ASSY ウイズ ホルダ取りはずし

1 フロント ラツゲージ コンパートメント トリム カバー取りはずし

2 リヤ ラツゲージ コンパートメント トリム カバー取りはずし

(1) クリツプ リムーバを使用してクリツプ10個をはずし，トリム カバーを取りはずす。

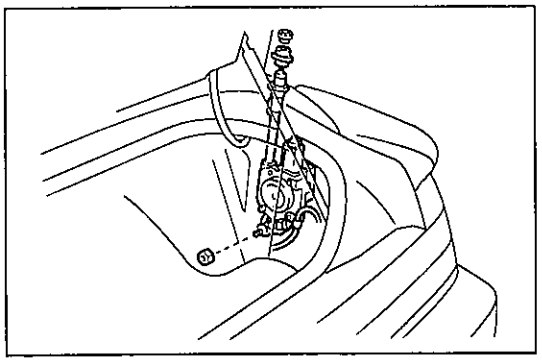
3 インナ ライト ラツゲージ コンパートメント トリム カバー取りはずし

(1) クリツプ リムーバを使用してクリツプ１個をはずし，トリム カバーを取りはずす。

4 アンテナ ASSY 取りはずし

(1) アンテナ ナツトを取りはずす。

(2) ナツト１個およびコネクタをはずし，アンテナ ASSY を取りはずす。



H6167

アンテナ ASSY ウイズ ホルダ取り付け

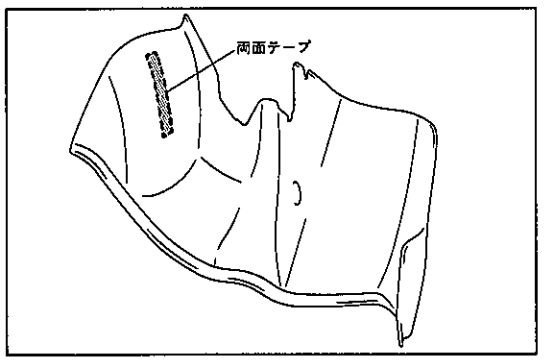
1 アンテナ ASSY 取り付け

(1) アンテナ ASSY をアンテナ ナツトとナツト１個で取り付ける。

2 ライト ラツゲージ コンパートメント トリム カバー取り付け

(1) 図に示す位置に両面テープを貼り付ける。

(2) トリム カバーをクリツプ１個で取り付ける。

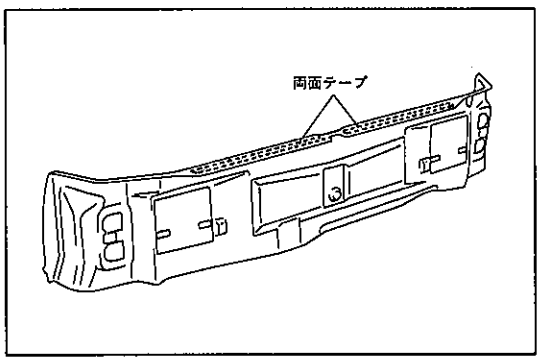


H6207

3 リヤ ラツゲージ コンパートメント トリム カバー取り付け

(1) 図に示す位置に両面テープを貼り付ける。

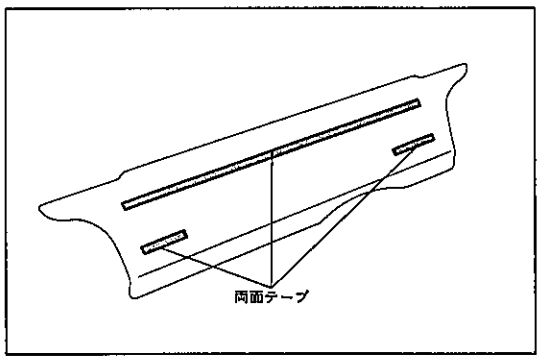
(2) トリム カバーをクリツプ10個で取り付ける。



H6172

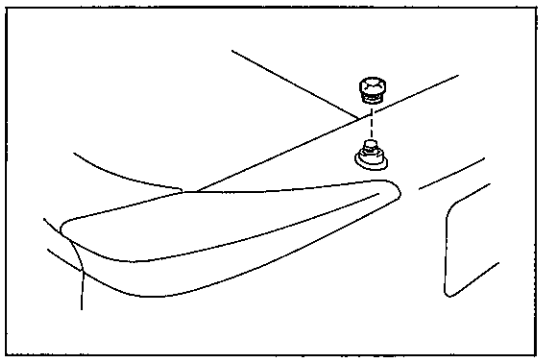
4 フロント ラツゲージ コンパートメント トリム カバー取り付け

(1) 図に示す位置に両面テープを貼り付け，トリム カバーを取り付ける。



H6173

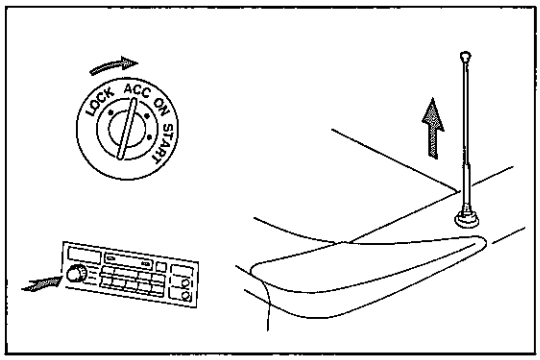
無断複製禁止



H6307

アンテナ　ロツド　サブ　ASSY 取りはずし

1　アンテナ　ナツト取りはずし



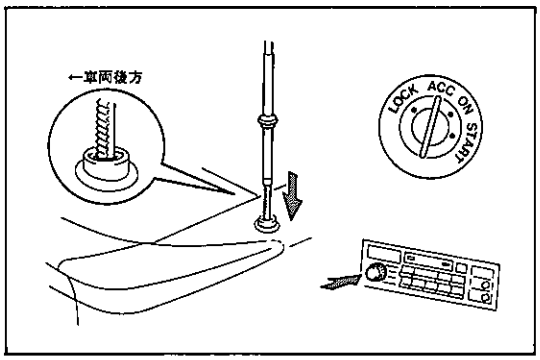
H6316

2　アンテナ　ロツド取りはずし

(1)　イグニツシヨン　スイツチを ACC（または ON）にする。

(2)　ラジオのパワー　スイツチを ON にし，アンテナ　ロツドを抜き取る。

〈参考〉　ラジオのパワー　スイツチ　ON でアンテナ　ロツドがアツプ作動を行い，アンテナ　ナツトがないため抜けてくる。



H6306

アンテナ　ロツド　サブ　ASSY 取り付け

1　アンテナ　ロツド取り付け

(1)　アンテナ　ロツドの駆動ケーブルの歯を車両後方に向けていつぱい挿入する。

(2)　ラジオのパワー　スイツチを押してラジオを OFF にし，アンテナ　ロツドを挿入する。

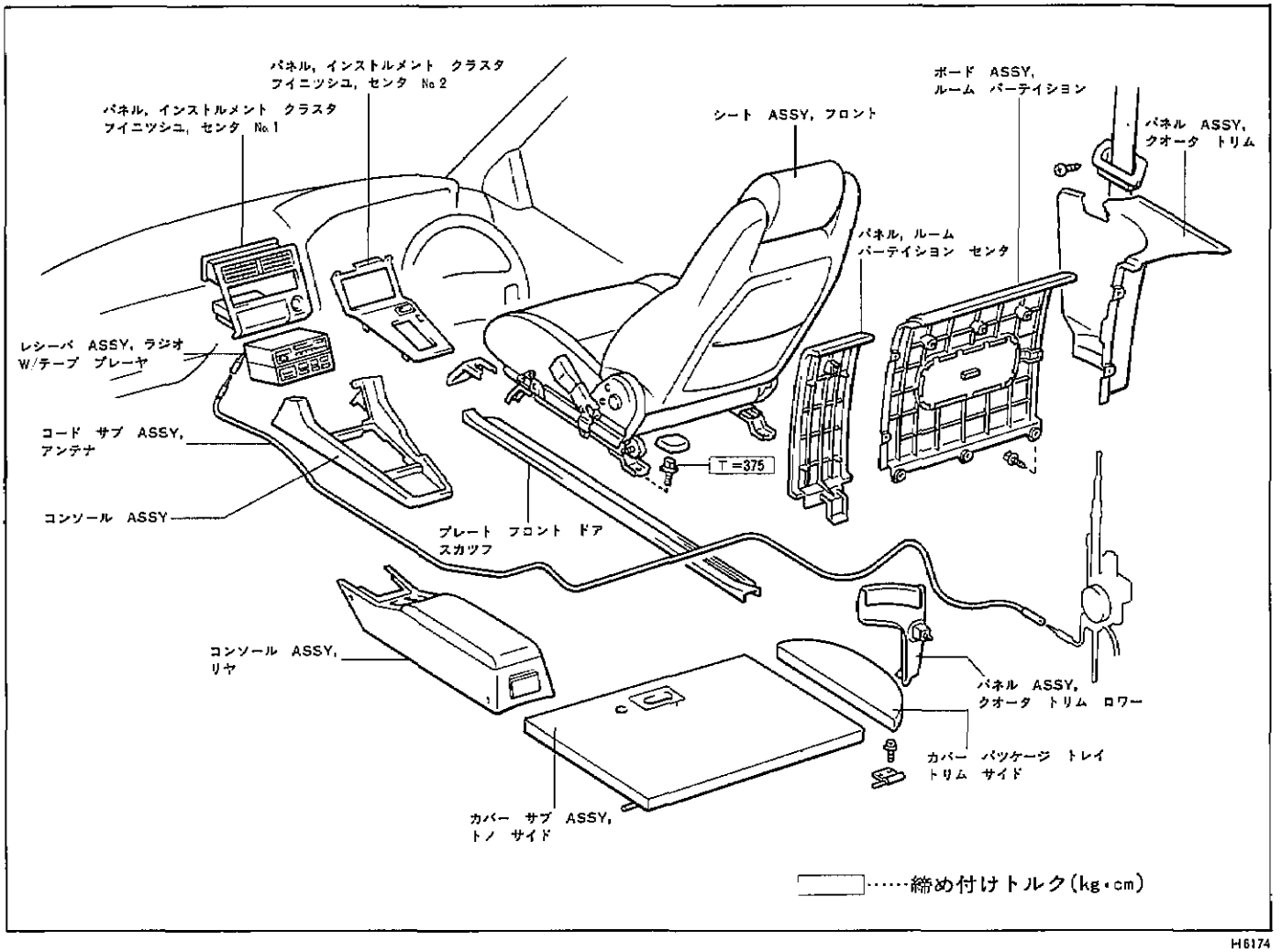
〈参考〉　ラジオのパワー　スイツチ　OFF でアンテナ　ロツドが自動収納される。

2　アンテナ　ナツト取り付け

無断複製禁止

アンテナ コード サブ ASSY

脱着構成図



H6174

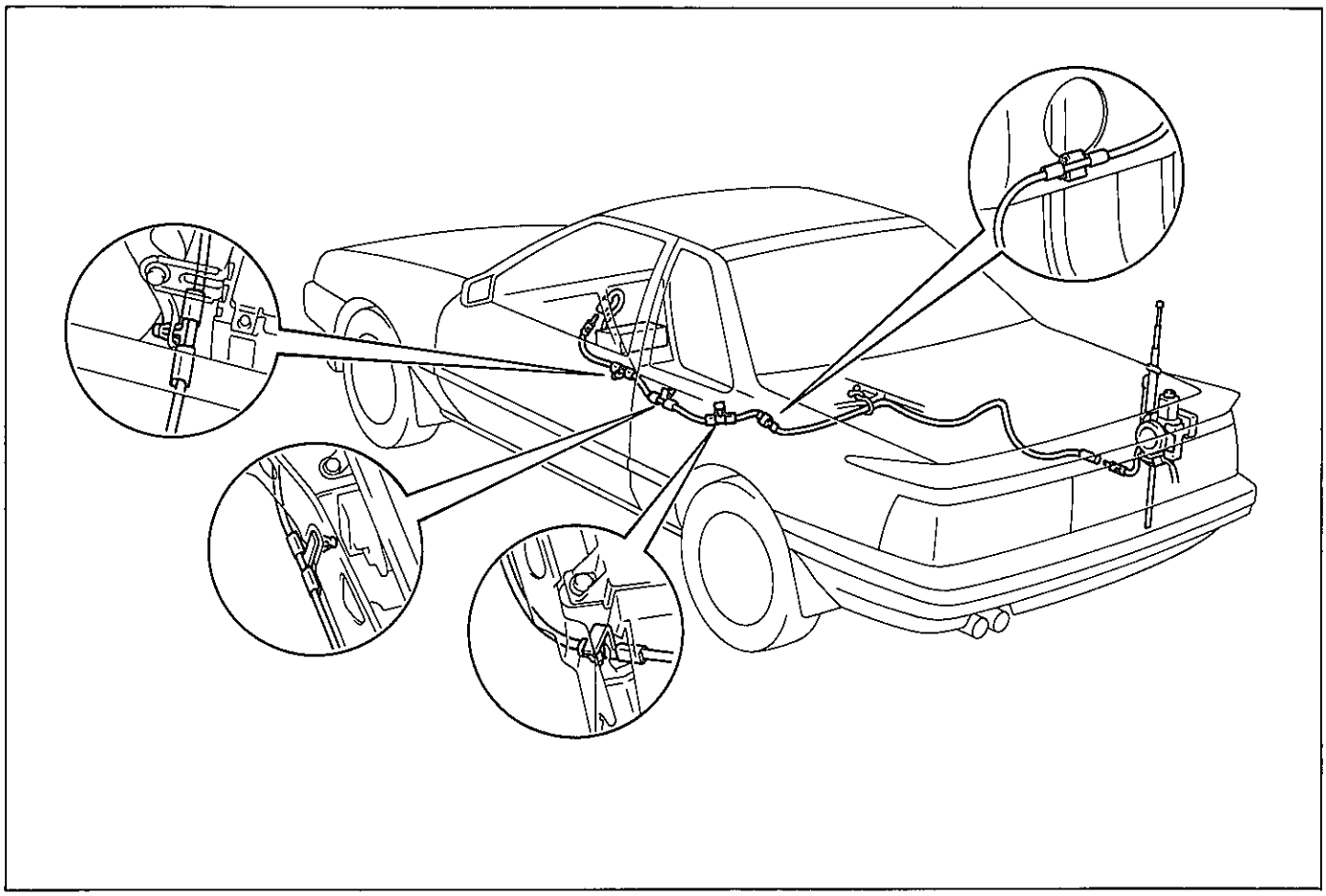
アンテナ コード サブ ASSY取りはずし

1 フロント シート RH取りはずし
2 リヤ コンソール取りはずし
3 インストルメント クラスタ フイニツシユ センタ No.1 パネル取りはずし
4 インストルメント クラスタ フイニツシユ センタ No.2 パネル取りはずし
5 コンソール ASSY取りはずし
6 ラジオ レシーバ取りはずし
7 フロント ドア スカツフ プレート RH取りはずし
8 トノ サイド カバー RH開
9 パツケージ トレイ トリム サイド カバー RH取りはずし
10 トノ サイド カバー RH取りはずし
11 クオータ トリム ロワー パネル RH取りはずし
12 ルーム パーテイシヨン センタ パネル取りはずし

(上記7～12はP 1-71参照)

無断複製禁止

13　ルーム　パーテイシヨン　ボード　RH取りはずし
14　フロント　シート　アウタ　ベルト　ガイド取りはずし
15　クオータ　トリム　パネル　RH取りはずし
（上記13～15はＰ１-72参照）
16　アンテナ　コード取りはずし
(1)　アンテナ　コードの先端にひもを結び，取り付け時の参考にする。
(2)　クリップ４箇所をはずし，アンテナ　コードを取りはずす。
〈参考〉　クリップの位置および取りまわしを図に示す。



H6175

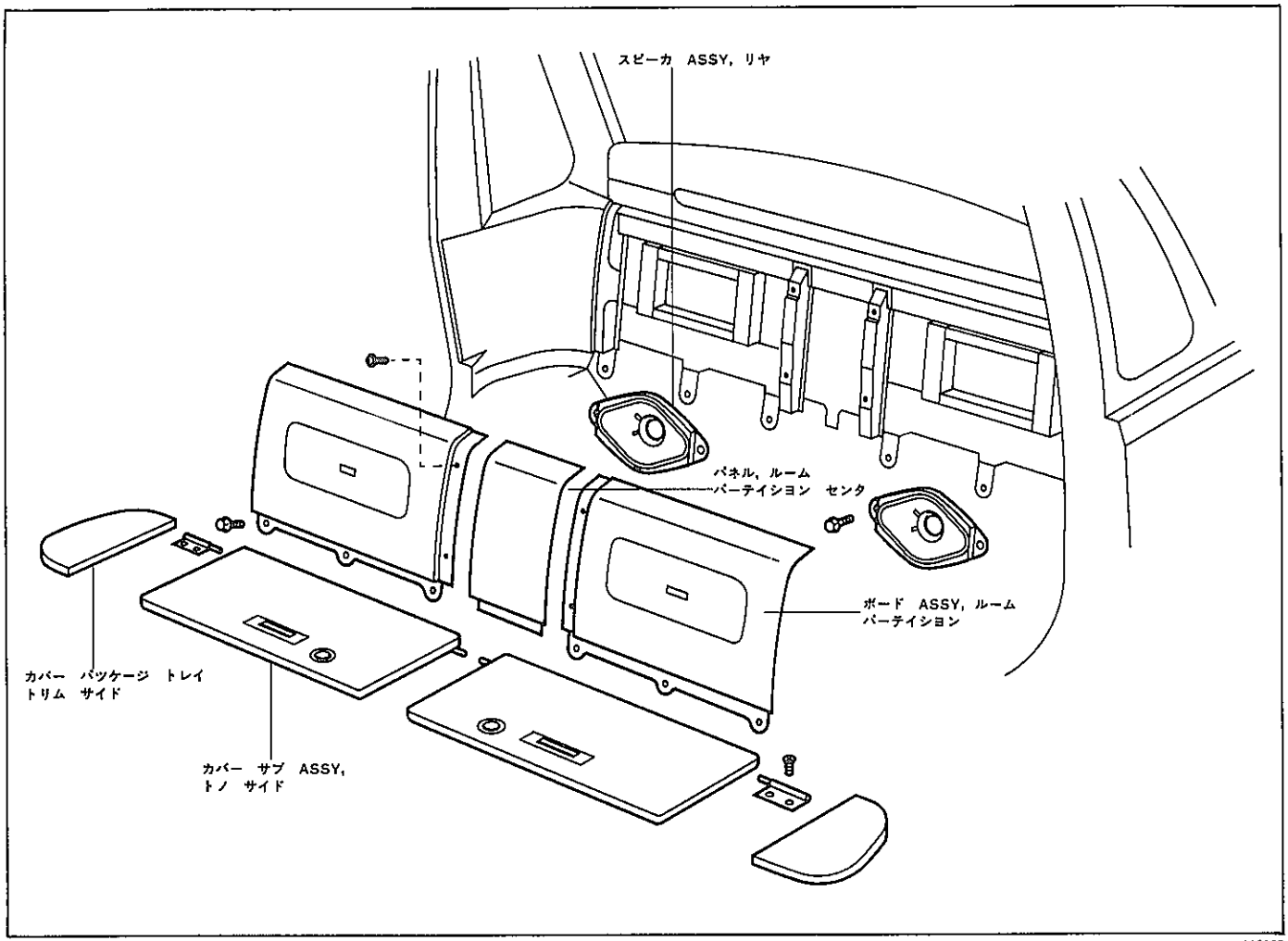
アンテナ　コード　サブ　ASSY取り付け

(1)　取りはずしの逆に行う。

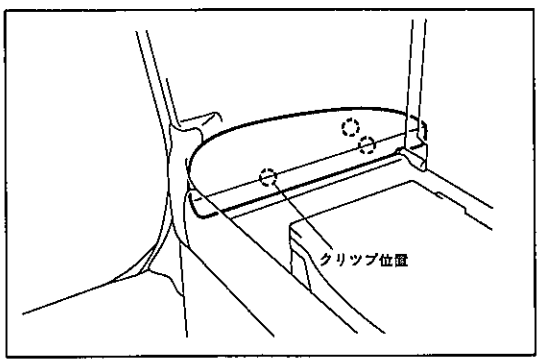
無断複製禁止

リヤ スピーカ ASSY

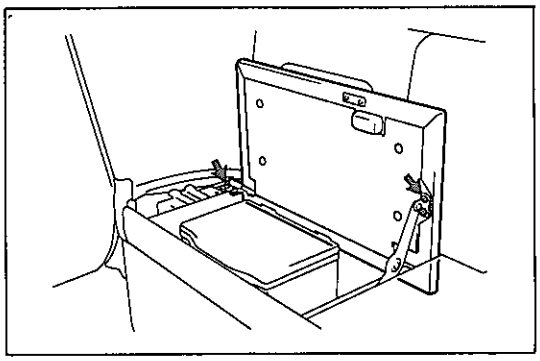
脱着構成図



H6185



U8740



U8741

リヤ スピーカ取りはずし

1 トノ サイド カバー RH，LH 開

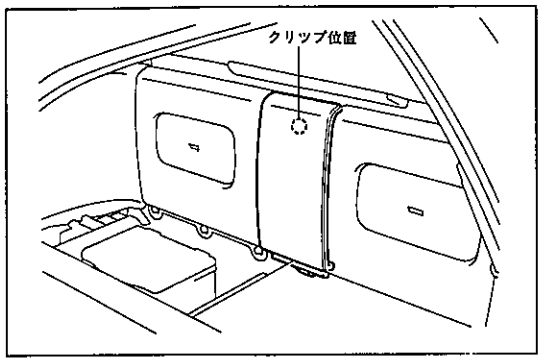
2 パツケージ トレイ トリム サイド カバー RH，LH 取りはずし

(1) クリップのかん合をはずし，サイド カバーを取りはずす。

3 トノ サイド カバー RH，LH 取りはずし

(1) スクリユ４本をはずし，トノ サイド カバーを取りはずす。

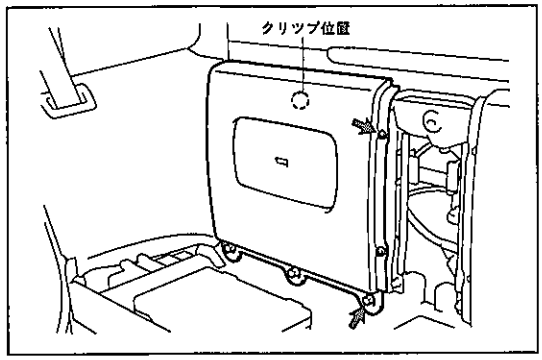
無断複製禁止



U8743

4　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネル取りはずし

(1)　クリップのかん合をはずし，ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネルを引き上げて取りはずす。

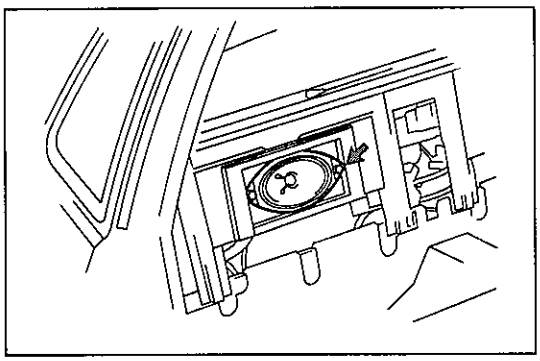


U8744

5　ルーム　パーテイシヨン　ボード　RH，LH 取りはずし

(1)　ボルト３本およびスクリユ２本を取りはずす。

(2)　クリップのかん合をはずし，ルーム　パーテイシヨン　ボードをスライドさせて取りはずす。


H6176

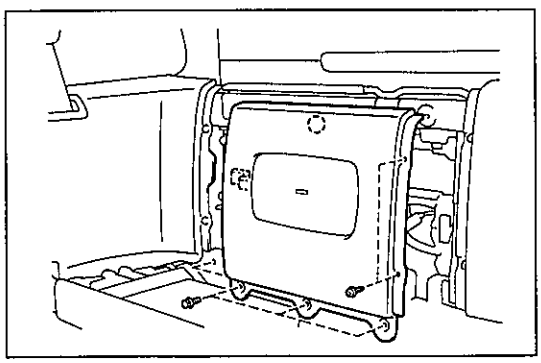
6　リヤ　スピーカ取りはずし

(1)　ボルト２本をはずし，スピーカを取りはずす。

リヤ　スピーカ取り付け

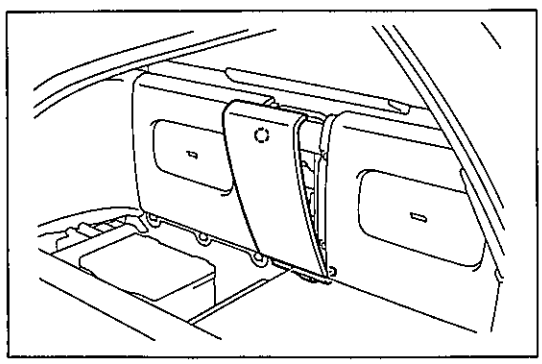
1　リヤ　スピーカ取り付け

(1)　コネクタを接続し，スピーカをボルト２本で取り付ける。


U8770

2　ルーム　パーテイシヨン　ボード　RH，LH 取り付け

(1)　ルーム　パーテイシヨン　ボードの裏面をクオータ　トリムパネルに引つ掛け，クリツプ位置をたたき，ボルト３本およびスクリユ２本でボードを取り付ける。


U8771

3　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネル取り付け

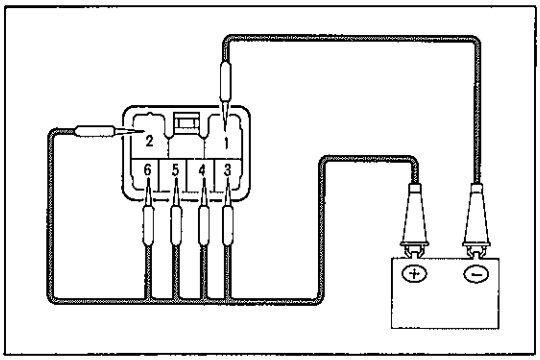
(1)　ルーム　パーテイシヨン　センタ　パネルの下部をパツケージ　トレイ　トリムに引つ掛け，クリツプ位置をたたいて取り付ける。

4　トノ　サイド　カバー　RH，LH 取り付け

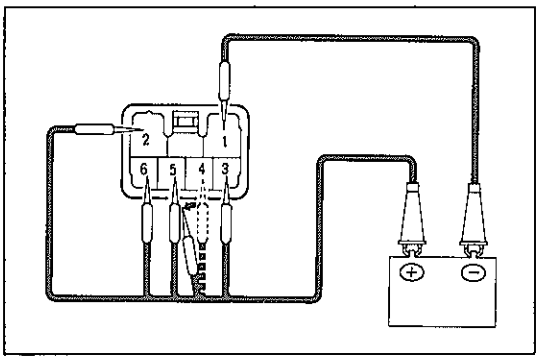
5　パツケージ　トレイ　トリム　サイド　カバー　RH，LH 取り付け

6　トノ　サイド　カバー　RH，LH 閉

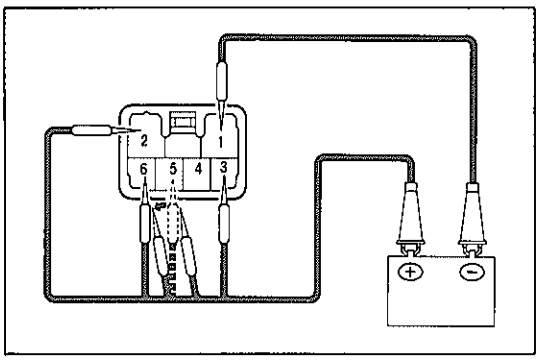
無断複製禁止



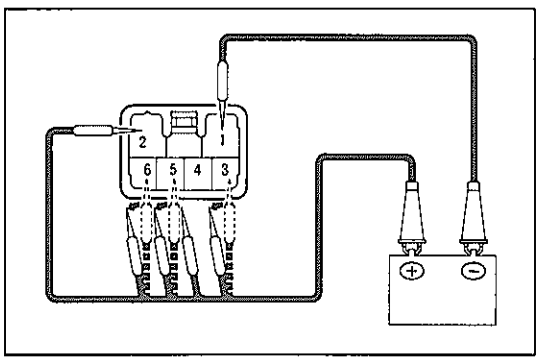
H6181



H6182



H6183



H6184

単体点検

アンテナ ASSY ウイズ ホルダ

1 アツプ作動点検

(1) コネクタの2，3，4，5，6端子にバツテリの⊕，1端子にバツテリの⊖を接続したとき，アンテナ ロツドが伸びることを確認する。

〈参考〉 5端子にバツテリの⊕を接続しない状態でもアンテナ ロツドは伸びる。

2 保持点検

(1) 前記1の(1)の状態で4端子からバツテリの⊕をはずしたとき，アンテナ ロツドが伸びたまま保持することを確認する。

3 ダウン作動点検

(1) 前記2の(1)の状態で5端子からバツテリの⊕をはずしたとき，アンテナ ロツドが縮むことを確認する。

(2) 同様に前記2の(1)の状態で3，5，6端子からバツテリの⊕をはずしたときにもアンテナ ロツドが縮むことを確認する。

無断複製禁止

この修理書を入手ご希望のかたは，お近くのトヨタ　ソアラ扱い販売店サービス部に，代金を添えてお申し込みください。

1989年３月24日　印　　刷
1989年３月30日　発　　行　　〔無断転載を禁ず〕

トヨタ　ソアラ　エアロキャビン修理書/追補版

品 番　62110

実 費　　680円

編集　トヨタ自動車株式会社
発行　サ　ー　ビ　ス　部
名古屋市東区泉一丁目23番22号

（Y）

無断複製禁止

TECNO
トヨタサービス

トヨタ自動車株式会社